「現代の国語」　１学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	国語	科目	現代の国語	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 （2）　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （3）　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

教科書	東京書籍「新編現代の国語」（現国７０１）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	自己を見つめる
	概要	・生きる原点としての自己への理解を深める。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	他者に出会う・言葉と生活 1
	概要	・評論を読んで筆者の考えを読み取り、関心の幅を広げる。 ・説明をしたり、読み比べたりすることを通して、コミュニケーションの基礎となる力を養う。
第3回 提出期限 8月15日	単元名	視野を広げる
	概要	・新鮮な着眼や発想に触れて、視野を広げる。
第4回 提出期限 10月15日	単元名	社会と関わる・言葉と生活 2
	概要	・働く人の思いを理解し、社会の中で生きる自分の将来について考える。 ・話し合いをしたり、自分の考えを書いたりすることを通して、表現する力を養う。
第5回 提出期限 11月15日	単元名	世界とつながる
	概要	・芸術や歴史の真実に触れ、周囲に広がる世界への理解を深める。
第6回 提出期限 12月15日	単元名	未来に目を向ける
	概要	・多様な価値観に目を開き、社会の未来を考える。

面接指導計画

1.　単元名
【5～6月実施】【第1回】自己を見つめる　読書をする
展開では本文と筆者の主張を理解し、グループでは各自の迷信やルーティーンを共有して多様な考えに触れる。
【7～8月実施】【第3回】視野を広げる
色のイメージを考察し、評論文を通して多様な価値観や筆者の主張を理解する。
【9～10月実施】【第4回】社会と関わる・言葉と生活 2
料理人として自分の道を切り拓いた筆者の体験談を読み、仕事への思いや社会の中で生きる自分の将来について考えを深める。

【11～12月実施】【第5回】世界とつながる
『人生という豊かな旅の人間関係』を読み、異国の文化について知り、理解を深める。また、異国の文化の特徴が自らの日常に通じることはないか振り返り、想像力を養う。
【1～3月実施】【第6回】未来に目を向ける
現代における「自立」や「大人になること」への考えを持つために、筆者の主張している「自立」の定義について意見を述べる。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
論理的な文章の構成や表現の特徴を理解し、語句や文法の知識を生かして、文章の内容や要点を的確に読み取って理解する力を身につける。
【思考・判断・表現】
論理的文章を読解し、その内容について自分なりの考えを持ち他者へ表現することで、自身の価値観をより深めていくことができる。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

「言語文化」　１学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	国語	科目	言語文化	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1） 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 （2） 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （3） 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

教科書	東京書籍「新編言語文化」（現文７０１）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	随筆・小説１
	概要	・随筆を読んで、筆者のものの見方や感じ方を読み取る。 ・表現に注意しながら登場人物の心情を読み取り、小説に親しむ。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	詩歌・小説２
	概要	・詩や短歌、俳句に親しみ、深く読み味わう力を養う。 ・描かれている内容から主題を読み取り、小説を深く味わう。
第3回 提出期限 8月15日	単元名	小説３
	概要	・多様な小説を読んで、読書の幅を広げ、豊かな感性を養う。
第4回 提出期限 10月15日	単元名	古文入門・随筆
	概要	・古文と現代文との違いを知り、古文を読む基礎となる文語のきまりを理解する。 ・説話のおもしろさを味わい、古文の世界に親しむ。 ・古文の表現に慣れ、随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に捉える。 ・作品の内容を踏まえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。
第5回 提出期限 11月15日	単元名	詩歌・物語・紀行
	概要	・詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を捉えて、内容を解釈する。 ・特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 ・物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。 ・文章の展開や表現の特色に注目しながら物語を読み味わう。 ・作品の内容を読み取り、作者の思いを捉える。 ・文章の構成や表現の特色を理解し、作品を読み深める。
第6回 提出期限 12月15日	単元名	漢文入門・漢詩・論語・史話
	概要	・漢文の特色を知り、きまりを理解する。 ・格言や故事成語を読んで、漢文の世界に親しむ。 ・漢詩を繰り返し音読し、優れた表現に親しむ。 ・漢詩にうたわれた情景や作者の心情を読み取る。 ・孔子の学問・人間・政治の在り方についての考えを捉え、ものの見方や考え方を豊かにする。 ・『論語』の注釈を読んで自分の考えをまとめ、伝え合う。 ・話の展開に即して、内容を理解する力を身につける。

		・登場人物の生き方や考え方を読み取り、史話のおもしろさを味わう。

面接指導計画

1. 単元名
【5～6月実施】【第1回】随筆・小説１
桜を題材に短歌や評論を学び、文化や価値観の多様性を考察する。
【7～8月実施】【第2回】詩歌・小説２
俳句の基礎を学び、創作と鑑賞を通して表現の楽しさを味わう。
【9～10月実施】【第4回】古文入門・随筆
古典世界と現代に共通する面白みを読解を通じて伝えていくことを目指すため、「児のそら寝」の古典読解を行い「児の笑った理由」について言葉で表現する。
【11～12月実施】【第5回】詩歌・物語・紀行
紀行文の文章構成や表現の特色を理解しながら読み進め、数百年前の作者と自分自身が住む世界が地続きであることを味わう。
【1～3月実施】【第4回】古文入門・随筆
古文の随筆を読み、当時の人々の感性や感じ方を知る。現代に生きる自分との相違点について考え、時が経っても変わらないことや価値観の変遷について理解を深める。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，多様な言語活動について、それらを味わうための知識や読解力を身につけ、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。
【思考・判断・表現】
随筆や詩歌、古典など多様な言語文化に触れ、表現の豊かさを理解するとともに、自分の考えを深めて表現する力を養い、日本の言語文化を大切にする態度を育てる。
【学びに向かう力、人間性等】
多様な言語文化に関心をもち、進んで読み味わいながら、自分の感じたことや考えを深めようとする姿勢を育て、学びを自ら広げようとする態度を養う。

「論理国語」　２学年　通信教育実施計画（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	国語	科目	論理国語	単位	4単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 （2）　論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （3）　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

教科書	東京書籍「新編論理国語」（論国７０１）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年12回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	広がる風景／考える手がかかり
	概要	対話とは何か細川英雄 ・対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返ろう。 世界をつくり替えるために小林康夫 ・学ぶことの意味について、筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考えよう。 少女たちの「ひろしま」梯久美子 ・戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について考える態度を養おう。 「ふしぎ」ということ河合隼雄 ・挙げられている話題を関連づけて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深めよう。 「現在の日本の人口」についてのレポートを書く ・レポートの書き方や資料の集め方など、必要な要素を知り、事実について正確なレポートが書けるようになろう。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	人間と知性
	概要	学ぶことと人間の知恵広中平祐 ・文のつながりに着目して主張を読み取り、人間の思考や学ぶことの意義について理解を深めよう。 ラップトップ抱えた「石器人」長谷川眞理子 ・事実と主張の関係に注意して文章を読み、人間の脳の働きについて考えよう。
第3回 提出期限 7月15日	単元名	現実の中で
	概要	思考の肺活量鷲田清一 ・比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深めよう。 安心について廣淵升彦 ・文章構成に注意して筆者の考えを理解し、安心というものの本質について考えよう。 「日本の年金受給」についてのレポートを書く ・レポートの書き方や資料の集め方など、必要な要素を知り、さらに自分なりの仮説の立て方を身につけ、論証的なレポートが書けるようになろう。
第4回 提出期限 8月15日	単元名	ものの見方
	概要	弱肉強食は自然の摂理か山田俊弘 ・筆者の提示している問いや根拠に注意して読み、文章の論理展開を的確に捉えよう。 複数の「わたし」松村圭一郎 ・文章に示された考え方を手がかりに、「わたし」の捉え方について理解を深めよう。

第5回 提出期限 8月15日	単元名	働くよろこび
	概要	はじめに「言葉」がある堀畑裕之 ・筆者の仕事の経験を手がかりにして、働くことと言葉の関わりについて考えよう。 楽に働くこと、楽しく働くこと小関智弘 ・楽しく働くこととはどういうことかについての筆者の考えを理解しよう。
第6回 提出期限 9月15日	単元名	論理の力
	概要	・論理とは何かを知り、論理的な文章力や論理的な思考力を身につけるための基礎を学ぼう。
第7回 提出期限 9月15日	単元名	時代をひらく
	概要	最初のペンギン茂木健一郎 ・タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の生き方について考えよう。 豊かさと生物多様性本川達雄 ・論の展開に注意して読み、生物多様性の重要性と課題について理解を深めよう。
第8回 提出期限 10月15日	単元名	新しい視点から
	概要	物語の外から岸政彦 ・二人の語り部に共通する姿から、「語る」ということの本質について考えを深めよう。 カフェの開店準備小池昌代 ・日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして、自分の日常を見つめ直そう。 「日本の少子高齢化」についての小論文を書く ・与えられた設問や資料の読み解き方、小論文の基本的な構成や書き方を学ぼう。
第9回 提出期限 10月15日	単元名	科学と人間
	概要	鏡としてのアンドロイド石黒浩 ・アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで、人間に対する筆者の考えを捉えよう。 ロボットが隣人になるとき野矢茂樹 ・哲学的な思考に沿って書かれた評論を読んで、人間の意志や自由について理解を深めよう。
第10回 提出期限 11月15日	単元名	豊かな認識
	概要	言葉は「ものの名前」ではない内田樹 ・言葉と認識の関係について、具体例をもとに主張している評論を読み、言葉の働きについて考えよう。 科学的「発見」とは小川眞里子 ・本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解しよう。 グラフを読み取る ・数値だけではなく、そのグラフがどういった目的で私たちに提示されているのか、グラフの結果は常に正しいといえるのかなど、グラフの背景まで含めて読み取れるようになろう。 「日本の公的年金制度」についての小論文を書く ・与えられた設問や資料の読み解き方、小論文の基本的な構成や書き方を学ぼう。
第11回 提出期限 11月15日	単元名	知のゆくえ
	概要	知識における作者性と構造性吉見俊哉 ・インターネットと本を比較しながら書かれた評論を読み、情報と知識について理解を深めよう。 もう一つの知性姜尚中 ・科学的思考とは異なる思考の在り方を理解し、現代社会を生きるうえで必要な態度について考えよう。
第12回 提出期限 12月15日	単元名	明日をみつめて
	概要	ホンモノのおカネの作り方岩井克人 ・二つの例の対比に注意して論旨をたどり、貨幣の持つ不思議さについて理解を深めよう。 未来のありか若林幹夫 ・小見出しを参考にして各部分の内容と関係を読み取り、未来とは何かについて考えよう。

面接指導計画

1．単元名
【5～6月実施】【第1回】広がる風景／考える手がかり
対話の意義を学び、モノローグとダイアローグの違いを体験的に理解する。
【7～8月実施】【第4回】ものの見方
「分人」の考え方を通して自分らしさを見つめ、多面的な自己理解を深める。
【9～10月実施】【第7回】時代をひらく
『最初のペンギン』を読み、人間とペンギンとの共通性についての筆者の主張を理解し、挑戦について理解を深める。
【11～12月実施】【第10回】豊かな認識
『科学的発見とは』を読み、筆者の主張を理解する。筆者の主張から、「見ること」「観察すること」について、考えを深める。

【1〜3月実施】【第12回】明日をみつめて
『未来のありか』を読み、筆者の主張を理解する。
特に作者のいう「未来」とは、何によって作り出されるのかを解説を通じて理解する。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2．学習到達目標
【知識・技能】
論理的思考を働かせ、文章の構造や論理の展開を読み解く力を養う。論拠や主張の関係性を明確に把握し、多様な論理形式を理解できるようにする。
【思考・判断・表現】
論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって文学に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

「文学国語」　２学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	国語	科目	文学国語	単位	4単位	面接指導実施 時間数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1） 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 （2） 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （3） 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

教科書	東京書籍「文学国語」（文国７０１）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年12回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	随筆/小説１/評論１
	概要	光の窓小池昌代 ・著者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。 雨月物語木内昇 ・筆者の考え方の変化球を捉え、『雨月物語』が筆者にどのような影響を与えたかを考える。 山月記中島敦 ・登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。 窓いしいしんじ ・場面や登場人物の設定における特徴を捉え、作中の「短編小説」が象徴するものについて考える。 言葉を生きる若松英輔 ・筆者の考えを表現に即して読み取り、「生きること」と「言葉」の関係について理解を深める。 詩と感情生活鮎川信夫 ・論の展開を踏まえて筆者の主張を捉え、詩の特質について考えを深める。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	小説２
	概要	山椒魚井伏鱒二 ・登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。 沖縄の手記から田宮虎彦 ・戦争の中に生きる登場人物の生き方や考え方を捉え、人間の生と死について考えを深める。
第3回 提出期限 7月15日	単元名	詩歌
	概要	詩や短歌と、短歌に関する評論を読み、詩歌の表現の特色を理解して味わう。 モードの変遷穂村弘 ・具体例として挙げられた短歌の表現の特質を理解し、時代の変化との関わりを考える。
第4回 提出期限 8月15日	単元名	小説３
	概要	こころ夏目漱石 ・人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。
第5回 提出期限 8月15日	単元名	評論２
	概要	文学のふるさと坂口安吾 ・具体例と筆者の主張との関係に注意して評論を読み、文学のよりどころについて理解を深める。

		文学の未来小野正嗣 ・本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深める。
第6回 提出期限 9月15日	単元名	小説４/随筆１
	概要	鞄安部公房 ・寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める。 あの朝角田光代 ・場面ごとの設定を押さえて、その転換に伴う登場人物の状況や心情の変化を読み取る。 国語から旅立って温又柔 ・筆者の多言語体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係について考えを深める。 書かれた風景の中へリービ英雄 ・筆者の読書体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係について考えを深める。
第7回 提出期限 9月15日	単元名	小説１
	概要	檸檬梶井基次郎 ・登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、「檸檬」の持つ意味について考える。 コンビニの母森絵都 ・登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、現代社会における人間関係について考える。
第8回 提出期限 10月15日	単元名	詩歌/随筆２
	概要	詩や俳句と、俳句に関する評論を読み、詩歌の表現の特色を理解して味わう。 平気――正岡子規長谷川櫂 ・韻文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え、人間と文学の関係について考える。 空っぽの瓶多和田葉子／松永美穂訳 ・人称を巡る筆者の体験や考え方を読み取り、言葉と存在の関わりについて考える。 クレールという女須賀敦子 ・長い時間をかけて深まっていった筆者の読書体験を読み取り、人間の生き方について考える。
第9回 提出期限 10月15日	単元名	戯曲
	概要	父と暮らせば井上ひさし ・対話を軸にした構成に注意しながら戯曲を読み、原爆の惨禍と人間の幸福について考える。
第10回 提出期限 11月15日	単元名	小説２(1)
	概要	舞姫森鷗外 ・構成や時代背景に注意しながら主人公の葛藤を読み取り、人生の選択について考える。
第11回 提出期限 11月15日	単元名	小説２(2)
	概要	舞姫森鷗外 ・構成や時代背景に注意しながら主人公の葛藤を読み取り、人生の選択について考える。
第12回 提出期限 12月15日	単元名	評論/小説３
	概要	演技する「私」安藤弘 ・筆者の主張の展開を押さえ、小説における作者と小説内の「私」との関係について考えを深める。 映画の可能性のために諏訪敦彦 ・映画と小説を題材にした評論を読み、作品を成立させる視点のありようについて理解を深める。 葉桜と魔笛太宰治 ・物語の展開を把握しつつ、そこに浮かび上がる人間の心の奥深さを味わう。 蠅横光利一 ・視点の移動に注意しながら、描かれた場面や状況を読み取り、作品の主題について考える。

面接指導計画

1. 単元名
【5～6月実施】【第1回】随筆/小説１/評論１
『山月記』を読み、李徴の苦悩と幸福について自分の考えを深める。
【7～8月実施】【第5回】評論２
坂口安吾の文学観を学び、文学の原点や価値について考察する。
【9～10月実施】【第7回】小説１
『檸檬』を読み、話の内容とダダイズムについて理解を深める。ペアワークで自分に幸福を与えてくれるものは何かについて考えを深める。
【11～12月実施】【第12回】評論/小説３
老婦人の語りや登場人物の心理描写から、姉妹の複雑な愛憎や「口笛」の真相を読み解き、多様な解釈を味わう。
【1～3月実施】【第8回】詩歌/随筆２
詩歌の表現を読み解き、そこに表出する情景や感覚を味わう体験を通して、文学や言語活動の意義を学ぶ。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。

※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
文学作品の特色や表現技法を理解し、作品の内容やテーマを正確に読み取る力を養う。また、語彙や表現技法についての知識を活用して深く味わう力を身につける。
【思考・判断・表現】
文学的な文章からその表現を理解し、味わい楽しむ素養を身につけ、その上で自身の考えを言葉にし、他者と共有することができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉のもつ価値についての理解を深めるとともに、生涯にわたり文学に親しみながら自己の成長を図り、我が国の言語文化を継承する主体としての自覚を養う。あわせて、言葉を手段として他者や社会との関わりを築こうとする姿勢を育成する。

「国語表現」 3学年　通信教育実施計画（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	国語	科目	国語表現	単位	4単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1） 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 （2） 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （3） 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

教科書	東京書籍「国語表現」（国表702）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年12回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	表現とは何か／分かりやすく説明しよう（1）
	概要	・表現の大切さを知る ・分かりやすい説明とは何かを知る
第2回 提出期限 7月15日	単元名	分かりやすく説明しよう（2）／身体で表現しよう
	概要	・相手が知らないもの・ことを分かりやすく説明する方法を知る
第3回 提出期限 7月15日	単元名	「問い」を考えよう
	概要	・インタビュー記事の企画・編集の方法を知る
第4回 提出期限 8月15日	単元名	「自分」を表現しよう
	概要	・ガクチカ、自己PRの方法を知る
第5回 提出期限 8月15日	単元名	論理的な文章を書こう（1）
	概要	・小論文の書き方を知る
第6回 提出期限 9月15日	単元名	論理的な文章を書こう（2）／話し合う力をつけよう（1）
	概要	・小論文の書き方を知る ・議論の大切さを知る
第7回 提出期限 9月15日	単元名	話し合う力をつけよう（2）
	概要	・ファシリテーションの大切さを知る
第8回 提出期限 10月15日	単元名	表現と読書活動
	概要	・本にまつわるいろいろな表現方法を知る
第9回 提出期限	単元名	情報活用能力を身につけよう

10月15日	概要	・広報資料とは何かを知る
第10回 提出期限 11月15日	単元名	説得力のある提案をしよう
	概要	・プレゼンテーションの方法を知る
第11回 提出期限 11月15日	単元名	表現を楽しもう
	概要	・創作を心から楽しむ
第12回 提出期限 12月15日	単元名	附録
	概要	・情報収集の方法を知る

面接指導計画

1. 単元名
【5～6月実施】【第1回】表現とは何か／分かりやすく説明しよう(1)
表現活動を通して伝える工夫を学び、国語表現の意義を理解する。
【7～8月実施】【第5回】論理的な文章を書こう(1)
伝わる表現と論理的文章の構造を学び、小論文で実践する。
【9～10月実施】【第8回】表現と読書活動
広告・PRの表現の工夫や効果について学び、日常の中の広告・PRに着目した上で、学んだ内容を生かしたキャッチコピーの作成と共有を行う。
【11～12月実施】【第11回】表現を楽しもう
小説、物語の構成、役割等を理解し、既存の作品を参考にしながら、自分の世界観を小説を用いて他者に表現することを促す。
【1～3月実施】【第12回】附録
日本語における文章の表記のルールについて理解する。「てにをは」を意識しながら正しい文章を書くことを意識する。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
国語における表現の特色及び言語の役割などについて理解を深める。また、それら国語の表現技法や言語の特色を生かして場面に応じた言語活動ができるようになる。
【思考・判断・表現】
様々な表現についてその効果を吟味したり、書いた文章を互いに読み合って批評したりして自分の表現や推敲に役立てるとともに、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとしている。
【学びに向かう力、人間性等】
国語を用いて適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、国語力の向上を図ろうとしている。

「古典探究」　３学年　通信教育実施計画（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	国語	科目	古典探究	単位	4単位	面接指導実施 時間数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1） 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 （2） 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 （3） 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

教科書	東京書籍「新編古典探究」（古探 ７０１）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年12回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	説話に楽しむ／随筆を読む
	概要	・古文の読み方を確認しよう。 ・説話の展開や内容のおもしろさを捉えよう。 ・随筆に表れている作者のものの見方、感じ方、考え方を読み取ろう。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	作り物語を読む／和歌の世界
	概要	・作り物語の内容を叙述に即して読み取ろう。 ・作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深めよう。 ・和歌に詠まれた情景や心情を捉え、自然や人間に対する古人の感性に触れよう。 ・表現の工夫を理解し、人々に親しまれてきた和歌を詠み味わおう。
第3回 提出期限 7月15日	単元名	日記を読む／軍記物語を味わう／近世文学の世界
	概要	・作者の境遇を確かめながら、日記に書かれた出来事や作者の心情を的確に捉えよう。 ・日記に表れている作者のものの見方、感じ方、考え方を理解しよう。 ・軍記物語に描かれている登場人物の生き方を読み取ろう。 ・朗読などを通して、軍記物語の内容や表現の特色への理解を深めよう。 ・近世文学に表れている人々のものの見方、感じ方、考え方を読み取ろう。 ・他の時代との違いを考えながら、近世の文章の特色を理解しよう。
第4回 提出期限 8月15日	単元名	随筆を味わう／歌物語を楽しむ
	概要	・随筆に書かれている情景や出来事を的確に捉えよう。 ・随筆の内容を自分と関係づけ、ものの見方、感じ方、考え方を広げよう。 ・作中の和歌に着目しながら、登場人物の心情や行動を捉えよう。 ・古典の言葉を現代の言葉と比較し、その変遷について考察しよう。
第5回 提出期限 8月15日	単元名	歴史物語を読む／歌話・歌論を読む
	概要	・歴史物語の内容を的確に読み取り、登場人物の行動や心情を捉えよう。 ・関心を持った事柄について調べ、ものの見方、感じ方、考え方を深めよう。 ・内容を読み取り、その論旨を捉えよう。 ・歌話・歌論に述べられたものの見方、感じ方、考え方を踏まえて、考えを深めよう。
第6回 提出期限	単元名	作り物語を味わう／俳諧に親しむ／伝承の世界

9月15日	概要	・場面や人物の設定に着目しながら、登場人物の行動や心情を捉えよう。 ・作り物語を多面的・多角的な視点から読み、考えを広げよう。 ・俳句に読み込まれた情景や心情を捉えよう。 ・俳論を読み、論旨を的確に捉えよう。 ・上代の文章に見られる表現の特色に注意して、内容を捉えよう。 ・伝承に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえて、考えを深めよう。
第7回 提出期限 9月15日	単元名	故事と小話／唐詩と文(1)
	概要	・漢文の読み方を確認しよう。 ・さまざまな文章を読み、興味を持った内容を調べて理解を深めよう。 ・語句の意味や修辞に注意して、唐詩や文章の内容を読み取ろう。 ・豊かな詩情や明確な主張を捉え、ものの見方や感じ方、考え方を広げよう。
第8回 提出期限 10月15日	単元名	唐詩と文(2)／史記を読む
	概要	・語句の意味や修辞に注意して、唐詩や文章の内容を読み取ろう。 ・豊かな詩情や明確な主張を捉え、ものの見方や感じ方、考え方を広げよう。 ・登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、感じたことを話し合おう。 ・作品を読み込んで脚本化を試み、朗読したり劇として演じたりしてみよう。
第9回 提出期限 10月15日	単元名	中国の知恵／三国志の世界
	概要	・古代中国のさまざまな考え方に触れ、ものの見方や感じ方、考え方を深めよう。 ・寓話や故事成語の意味について理解を深めよう。 ・登場人物の行動や心情を捉え、人間の生き方について考えよう。 ・歴史上の人物を描いた作品を通して、歴史のおもしろさを味わおう。
第10回 提出期限 11月15日	単元名	小話を読む／古体詩
	概要	・話の展開や登場人物の思いに触れ、内容のおもしろさを味わおう。 ・さまざまな人物の考え方を比較し、人間の生き方について考えよう。 ・詩にうたわれた情景や作者の心情を読み取り、ものの見方や感じ方を豊かにしよう。 ・内容や表現の特色を理解し、古体詩を読み味わおう。
第11回 提出期限 11月15日	単元名	史記を味わう／中国の思想(1)
	概要	・人間関係や時代状況を踏まえて、登場人物の人柄や言動を捉えよう。 ・本文と同形の故事成語を探して、もととなった作品を読むとともに、現代の生活に当てはめて考えたことを随筆にまとめよう。 ・古代中国のさまざまな思想に触れ、内容を的確に読み取ろう。 ・それぞれの思想を比較し、人間のあり方について討論してみよう。
第12回 提出期限 12月15日	単元名	中国の思想(2)／日本の漢詩文
	概要	・古代中国のさまざまな思想に触れ、内容を的確に読み取ろう。 ・それぞれの思想を比較し、人間のあり方について討論してみよう。 ・表現に込められた、豊かな詩情や内容を読み味わおう。 ・日本の文化と中国の文化の関係について考えよう。 ・学習を通じて、自分でも漢詩の復元をしてみよう。

面接指導計画

1．単元名
【5～6月実施】【第1回】説話に楽しむ／随筆を読む
作品紹介を機に本時の目標を把握し、発問を通して花や月、恋に対する兼好法師と本居宣長の意見を比較する。
【7～8月実施】【第2回】作り物語を読む／和歌の世界
竹取物語の概要や登場人物を把握し、現代の絵本との描写の違いを本文や挿絵を参考に比較・考察する。
【9～10月実施】【第7回】 故事と小話／唐詩と文(1)
漢詩を作る上で守らなければいけない決まりについて理解を深め、実際に漢詩を作成し、漢詩に親しみを持てるようにする。
【11～12月実施】【第11回】史記を味わう／中国の思想(1)
中国の思想を理解し、「人の本性は善か悪か」という問いについて、根拠をもって自分なりの考えを形成する。
【1～3月実施】【第6回】作り物語を味わう／俳諧に親しむ／伝承の世界
本文の内容を若紫の感情に注目しながら読み深めることを促す。時代背景を踏まえながら、当時の若紫の幸せについて考える。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2．学習到達目標
【知識・技能】
古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やし、古典文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができている。
【思考・判断・表現】

古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見や価値観と結びつけ、自身を取り巻く現代の環境と結びつけつつ、考えを広げたり深めたりすることができている。
【学びに向かう力、人間性等】
古典に対して、歴史的背景や文化への関心を深めながら、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、現代的な価値観とも関連させつつ学びを深めることができる。

「地理総合」　１学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1） 地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （2） 地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり， 地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 （3） 地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

教科書	東京書籍地理総合（地総701）
副教材	東京書籍「新高等地図」（地総701） 自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	地図と現代社会
	概要	・私たちが暮らす世界について学ぼう。 ・地図やGISの役割について学ぼう。 ・世界の結び付きについて学ぼう。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	生活文化と地理的環境(1)
	概要	・文化の地域性と多様性について学ぼう。 ・地形と生活文化の関係について学ぼう。
第3回 提出期限 8月15日	単元名	生活文化と地理的環境(2)
	概要	・気候と生活文化の関係について学ぼう。 ・産業と生活文化の関係について学ぼう。
第4回 提出期限 10月15日	単元名	地球的課題と国際協力(1)
	概要	・地球環境問題について学ぼう。 ・資源やエネルギーの問題について学ぼう。
第5回 提出期限 11月15日	単元名	地球的課題と国際協力(2)
	概要	・人口や食料の問題について学ぼう。 ・都市や民族の問題について学ぼう。
第6回 提出期限 12月15日	単元名	持続可能な地域づくりと私たち
	概要	・日本の自然環境の特色について学ぼう。 ・さまざまな自然災害と防災について学ぼう。 ・地域調査の方法について学ぼう。

面接指導計画

1. 単元名
【5〜6月実施】第1回　地図と現代社会
選択した国の特色や時差の仕組みを学び、調べた情報や計算方法を活用して海外旅行の計画や到着時間を考える。
【7〜8月実施】第2回　生活文化と地理的環境(1)
班でのカードワークを通して世界の食文化の多様性を学び、その背景やグローバル化、未来の課題を考察する。
【9〜10月実施】第4回　地球的課題と国際協力(1)
海水温上昇とタチウオの北上データを分析し、特定地域の水産業における資源変化の現状を捉えた上で、タチウオを資源として活用するためにどんな人たちがどんな取り組みをしているのか調べる。
【11〜12月実施】第5回　地球的課題と国際協力(2)
地球的課題と国際協力について、国際問題・国際協力について扱った上で国内での取り組みや活動がどのように実施されているかを考察する。
【1〜3月実施】第6回　持続可能な地域づくりと私たち
地震のメカニズムや、過去の被災事例を通じて、地球環境との共生の仕方について自分なりに考察する。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
地図や統計資料、デジタルツールを活用しながら、自然環境や人間活動に関する地理的事象についての基礎的な知識と技能を身につける。
またそれをもとに、地理的な見方・考え方を支える力を養う。
【思考・判断・表現】
身近な地域や地球規模の課題を多面的・多角的に捉え、地理的な見方・考え方を働かせて考察する。
身近な地域や事象について得られた情報や自分の考えを的確に表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
身近な地域や世界の課題に関心を持ち、地理的な視点での探究を通じて学びの意義を実感しながら、他者と協働し、主体的に学習に取り組む姿勢を育てる。

「地理探究」　３学年　通信教育実施計画（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位	3単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1） 地理に関わる諸事象に関して，世界の空間的な諸事象の規則性，傾向性や，世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （2） 地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と 自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，系統地理的， 地誌的に，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基 に議論したりする力を養う。 （3） 地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を 主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域 の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

教科書	東京書籍「地理探究」（地総７０１）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年9回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	自然環境
	概要	・世界の地形 ・気候と自然環境 ・気候と人々の生活 ・日本の自然環境と自然災害 ・世界の環境問題
第2回 提出期限 7月15日	単元名	第一次産業と食料問題
	概要	・産業の発展と社会的分業 ・世界と日本の農林水産業 ・食料問題
第3回 提出期限 8月15日	単元名	第二次産業
	概要	・エネルギーと鉱産資源 ・世界と日本の資源・エネルギー問題 ・工業の立地と工業地域の変容 ・グローバル化と工業の変容
第4回 提出期限 8月15日	単元名	第三次産業と交通・通信
	概要	・第三次産業の発達 ・交通・通信の発達 ・経済連携の強化と現代貿易の課題 ・観光の発達
第5回 提出期限 9月15日	単元名	人口・村落・都市
	概要	・人口動態 ・発展途上国と先進国の人口問題 ・村落・都市の機能、内部構造 ・発展途上国・先進国・日本の、居住・都市問題

第6回 提出期限 10月15日	単元名	生活文化と地域区分
	概要	・生活文化の地域性 ・世界の民族・言語・宗教 ・世界の民族問題とその対応策 ・現代の国家と領土問題
第7回 提出期限 11月15日	単元名	アジア
	概要	・地域区分の意義と方法 ・東アジアの産業・経済・文化 ・東南アジアの産業・経済・文化 ・南アジアの産業・経済・文化 ・西アジアと中央アジアの共通点と相違点
第8回 提出期限 11月15日	単元名	アフリカ・ヨーロッパ・ロシア
	概要	・北アフリカとサハラ以南アフリカの共通点と相違点 ・アフリカと他地域との結びつき ・ヨーロッパの産業・経済・文化 ・揺らぐ「一つのヨーロッパ」 ・ロシアの産業・経済 ・ロシアの民族問題・領土問題
第9回 提出期限 12月15日	単元名	アメリカ・オセアニア・日本
	概要	・アングロアメリカの産業・経済・文化 ・アングロアメリカでの大都市圏の拡大と変容 ・ラテンアメリカの産業・経済・文化 ・ラテンアメリカで進む開発と森林破壊 ・オセアニアの多文化社会の形成過程 ・オセアニアの資源と産業 ・オセアニアと他地域との結びつき ・日本の地域構造と国土政策 ・日本が抱える地理的諸課題と持続可能な国土形成

面接指導計画

1．単元名
【5～6月実施】第1回　自然環境
国内外の事例から森林問題や開発の現状を学び、議論を通じて適切な管理と保全への取り組みを考察する。
【7～8月実施】第4回　第三次産業と交通・通信
データの分析から訪日客増加の背景を学び、オーバーツーリズムの課題や京都・富士山の対策を考察する。
【9～10月実施】第6回　生活文化と地域区分
言語・文化や民族の形成・定義を理解し、多民族国家が多く存在する現状とその背景を、地理的要因から多角的に考察する。
【11～12月実施】第9回　アメリカ・オセアニア・日本
世界の諸地域について、現代の地理的な特徴を踏まえ分析を行い、世界の諸地域における暮らしや地域の課題について考察する
【1～3月実施】第5回　人口・村落・都市
人口・村落・都市の単元において、自分が暮らす生活を取り巻く環境とその構造を知った上で暮らしやすい生活とは何かを考察する。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2．学習到達目標
【知識・技能】
世界と日本の近現代の歴史の変化を相互的・多面的に捉えながら、歴史的事象に関する基礎的な知識を身につける。
資料を活用して歴史的情報を的確に調べ、まとめる技能を養う。
【思考・判断・表現】
歴史的事象の意味やつながり、現在との関連に着目しながら、時代や地域を比較し、多面的・多角的に考察する力を育てる。
また、自分の考えを資料等を適切に用いて的確に表現する力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】
歴史的な課題に関心をもち、よりよい社会の実現に向けて、他者と協働して課題解決に取り組む態度を養うとともに、日本や世界の歴史への理解と尊重の心を深める。

「歴史総合」　１学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1） 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （2） 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力 を養う。 （3） 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

教科書	東京書籍「新選歴史総合」（歴総７０１）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	歴史の扉
	概要	・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が、歴史と結びついていることを学ぼう。 ・文書や遺物など、歴史的な営みの記録である資料を読み取り、資料に基づいて歴史が叙述されていることを学ぼう。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	近代化と私たち
	概要	・18世紀のアジア諸国が欧米の経済に与えた影響を学ぼう。 ・産業革命の影響を学ぼう。 ・中国の開港と日本の開国の背景、影響を学ぼう。 ・国民国家が形成された背景や影響を学ぼう。 ・帝国主義政策の背景とアジア・アフリカに与えた影響を学ぼう。
第3回 提出期限 8月15日	単元名	国際秩序の変化や大衆化と私たち（1）
	概要	・様々な現代的課題の発生と近代化の歴史的関係を学ぼう。 ・国際秩序の変化と大衆化による、生活や社会の変容を学ぼう。 ・第一次世界大戦の推移や、大戦後の国際協調体制を学ぼう。 ・第一次世界大戦前後の社会の変化について学ぼう。
第4回 提出期限 10月15日	単元名	国際秩序の変化や大衆化と私たち（2）
	概要	・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化を学ぼう。 ・世界恐慌への各国の対応と、国際協調体制が動揺した原因を学ぼう。 ・第二次世界大戦の推移と大戦後の世界に与えた影響を学ぼう。 ・第二次世界大戦後に形成された国際秩序と世界的影響を学ぼう。 ・第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活を学ぼう。 ・日本に対する占領政策と戦後国際情勢の関係を学ぼう。
第5回 提出期限 11月15日	単元名	グローバル化と私たち（1）
	概要	・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治・経済に及ぼした影響を学ぼう。 ・冷戦や地域紛争の中で進んだ第三世界の結集を学ぼう。

		・欧米やソ連の政策転換を学ぼう。 ・地域連携の背景と影響を学ぼう。 ・日本の高度経済成長の背景と影響を学ぼう。
第6回 提出期限 12月15日	単元名	グローバル化と私たち（2）
	概要	・アジア諸地域の経済発展の背景を学ぼう。 ・経済の自由化や技術革新の影響を学ぼう。 ・資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響を学ぼう。 ・冷戦の変容と終結の背景を学ぼう。 ・民主化や地域統合の背景と影響を学ぼう。 ・地域紛争が拡散した背景と影響を学ぼう。

面接指導計画

1. 単元名
【5〜6月実施】第1回　歴史の扉
自分史作りを通して歴史の「変化」や「資料」の必要性を学び、資料の分類や歴史解釈の多様性を理解する。
【7〜8月実施】第2回　近代化と私たち
イギリス産業革命の背景や技術革新を学び、給料交渉ゲームを通して資本家と労働者の格差や社会主義を考察する。
【9〜10月実施】第4回　国際秩序の変化や大衆化と私たち（2）
WWⅠの復習をし、戦後の大国の動向を考察する。その中でアメリカの繁栄に着目し、世界恐慌へと繋げ、その後の不況に対しての大国の動向を学習します。その結果を踏まえWWⅡの発生への流れ、発生後の世界の変容を考察していく。~~いきます~~。
【11〜12月実施】第5回　グローバル化と私たち（1）
米ソの核兵器開発競争やキューバ危機等の歴史的背景を学び、日本の立場や非核三原則を踏まえ、今後の日本と核の関わり方について主体的に考察・表現する授業
【1〜3月実施】第6回　グローバル化と私たち（2）
冷戦に目が向きがちな単元において西ヨーロッパがどのように行動したのか、またその行動のわけを過去から考察し、現在に与えた影響について考える。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
日本の歴史の展開について、地理的条件や世界の歴史との関係にも着目しながら理解を深める。
多様な資料を活用して、歴史的情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる力を養う。
【思考・判断・表現】
歴史的事象の意味や意義、伝統や文化の特色に注目し、時代の流れや現在とのつながりを考察する力を育てる。
また、考察をもとに自分の意見を根拠をもって表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史や文化に対する理解を深めるとともに、よりよい社会の実現を見据えて他者と協働し、課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

「日本史探究」　２学年　通信教育実施計画　（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位	3単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1） 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに，諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （2） 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義，伝統と文化の特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 （3） 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

教科書	東京書籍「日本史探究」（日探７０１）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年9回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	先史・古代の日本と東アジア①
	概要	・人類の出現と旧石器時代 ・縄文文化の特色 ・弥生文化の特色
第2回 提出期限 7月15日	単元名	先史・古代の日本と東アジア②
	概要	・古墳時代の政治と文化 ・飛鳥時代の政治と文化 ・奈良時代の政治と文化 ・平安時代初期の政治と文化 ・藤原氏の台頭と武士の出現 ・国風文化の特色
第3回 提出期限 8月15日	単元名	中世の日本と世界①
	概要	・院政の開始と展開，土地支配の変容 ・武士の社会進出と平氏政権の誕生，平安末期の交易と文化の特色 ・鎌倉幕府の支配のしくみ ・執権政治の特色 ・モンゴルの襲来と鎌倉時代の社会の変化 ・鎌倉時代の仏教と文化
第4回 提出期限 8月15日	単元名	中世の日本と世界②
	概要	・鎌倉幕府の滅亡から室町幕府の成立にかけての武家と朝廷の動き ・室町時代の対外関係 ・室町時代の社会 ・戦国大名の分国支配と都市の発達 ・室町文化の特色

第5回 提出期限 9月15日	単元名	近世の日本と世界①
	概要	・アジア各地やヨーロッパ諸国との交流が日本に及ぼした影響 ・織豊政権による全国統一と政策目的，意義 ・桃山文化の特色 ・江戸幕府の支配のしくみ ・近世の身分と村や町での生活 ・江戸幕府の対外政策
第6回 提出期限 10月15日	単元名	近世の日本と世界②
	概要	・武断政治から文治政治への転換 ・産業の発達と文化の興隆 ・享保の改革と経済の発展 ・18世紀中後期の政治，社会，文化 ・18世紀末～19世紀前半の政治，社会，文化
第7回 提出期限 11月15日	単元名	近現代の地域・日本と世界①
	概要	・開国と開港による日本の変化 ・江戸幕府の崩壊から明治維新に至る過程
第8回 提出期限 11月15日	単元名	近現代の地域・日本と世界②
	概要	・明治初期の諸政策と文化、教育 ・明治初期の対外政策 ・自由民権運動の展開 ・近代的制度の導入と欧米列強 ・条約改正交渉と日清戦争の経緯 ・明治期の産業の発展と資本主義社会の成立 ・日露戦争の経過と日本の帝国主義化 ・第一次世界大戦と大戦期の産業や文化，大衆社会 ・大正期の政治と社会運動の高まり ・大戦期の日本の対外政策 ・昭和恐慌前後の経済政策と立憲政治の動揺 ・満洲事変と日中戦争 ・第二次世界大戦に至る過程と大戦中の政治，社会，国民生活
第9回 提出期限 12月15日	単元名	近現代の地域・日本と世界③
	概要	・占領下の政治と日本国憲法の成立 ・冷戦の開始と日本の復興 ・日本の国際復帰と独立回復後の政治，経済，対外関係 ・高度経済成長後の日本と世界の政治，経済 ・20世紀末の世界と日本の動き ・21世紀の日本の課題

面接指導計画

1．単元名
【5～6月実施】第1回　先史・古代の日本と東アジア①
弥生時代の特徴や邪馬台国の位置を議論し、情報への批判的思考（史料批判）の重要性について考察する。
【7～8月実施】第3回　中世の日本と世界①
平清盛の生涯と源頼朝の生涯を学び、周囲との意見交換を交えながら平氏滅亡から鎌倉幕府成立までを紐解く。
【9～10月実施】第6回　近世の日本と世界②
江戸時代の交通網について街道ゲームを行いながら街道の成り立ちや江戸時代の人々の移動について学習し、江戸時代に整えられた交通や道に関して現代との繋がりを考察する。
【11～12月実施】第8回　近現代の地域・日本と世界②
大正デモクラシーや第一次世界大戦といった出来事を見ながら、日本の民主主義の発展とその後の展開について自分なりに考察を行う。
【1～3月実施】第9回　近現代の地域・日本と世界③
占領期、国際復帰をした日本の姿について知り、現代に通じる戦後日本を学ぶことを通じて国際社会における日本について考察する。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2．学習到達目標
【知識・技能】
世界の歴史の大きな枠組みと展開を、日本の歴史や地理的条件との関わりの中で理解し、歴史的事象に関する基礎的な知識を身につける。
資料を活用して歴史的情報を的確に調べ、まとめる技能を養う。

【思考・判断・表現】
歴史的事象の意味や意義、現代とのつながりに注目しながら、時代や地域を比較し、多面的・多角的に考察する力を育てる。また、自分の考えを資料等を適切に用いて的確に表現する力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史に関心をもち、よりよい社会の実現を見据えて他者と協働しながら課題解決に取り組む態度を養うとともに、日本や世界の歴史に対する理解と、他国・他文化を尊重する姿勢を深める。

「世界史探究」　３学年　通信教育実施計画（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位	3単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1） 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （2） 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や 年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 （3） 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情， 他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

教科書	東京書籍「世界史探究」（世探７０１）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年9回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	諸地域の歴史的特質①
	概要	・農耕と牧畜のはじまりによる人類の生活様式の変化 ・自然環境に応じて誕生した文明と，その社会への影響
第2回 提出期限 7月15日	単元名	諸地域の歴史的特質②
	概要	・アッシリアとアケメネス朝ペルシアの統治の共通点と相違点 ・アテネの民主政 ・ローマが共和政から帝政に移行した理由 ・ローマ帝国の政治，社会，宗教の変化やキリスト教の広まり ・地中海世界とアジアのつながり ・イスラームの特色 ・東西ヨーロッパの変容
第3回 提出期限 8月15日	単元名	諸地域の歴史的特質③
	概要	・南アジアの国家，社会，諸宗教の特徴 ・東南アジア地域における国家形成と交易や思想・文化の関係 ・秦漢帝国や匈奴帝国の誕生と性格 ・中国と周辺地域の交流 ・中国の再統一と隋唐帝国 ・日本や東アジアの国々による，隋唐の文化の受容 ・トルコ系民族のユーラシア大陸への広がり ・ユーラシア大陸以外の地域に成立した文明の特徴
第4回 提出期限 8月15日	単元名	諸地域の交流と再編①
	概要	・カリフと地方政権 ・イスラーム文明の特徴 ・西ヨーロッパの封建社会の成立過程 ・東ヨーロッパの民族・国家・宗教の結びつき ・西ヨーロッパの農業，商業，都市 ・中世西ヨーロッパの文化に影響を及ぼした他文化とキリスト教

		・中世後期の西ヨーロッパにおける社会的・政治的変動 ・ルネサンスの社会的背景と影響 ・10世紀の東アジア諸国の大変動と唐宋変革 ・モンゴル帝国の発展の過程とアジアに及ぼした変化 ・イスラームのインド社会への広がり ・東南アジアにおける国家の発展過程
第5回 提出期限 9月15日	単元名	諸地域の交流と再編②
	概要	・アジアの交易世界がマラッカを中心に再編された理由 ・ポルトガルのアジア進出の理由とその影響 ・明の国内重視の国家体制と活発な交易の両立 ・スペインのアメリカ，アジア進出とその影響 ・ムガル帝国の繁栄と世界の諸地域の動きとの関連 ・清が多様な文化や宗教を有する人々を，長期にわたり統治できた理由
第6回 提出期限 10月15日	単元名	諸地域の交流と再編③
	概要	・近世の主権国家の特徴 ・国家の形成と宗教のかかわり ・オランダの繁栄と英仏の国家建設の関係 ・三十年戦争がヨーロッパとドイツに与えた影響 ・ヨーロッパ諸国の貿易と植民地建設が，ヨーロッパ，アフリカ，アメリカ大陸に与えた影響 ・英仏に追いつこうとした新興国で行われた改革 ・自然科学，哲学，芸術などの分野で生まれた新しい思想
第7回 提出期限 11月15日	単元名	一体化していく世界①
	概要	・イギリスで産業革命がはじまった原因 ・北アメリカの政治変革によって獲得された権利と権利を認められなかった人々 ・フランス革命の展開と他国への影響 ・1848年にヨーロッパ諸国でおこった出来事の背景と課題 ・ヨーロッパ諸国における国民意識の高まりと覇権競争の結果 ・南北戦争前後の時代のアメリカの社会が抱えていた課題 ・イギリスの急速な工業化が変えた世界の結びつき方 ・南アジアと東南アジアの各地における植民地支配の拡大 ・アヘン戦争の背景とイギリスの勝利が意味したもの ・西アジアの諸国で生じた変革とその背景 ・南アジアと東南アジアの民族運動のそれぞれの特徴
第8回 提出期限 11月15日	単元名	一体化していく世界②
	概要	・第一次世界大戦が長期化した理由 ・大戦前後の国際秩序のあり方の変化とその理由 ・戦間期アメリカの大衆社会が，ほかの諸国に与えた影響 ・第一次世界大戦が，アジア各地の独立運動や民族形成に与えた影響 ・世界恐慌が諸地域の経済体制，政治体制に与えた影響 ・世界恐慌が国際協調体制に与えた打撃 ・第二次世界大戦のはじまりと展開 ・大戦後半に構想された国際秩序の再建と冷戦への展開 ・連合国の戦後構想とその実現方法 ・敗戦後の日本の解体 ・日本の植民地や占領地域が置かれた状況 ・大戦終結後の植民地支配と，独立した国が直面した課題 ・朝鮮戦争と東アジアにおける冷戦の形成
第9回 提出期限 12月15日	単元名	グローバル化と地球的課題
	概要	・冷戦のもとで模索された世界の平和 ・独立したアジア・アフリカ諸国が直面した課題と，これらの国家の出現が国際社会に与えた影響 ・東西のバランスの推移と多極化の進展 ・1970年代にアメリカの覇権に動揺が生じた原因と世界に与えた影響 ・アジア，アフリカ，ラテンアメリカ各国や社会の冷戦への対応 ・冷戦の終結過程と冷戦後の世界秩序 ・グローバル化によって生じた課題

面接指導計画

1．単元名 【5～6月実施】第1回　諸地域の歴史的特質① 古代エジプトの基礎や王朝の興亡を学び、ファラオの名前や宗教改革、国をまとめるリーダー像を考察する。 【7～8月実施】第3回　諸地域の歴史的特質③ 中国の王朝交替サイクルと易姓革命の論理を学び、隋から唐への移り変わりや煬帝が暴君とされる背景を考察する。 【9～10月実施】第5回　諸地域の交流と再編②

大航海時代が始まった理由を理解する。また良い点だけではなく問題点についても理解をし、異なる視点から大航海時代の功罪について考察する。
【11～12月実施】第7回　一体化していく世界①
アメリカ独立までの流れについて知り、歴史上の出来事が発生した背景について周囲との意見交換を交えながら仮説を立てながら考察する。
【1～3月実施】第8回　一体化していく世界②
現代のウクライナとロシアの対立がなぜ起きているのかを考察し、今の世界情勢のもとになった冷戦について学ぶ。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2．学習到達目標
【知識・技能】
地図や統計資料、デジタルツールを活用し、地域や地球規模の課題に関する多様な情報を的確に読み取る力を養う。
地理的な事象を探究するにあたって必要な基礎的な知識・技能を身につける。
【思考・判断・表現】
課題を設定し、調査・分析を通じて仮説を検証しながら地理的な思考を深める
また、根拠に基づいた自分の意見を論理的かつ効果的に表現する力を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】
自ら課題を見いだし、計画的に調査・分析を進める。
調査・分析をもとに地理的な探究に対する意欲を高め、他者と協働してより深く学ぼうとする態度を養う。

「公共」　１学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	公民	科目	公共	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （2）現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 （3）よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

教科書	教育図書「公共」（公共７０２）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	公共とは
	概要	・公共的な空間と人間の関わりについて学ぼう。 ・個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性などを学ぼう。 ・人間は個人として相互に尊重されるべき存在であることを学ぼう。 ・人間は対話を通して互いの立場を理解し高め合う存在であることを学ぼう。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	現代社会と法
	概要	・法の特徴をつかみ、法の分類、階層関係について学ぼう。 ・私たちがさまざまな契約を結んでいることを学ぼう。 ・消費者保護、消費者自立の考え方を学ぼう。 ・三権分立において司法権の果たしている役割を学ぼう。 ・裁判員制度の目的と意義を学ぼう。 ・国民審査や検察審査会など、市民が司法参加するさまざまな制度を学ぼう。 ・刑事裁判と民事裁判の目的や、手続きの違いを学ぼう。
第3回 提出期限 8月15日	単元名	現代社会と政治
	概要	・政党政治のしくみを学ぼう。 ・世論、ポピュリズムについて学ぼう。 ・立法の手続き、議院内閣制、行政の仕組み、三権分立を学ぼう。 ・直接民主制の仕組み、地方財政問題、地方分権の課題を学ぼう。 ・国家の要件、紛争解決手段、日本が抱える領土問題を学ぼう。 ・日本の安全保障の変化を学ぼう。 ・戦後、日本が国際社会において果たしてきた役割や、国連の成立と仕組みを学ぼう。 ・SDGsが成立した経緯とその背景にある格差問題について学ぼう。
第4回 提出期限 10月15日	単元名	現代社会と経済⑴
	概要	・働くことの意味や、生活とのバランスを学ぼう。 ・人間とAIの共存や仕事の変化について学ぼう。

		・日本型経営や雇用システム、日本の労働環境の課題点を学ぼう。 ・労働法制の基本構造を学ぼう。 ・歳入・歳出、予算の編成など財政について学ぼう。 ・租税の種類や特徴、税制度の公平性を学ぼう。 ・公債の種類と特徴について学ぼう。 ・公営、民営のそれぞれの利点と課題を学ぼう。 ・少子高齢化と社会保障制度の維持について学ぼう。 ・市場は万能ではなく、法規制や公的機関による介入を必要とすることを学ぼう。
第5回 提出期限 11月15日	単元名	現代社会と経済⑵
	概要	・金融が果たす役割、金融市場の仕組みを学ぼう。 ・日本銀行の役割、金融政策の目的、景気や物価に影響を与えるメカニズムを学ぼう。 ・金融の自由化、国際化について学ぼう。 ・世界経済の相互依存関係が引き起こす影響を学ぼう。 ・地域経済統合がもたらすメリットとデメリットを自由貿易、保護貿易の観点から学ぼう。 ・南北問題、南南問題という地域的格差が生じていることを学ぼう。 ・国際機構が格差是正のために果たしている役割を学ぼう。 ・多文化主義の考え方を学ぼう。
第6回 提出期限 12月15日	単元名	持続可能な社会へ
	概要	・公共での学びを、主体として社会に参画する場までつなげていくにはどうすべきかを学ぼう。

面接指導計画

1. 単元名
【5〜6月実施】第1回　公共とは
市場交換と贈与の定義や例を学び、ボランティアへの報酬やペアワークを通して両者の利点と欠点を考察する。
【7〜8月実施】第3回　現代社会と政治
若者の投票率低下やシルバー民主主義の課題を学び、情報リテラシーを意識して選挙の論点や投票先を考察する。
【9〜10月実施】第4回　現代社会と経済⑴
AIに代替される職業について考察し、職業選択の場面や、日常でのAIとの共生について考え、課題を意識した上で活用していくために必要なことを考える。
【11〜12月実施】第5回　現代社会と経済⑵
昨今話題の「投資」と「NISA」の違いを学び、投資ゲームを通して投資の意味と自分ごととして見える課題について考察する。
【1〜3月実施】第6回　持続可能な社会へ
SDGsカードゲームを通じて、持続可能な社会のあり方を考える。また、そのあり方を提唱できるよう学習する。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて、考察し、判断するための概念や理論を理解する。
また、諸資料から必要な情報を適切に調べ、まとめる技能を身につける。
【思考・判断・表現】
現実社会の課題解決に向け、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的空間の原理を活用し、事実に基づき多角的に考察し、公正に判断する力を養う。また、合意形成や社会参画を視野に入れ、構想したことを議論する力を育む。
【学びに向かう力、人間性等】
より良い社会の実現を目指し、現代の諸課題を主体的に解決する態度を養う。
多面的・多角的考察と深い理解を通し、現代に生きる人間としての自覚を深める。

「倫理」　１学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	公民	科目	倫理	単位	2単位	面接指導実施 時間数 40分1コマ換算	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ,現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して,広い視野に立ち,人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて,グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1） 古今東西の幅広い知的蓄積を通して，現代の諸課題を捉え，より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （2） 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や，現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを 活用して，論理的に思考し，思索を深め，説明したり対話したりする力を養う。 （3） 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

教科書	教育図書「倫理」（倫理７０１）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	人間の心のあり方
	概要	・人間の特質と「考えること」の意義 ・青年期の位置づけと特質 ・人間の知的活動の特徴 ・類型論と特性論からみる人間の個性 ・他者との相互作用の中で発達する人間の心
第2回 提出期限 7月15日	単元名	さまざまな人生観・倫理観・世界観①
	概要	・「哲学」の意味と「哲学すること」の意義 ・哲学の誕生と各思想家の特徴 ・宗教が人間や社会に与えた影響 ・キリスト教の成立と展開 ・イスラームの成立と展開 ・仏教の成立と展開 ・儒家と道家の思想 ・美と，芸術の創造・鑑賞
第3回 提出期限 8月15日	単元名	さまざまな人生観・倫理観・世界観②
	概要	・西洋における近代化の特徴 ・ベーコンとデカルトの思想の共通点・相違点 ・ホッブズ，ロック，ルソーの思想の共通点・相違点 ・カントとヘーゲルの考えの比較 ・アダム・スミス，ベンサム，J.S.ミルの倫理思想 ・社会主義思想の特色 ・実証主義や進化論，プラグマティズムの思想
第4回 提出期限 10月15日	単元名	さまざまな人生観・倫理観・世界観③
	概要	・キルケゴール，ニーチェ，フロイトの思想とそれ以前の西洋哲学との比較 ・ハイデッガー，ヤスパース，サルトルの思想

		・ソシュール，レヴィ=ストロース，フーコーの思想 ・ドゥルーズ，デリダの思想 ・他者とのかかわりや言語活動 ・民主社会の成熟と公共性 ・自然のとらえかた，かかわり方
第5回 提出期限 11月15日	単元名	国際社会に生きる日本人としての自覚
	概要	・日本人の自然観・宗教観・倫理観の特質 ・日本の仏教受容と影響 ・日本における仏教理解と変容，影響 ・仏教が日本文化に与えた影響 ・儒教が日本人の思想形成に与えた影響 ・日本で独自に展開した儒教思想 ・国学が見出した人間像 ・町人や農民などの諸思想の特徴 ・近代精神の形成と幕末の倒幕における思想的背景 ・啓蒙思想や自由民権思想 ・日本のキリスト教の受容 ・日本人の国家意識と社会思想の形成 ・近代的な自己の在り方 ・戦後思想の動向
第6回 提出期限 12月15日	単元名	現代の諸課題と倫理
	概要	・生命倫理と「生きることの意義」 ・人間の生命と自然の生態系 ・先端科学技術の利用と人間生活 ・協働，ケア，共生の視点と社会 ・文化や宗教の理解 ・平和な世界の実現に向けて

面接指導計画

1. 単元名
【5～6月実施】第1回　人間の心のあり方
動物との比較や先哲の思想から人間の定義を学び、自己の人間観を言語化してグループで共有・考察する。
【7～8月実施】第2回　さまざまな人生観・倫理観・世界観①
犬の例からプラトンのイデア論を学び、利己・利他主義の視点を通じてよい行いやよく生きる方法を考察する。
【9～10月実施】第4回　さまざまな人生観・倫理観・世界観③
ロールズの「無知のヴェール」とセンの「ケイパビリティ」について学び、「公正」とはどのような状態かを考察する。
【11～12月実施】第5回　国際社会に生きる日本人としての自覚
日本古来からの思想について学び、大陸からの影響や思想の変遷について考え、日本固有の思想と諸外国の思想とを比較する。
【1～3月実施】第6回　現代の諸課題と倫理
ケアの倫理とは何かを、関連する議論や、その課題および現代社会における意義の具体的な例を考察することを通して学ぶ。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
古今東西の知的蓄積から現代の諸課題を深く思索するための概念や理論を理解する。
また、人間としての在り方、生き方に関わる情報を調べ、まとめる技能を身に付ける。
【思考・判断・表現】
自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方を深く思索する力を養う。
また、倫理的概念や理論を活用し、現代の倫理的課題を解決するため、論理的に思考し、説明や対話をする力を育む。
【学びに向かう力、人間性等】
人間としての在り方・生き方に関わる事象や課題を主体的に追究し、他者と共によりよく生きる自己を形成する態度を養う。
多面的・多角的考察と深い思索を通し、現代社会に生きる人間としての在り方・生き方への自覚を深める。

「政治・経済」　３学年　通信教育実施計画（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	公民	科目	政治・経済	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1） 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 （2） 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済 に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して，合意形成や社会参画に向かう力を養う。 （3） よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，国民主権を担う公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に，より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

教科書	東京書籍株式会社「政治・経済」（政経７０１）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	現代日本の政治
	概要	・民主政治の成立と基本的人権 ・現代の民主政治とおもな国の政治体制 ・日本国憲法の基本原理 ・国会，内閣，裁判所 ・地方自治のしくみ ・日本の政党政治の変遷 ・日本の選挙制度とその課題 ・世論の形成と政治参加
第2回 提出期限 7月15日	単元名	現代日本の経済
	概要	・経済活動の基本原理 ・資本主義経済と社会主義経済 ・経済の循環の理由 ・企業の活動と市場経済 ・景気変動のしくみ ・金融の役割と政策の手段 ・財政のしくみと機能 ・戦後の日本経済の変遷と現状 ・福祉社会と日本経済の課題
第3回 提出期限 8月15日	単元名	現代日本の諸課題
	概要	・少子高齢化と社会保障 ・地域社会の現状と活性化への取り組み ・多様な働き方・生き方 ・中小企業の強みと課題 ・日本の財政の現状と健全化への取り組み ・持続可能な食料・農業の実現

		・災害対策の現状と防災・減災の取り組み
第4回 提出期限 10月15日	単元名	現代の国際政治
	概要	・国際社会の形成過程と国際法 ・国際連合の役割と課題 ・戦後国際関係の展開と日本 ・地域主義の動きの背景 ・核抑止と軍縮の動向 ・紛争・難民・テロリズムの背景 ・日本の外交や安全保障の課題と日本の役割
第5回 提出期限 11月15日	単元名	現代の国際経済
	概要	・貿易と国際収支，為替 ・戦後国際経済体制の展開 ・南北問題の解消に向けた取り組み ・経済のグローバル化と課題 ・地球環境問題をめぐる国際社会の利害対立 ・各国の資源・エネルギー事情 ・世界人口の変動と持続可能な社会の形成
第6回 提出期限 12月15日	単元名	国際社会の諸課題
	概要	・多文化共生社会の形成に向けて ・地球温暖化の対策と現状 ・国際的な経済格差の是正に向けて ・医療のイノベーションの現状と促進 ・民族問題と紛争 ・SDGsの達成に向けた取り組み

面接指導計画

1．単元名
【5～6月実施】第1回　現代日本の政治
地方自治の基本と人口減少による財政悪化を学び、コンパクトシティの是非や夕張市の事例から課題解決を考察する。
【7～8月実施】第2回　現代日本の経済
生存権を起点に社会保障の４つの柱を学び、税負担との関係や少子化対策などの課題からそのあり方を考察する。
【9～10月実施】第4回　現代の国際政治
国連の平和維持の仕組みと、ウクライナ侵攻等を事例とした役割・課題を理解させる。
【11～12月実施】第5回　現代の国際経済
現代の国際社会における電力問題と、日本で用いられている発電方法のメリットやデメリットについて学習する。
また、気候変動や燃料価格の変動など、社会問題が自分事に発展している様子も理解させることを目的とする。
【1～3月実施】第6回　国際社会の諸課題
パレスチナ問題が起きた背景と現状について、ユダヤ人の歴史を元に考察し、民族同士の互いに譲ることのできない困難な問題に関して自分ごととして表現を行う。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2．学習到達目標
【知識・技能】
現実社会の諸課題解決に向け、政治・経済の概念や理論を理解する。
諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。
【思考・判断・表現】
政治・経済の概念や理論に基づき、複雑な課題を把握・説明する力を身につける。
身に付けた判断基準を根拠に構想し、公正な判断を通じて、合意形成や社会参画へ向かう力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
より良い社会のため、現実社会の諸課題を主体的に解決する態度を養う。
多面的・多角的考察と深い理解を通し、公民として国家・国際社会で積極的な役割を果たす自覚を深める。

「数学Ⅰ」　１学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位	3単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 （2）命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 （3）数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

教科書	東京書籍「新数学Ⅰ」（数Ⅰ７０４）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年9回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	数の計算
	概要	正負の数の加減法／正負の数の乗除法／正負の数の利用
第2回 提出期限 7月15日	単元名	数と式
	概要	文字を使った式／多項式と単項式／多項式の加法・減法／多項式の乗法／乗法公式／因数分解／展開、因数分解のくふうと利用／平方根／根号をふくむ式の計算／数の分類／分数と小数 ・文字を使った式の表し方の約束を確認し、正しく文字式を扱うことができる。 ・単項式、単項式の次数、係数、多項式、項、定数項、同類項、多項式の次数、n次式など、式についての用語の意味を理解する。 ・多項式と数のかけ算、多項式の加法・減法の仕組みを理解し、それらの計算ができる。 ・指数法則、単項式の乗法について理解し、さらに分配法則を用いて多項式を展開することができる。 ・乗法公式について理解し、乗法公式が利用できる。 ・分配法則や乗法公式を逆に用いて因数分解することについて理解し、因数分解の公式が利用できる。 ・根号を含む式の基本的な計算ができる。また、分母の有理化について理解し、それを活用できる。 ・自然数、整数、有理数、無理数の意味を理解して、それらを区別できる。さらに、実数について理解するとともに、数を拡張することに興味をもつ。 ・有限小数、循環小数について理解し、有限小数になる分数を判断できる。また、循環小数を記号を用いて表すことができる。
第3回 提出期限 8月15日	単元名	方程式と不等式
	概要	1次方程式／不等式／不等式の性質／不等式の解／不等式の解き方／2次方程式とその解き方／2次方程式の解の公式 ・1次方程式について理解し、1次方程式を解くことができる。 ・不等号の意味を理解し、数量の大小関係を不等式で表すことができる。 ・不等式を調べることによって、不等式の性質を理解する。 ・不等式の解の意味を理解し、不等式の性質を用いて不等式を解くことができる。 ・不等式の性質を用いて不等式を変形し、解くことができる。 ・2次方程式について理解し、平方根の考え、因数分解を用いて2次方程式を解くことができる。 ・解の公式を用いて2次方程式を解くことができる。

第4回 提出期限 8月15日	単元名	2次関数とそのグラフ
	概要	関数／1次関数とそのグラフ／2次関数とそのグラフ／グラフの平行移動 ・変化する2つの変量の関係を表す方法として、関数の概念を理解する。 ・1次関数のグラフをかき、変化の様子を捉えることができる。 ・2次関数のグラフの特徴を理解し、2次関数のグラフをかくことができる。 ・関数y＝ax^2のグラフをx軸方向やy軸方向に平行移動したグラフをかくことができる。 ・2次関数y＝ax^2＋bx＋cをy＝a(x－p)2＋qの形に変形し、軸と頂点を求めてそのグラフをかくことができる。
第5回 提出期限 9月15日	単元名	2次関数
	概要	2次関数の最大値・最小値／2次関数のグラフと2次方程式／2次関数のグラフと2次不等式／いろいろな2次不等式 ・2次関数の最大値・最小値についてグラフを利用して理解し、それらの値を求めることができる。 ・2次関数のグラフと2次方程式の解の関係を理解し、グラフとx軸の共有点のx座標を求めることができる。 ・2次関数のグラフと関連させて、2次不等式を解くことができる。 ・2次関数のグラフとx軸の共有点の位置関係から2次不等式の解の意味を理解し、グラフを利用して2次不等式を解くことができる。
第6回 提出期限 10月15日	単元名	三角比⑴
	概要	三角形／タンジェント／サインとコサイン／三角比の利用／三角比の相互関係 ・相似な三角形の性質を理解し、辺の長さを求めることができる。また、三平方の定理を理解し、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ・タンジェントの意味を理解し、直角三角形の辺の長さからその値を求めることができる。 ・サイン、コサインの意味を理解し、直角三角形の辺の長さからその値を求めることができる。また、30°、45°、60°の三角比の値を求めることができる。 ・三角比の表の利用の仕方を学び、三角比の表を活用して三角比の値を求めることができる。 ・三角比の相互関係について理解し、1つの三角比の値から他の2つの三角比の値を求めることができる。
第7回 提出期限 11月15日	単元名	三角比⑵
	概要	三角形の面積／正弦定理／余弦定理／鈍角の三角比／三角比の相互関係／鈍角の三角比の利用 ・与えられた辺の長さと角の大きさから、三角形の面積を求めることができる。 ・正弦定理を理解し、図形の計量の際に有効に活用することができる。 ・余弦定理を理解し、図形の計量の際に有効に活用することができる。 ・座標を用いて定めることで0°から180°までの角に対するものに拡張された三角比を理解し、その値を求めることができる。 ・角が鈍角の場合も三角比の相互関係が成り立つことを理解する。また、180°－θの三角比の値を求めることができる。 ・角が鈍角の場合も正弦定理、余弦定理、三角形の面積の公式が成り立つことを理解し、図形の計量の際に有効に活用することができる。また、三角比を空間図形の計量に活用することができる。
第8回 提出期限 11月15日	単元名	データの分析
	概要	データにもとづいた問題解決の進め方／データの特徴の調べ方／代表値／四分位数と箱ひげ図／分散と標準偏差／相関関係／相関係数／データにもとづく考え方 ・統計的探求プロセスを意識した統計的問題解決の活動について理解する。 ・データや階級、度数、階級値、度数分布表、累積度数、ヒストグラム、相対度数、累積相対度数の定義や意味を理解し、目的やデータに応じて、度数分布表、ヒストグラムなどに表すことができる。 ・データの特徴を1つの数値によって表せることを理解し、それを平均値、中央値、最頻値などの代表値で表すことができる。 ・データの散らばり具合を表す四分位数、四分位範囲の定義や意味を理解する。また、それを箱ひげ図に表すことができる。 ・分散、標準偏差を理解し、それを求めることができる。 ・相関関係について理解する。 ・相関関係の強弱を表す相関係数について理解し、相関の強さが表せることの有用性を認識できる。 ・仮説検定の考え方を理解する。
第9回 提出期限 12月15日	単元名	集合と論証
	概要	集合／命題と集合／命題と証明 ・部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合などの集合の表し方、用語、記号を、図を用いて理解し、記号を使って表すことができる。 ・命題の真偽と反例を考えることができる。また、必要条件、十分条件、必要十分条件の意味を知り、さらに図表示による包含関係と関連付けて理解する。 ・命題の逆、裏、対偶について理解し、対偶を利用した証明法や背理法による証明法を学ぶ。

面接指導計画

1. 単元名
【5〜6月実施】【第2回】数と式
数の発見順序を生活様式と結びつけて予想・学習し、表や練習問題を通して数体系の包含関係と分類を学ぶ。
【7〜8月実施】【第4回】2次関数とそのグラフ
売上データから販売価格と個数の規則性を見つけ、二次関数のグラフを活用して利益を最大化する価格を考察する。
【9〜10月実施】【第6回】三角比⑴
高い山や建造物といった、直接メジャーで測ることが不可能な対象に対しても、「角度」と「斜辺の長さ」を測量し,正弦を用いて高さを算出できることを学ぶ。
【11〜12月実施】【第8回】データの分析
生徒が身近に持つデータを活用して実際に相関の有無を調べてみる活動を通して、日常生活における様々な事象を数学を使って関係性を明らかにする方法を学び、考察をする。
【1〜3月実施】【第9回】集合と論証
論理的思考に例について触れ、命題の定義や真偽について基本的な概念を学ぶ。また、命題を用いた真偽判定のワークを通し論理的思考について学習する。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
2次関数、三角比、数と式、集合と論証の基礎概念や公式を正確に理解し、様々な数学的記号や用語を適切に用いて、基本的な計算や問題を処理する技能を習得する。
教科書レベルの典型的な問題を効率よく解けるようになることを目指す。
【思考・判断・表現】
与えられた数学的問題に対し、既習の知識や技能を体系的に活用し、論理的に思考・判断して解決する力を養う。
また、その過程や結果を数学的な根拠に基づき、筋道を立てて明確に表現する。多角的な視点から問題に取り組む姿勢も育む。
【学びに向かう力、人間性等】
数学の学習に意欲的に取り組み、粘り強く考察することで、問題解決の面白さや数学的な見方の有用性を実感する。
疑問点を自ら探求し、他者と協働しながら学びを深めようと努める。

「数学Ⅱ」　２学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位	4単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 （2）数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 （3）数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

教科書	東京書籍「新数学Ⅱ」（数Ⅱ７１７）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年12回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	式の計算
	概要	3次の乗法公式と因数分解の公式について理解し，それらを用いて計算することができる。 二項定理を利用して(a+b)^nの形の式を展開することができる。 分数式とその約分，乗法，除法について理解し，その計算ができる。 分数式とその通分，加法，減法について理解し，その計算ができる。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	2次方程式
	概要	虚数単位を用いて，扱える数を実数から複素数に広げる。 複素数の演算や共役な複素数について理解する。 2次方程式の解を求めることができる。また，2次方程式の判別式について理解し，解の種類を判別することができる。 2次方程式の解と係数の間に成り立つ関係を理解し，それらを用いて計算することができる。
第3回 提出期限 7月15日	単元名	高次方程式／式と証明
	概要	多項式のわり算について理解し，商と余りの関係を表すことができる。 剰余の定理を用いて，多項式を１次式で割った余りを求めることができる。 因数定理を用いて，多項式を因数分解することができる。 高次方程式について理解し，因数分解を用いて高次方程式を解くことができる。 高次方程式を利用して，身近な問題を考えることができる。 等式，不等式を証明することができる。 相加平均と相乗平均の大小関係を用いて不等式を証明することができる。
第4回 提出期限 8月15日	単元名	座標と直線の方程式
	概要	数直線上の2点間の距離を求めることができる。 線分の内分・外分の意味を理解し，数直線上の内分点・外分点の座標を求めることができる。 座標平面上で，2点間の距離や内分点，外分点の座標を求めることができる。 三角形の重心の座標を求めることができる。 直線の傾きと切片について理解し，1点と傾きや，通る2点が与えられた直線の方程式を求めることができる。

		2直線の交点の座標は，２つの直線の方程式を連立して求められることを理解する。 平行・垂直な2直線の方程式の間に成り立つ関係について理解し，それらを用いて直線の方程式を求めることができる。
第5回 提出期限 8月15日	単元名	円の方程式/軌跡と領域
	概要	円の方程式について理解し，与えられた条件から円の方程式を求めたり，円の方程式から円の中心の座標と半径を求めたりすることができる。 円と直線の共有点の座標を求めることができる。 円と直線の共有点の個数を，2次方程式の判別式を用いて求めることができる。 軌跡とは何かを理解し，与えられた条件からある点の軌跡を求めることができる。 不等式の表す領域を図示したり，領域を不等式で表したりすることができる。 連立不等式の表す領域を図示することができる。
第6回 提出期限 9月15日	単元名	三角関数
	概要	角の概念を一般角まで拡張する。 単位円を用いた三角関数の定義を理解し，一般角の三角関数の値を求めることができる。 一般角の三角関数についても三角関数の相互関係が成り立つことを理解する。 三角関数のグラフがかけ，またその特徴を理解する。 三角関数の性質を理解し，その性質を用いて三角関数の値を求めることができる。
第7回 提出期限 9月15日	単元名	加法定理
	概要	三角関数の加法定理を理解し，それらを用いて三角関数の値を求めることができる。 2倍角の公式を利用して，三角関数の値を求めることができる。 三角関数の合成を理解し，合成ができるようになる。 弧度法の意味を理解し，おうぎ形の弧の長さと面積を求めることができる。
第8回 提出期限 10月15日	単元名	指数関数
	概要	指数の範囲を正の整数から整数全体に広げ，そのときの指数法則についても理解し，指数法則を用いて計算することができる。 累乗根の意味や性質を理解し，それらを用いて式を簡単にすることができる。 指数の範囲を分数まで広げた指数について理解し，指数法則を用いて計算することができる。 指数関数の定義とそのグラフの性質を理解し，指数関数のグラフをかいたり，累乗で表された数の大小を比較したりすることができる。 身近な問題を解決することに，指数関数を活用することができる。
第9回 提出期限 10月15日	単元名	対数関数
	概要	対数の意味を理解し，対数の値を求めることができる。 対数の性質を理解し，それを用いて対数の計算をすることができる。 対数関数の定義とそのグラフの性質を理解し，対数関数のグラフをかいたり，対数で表された数の大小比較をしたりすることができる。 常用対数の意味と常用対数表の使い方を理解し，常用対数を用いて整数の桁数を求めることができる。
第10回 提出期限 11月15日	単元名	微分係数と導関数
	概要	平均変化率の定義がわかり，平均変化率を求めることができる。 極限値や微分係数の意味を理解し，微分係数を定義に基づいて求めることができる。 導関数の意味を理解し，定義に従って導関数の計算ができる。 導関数の性質を用いて，関数を微分することができる。 導関数を利用して，微分係数を求めることができる。 微分係数の図形的意味がわかり，接線の方程式を求めることができる。
第11回 提出期限 11月15日	単元名	導関数の応用
	概要	導関数を利用して，関数の増減を調べることができる。 関数の極大・極小の意味を理解し，極大値・極小値を求めたり，そのグラフをかいたりすることができる。 ある定義域における関数の最大値・最小値を，増減を調べることによって求めることができる。 関数の最大・最小を利用し，身近な問題を考えることができる。
第12回 提出期限 12月15日	単元名	積分
	概要	不定積分の意味を理解し，不定積分の性質を用いて不定積分を求めることができる。 定積分の意味を理解し，定積分の性質を用いて定積分を求めることができる。 定積分を利用して，直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めることができる。

面接指導計画

1. 単元名
【5〜6月実施】【第1回】式の計算
5つのカッコから文字を選ぶ組合せを基に、(a+b)^nの展開式の係数がnCrで表せる理由と二項定理を学ぶ。
【7〜8月実施】【第5回】円の方程式/軌跡と領域
お弁当の条件を連立不等式で表現し、領域の図示と利益直線の移動を通して最適な販売個数を考察する。

【9〜10月実施】【第9回】対数関数
値上がりの許容範囲という身近な感覚から、指数と対数の関係性や日常生活での活用例、対数の具体的な計算方法を学ぶ。
【11〜12月実施】【第10回】微分係数と導関数
天気予報やカーナビなど実社会での活用例を引き合いに出し、「細かく分けて一瞬の変化（瞬間の速さ・接線の傾き）を捉える」という微分の意義や役割を提示する。また、直線の傾きや平均変化率の復習を経て、極限を用いた導関数の定義式を学び、具体例を用いて定義に従った計算手順を実践させた上で、最後に計算を効率化する微分の基本公式へと展開する。
【1〜3月実施】【第12回】積分
積分の定義や幾何学的な意味の理解を深め、現実世界の事象や実生活における具体的な活用例に触れることで、数学的な見方やその有用性を学ぶ。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
数学Ⅱにおける新たな概念、公式、定理を正確に理解し、それらを用いた計算や問題解決の基本的な技能を習得する。
数学的な記号や用語を適切に使い、標準的な問題を解けるようになることを目指す。
【思考・判断・表現】
各分野における問題を、論理的な思考力や洞察力を用いて分析し、解決策を判断する力を養う。
解法や証明の過程を筋道立てて構成し、数学的な言葉や記号を用いて的確かつ簡潔に表現する能力を高める。多角的に考察する姿勢も育む。
【学びに向かう力、人間性等】
複雑な数学的問題に対し、粘り強く考察し、探究心を持って解決に取り組む姿勢を培う。
数学的な概念が様々な事象に応用されることに興味を持ち、自ら進んで学びを深めようと努める。

「数学Ⅲ」　３学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位	3単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）極限，微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 （2）数列や関数の値の変化に着目し，極限について考察したり，関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し，数学的に考察したりする力，いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 （3）数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

教科書	東京書籍「数学Ⅲ Standard」（数Ⅲ７０２）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年9回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	関数
	概要	・分数関数と無理関数のグラフをかく方法と、これらの関数の特徴を理解する。 ・逆関数の概念について学び、特定の関数の逆関数を求め、そのグラフをかくことができる。 ・二つの関数を組み合わせて新しい合成関数を作る方法を理解し、実際に合成関数を計算する練習を行う。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	数列の極限
	概要	・数列の収束と発散について理解し、数列の極限を求める方法を学ぶ。 ・無限等比数列の収束条件について学び、それを利用して数列の極限を調べることができる。 ・無限級数の概念を理解し、その収束や発散を判断する。また、無限級数が収束する場合にはその和を求めることができる。 ・無限等比級数の収束条件を理解し、その和を計算する。 ・図形への応用や循環小数の考察を通じて、数列の極限に関する理解を深める
第3回 提出期限 8月15日	単元名	関数の極限
	概要	・無理関数、分数関数、指数関数、対数関数、三角関数などの極限を調べる方法を学ぶ。 ・関数の連続性と中間値の定理について理解し、特定の区間で実数解が存在することを証明できる。
第4回 提出期限 8月15日	単元名	微分法
	概要	・導関数の定義に従って、基本的な関数の導関数を求める方法を学ぶ。また、導関数の基本的な性質について理解する。 ・積の導関数と商の導関数について学び、これらを用いて様々な関数の導関数を求めることができる。 ・合成関数の微分法と逆関数の微分法について理解し、それらを適用してさまざまな関数の導関数を計算する。
第5回 提出期限 9月15日	単元名	いろいろな関数の導関数
	概要	・三角関数の導関数について理解し、三角関数を含む関数の導関数を求める方法を学ぶ。 ・底が e である自然対数を導入し、対数関数の導関数について学ぶ。対数微分法を理解し、それを用いて指数関数の導関数を求める。 ・高次導関数について理解し、第 n 次の導関数を求める方法を習得する。
第6回	単元名	微分の応用

提出期限 10月15日	概要	・曲線の接線と法線の方程式を求める方法を学ぶ。また、媒介変数で表された関数の微分と、その曲線の接線の方程式を求める方法を理解する。 ・平均値の定理を理解する。 ・関数の増減や極値，曲線の凹凸を調べ、様々な関数のグラフの概形を描く。 ・微分法を用いて関数の最大値や最小値を求める。 ・微分法や平均値の定理などを用いて不等式を証明したり、方程式の実数解の個数を調べる。 ・運動する点の速度や加速度を導関数を用いて表現できることを理解する。 ・1次近似式について学び、関数の近似式を求める方法を習得する。
第7回 提出期限 11月15日	単元名	不定積分
	概要	・不定積分の基本的な性質や公式を理解し、基本的な関数の不定積分を求める。 ・置換積分法を理解し、この方法を用いて不定積分を計算する。 ・部分積分法について学び、この技法を使って不定積分を求める。 ・部分分数分解や三角関数の加法定理から導かれる公式を理解し、これらを利用して分数関数や三角関数の不定積分を計算する。
第8回 提出期限 11月15日	単元名	定積分
	概要	・いろいろな関数の定積分の値を求めることができる。 ・置換積分法や部分積分法を用いて，定積分の値を求めることができる。また，偶関数と奇関数の定積分の性質を理解し，定積分の値を求めることができる。 ・積分と微分の関係を理解する。 ・区分求積法の考え方を理解し，和の極限値を求めることができる。
第9回 提出期限 12月15日	単元名	面積・体積・長さ
	概要	・さまざまな曲線で囲まれた図形の面積の求め方を理解し、その面積を計算する。 ・立体の体積が定積分によって計算されることを学び、その体積を求める。 ・曲線の長さが定積分を用いて求められることを理解し、その長さを計算する。

面接指導計画

1. 単元名
【5〜6月実施】【第1回】関数
関数の定義から合成・分数・無理関数を学び、リレー計算を通じて定義域や計算順序による結果の違いを考察する。
【7〜8月実施】【第4回】微分法
各点での変化に注目して $y=\sin x, \cos x$ の導関数をグラフ化し、性質や用途から自然対数の底 e を学ぶ。
【9〜10月実施】【第6回】微分の応用
微分法を使い増減表を書くことでグラフを描けるようにするとともに、グラフのイメージを踏まえて問題を解く力を養う。
【11〜12月実施】【第8回】定積分
区分求積法について、円の面積を求める方法などこれまでの学習の中で面積を求めにくい図形の面積を求める際に、三角形や長方形に分割してきた背景を踏まえ、細かく分割して足し合わせる『区分求積法』の考え方を考察する。
【1〜3月実施】【第9回】面積・体積・長さ
回転体の体積や球の体積について学び、これまでに培ってきた学びの知識との統合を図る。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
場合の数、確率、図形の性質、整数の性質といった数学Aの基本的な概念を理解し、具体的な事象に応用できる知識と技能を習得する。
日常生活や社会現象を数理的に捉え、問題解決に活用する基礎的な力を身につける。
【思考・判断・表現】
実生活に即した具体例を通して、事象を数理的に考察する力を養う。
数学的な根拠に基づいて自身の考えを論理的に構成し、多様な表現方法を用いて明確に伝え、問題解決のための判断力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】
数学が日常生活や社会と密接に関わることを認識し、数学的な見方や考え方の良さを主体的に探究する。
苦手意識を持つ生徒も、数学の楽しさや有用性を実感しながら、粘り強く学習に取り組む姿勢を育む。

「数学A」　２学年　通信教育実施計画（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	数学	科目	数学Ａ	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 （2）図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。 （3）数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

教科書	東京書籍「新数学Ａ」（数Ａ７０４）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	場合の数
	概要	集合／集合の要素の個数／個数の考え方／和の法則と積の法則／順列／順列の利用／いろいろな順列／組合せ／組合せの利用 ・部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合などの集合の表し方、用語、記号を、図を用いて理解し、記号を使って表すことができる。 ・補集合、和集合について、集合の要素の個数を求めることができる。 ・具体的な事象に関する場合の数を樹形図や表に整理して調べることができる。 ・和の法則や積の法則など数え上げの原則について具体例を用いて理解し、場合の数を効率よく求めることができる。 ・樹形図を利用して順列の意味を理解し、その総数を求めることができる。 ・順列の考え方をいろいろな場面に利用して、条件のついた順列の総数を求めることができる。 ・重複順列、円順列の意味を理解し、その総数を求めることができる。 ・組合せの意味や性質を理解し、その総数を求めることができる。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	確率(1)
	概要	事象と確率／確率の計算／排反事象の確率／余事象の確率 ・試行と事象、事象の確率について学び、確率の意味を知り、基本的な確率を求めることができる。 ・場合の数をもとに、確率を求めることができる。 ・確率の加法定理を理解し、排反事象の確率を求めることができる。 ・余事象の確率を求めることができる。
第3回 提出期限 8月15日	単元名	確率(2)
	概要	独立な試行の確率／反復試行の確率／条件つき確率／期待値 ・独立な試行の意味を理解し、簡単な独立な試行の確率を求めることができる。 ・反復試行について理解し、簡単な場合の反復試行の確率を求めることができる。 ・条件つき確率の意味を理解する。また、確率の乗法定理を理解し、活用できる。 ・期待値を求めることができる。
第4回 提出期限 10月15日	単元名	図形の性質(1)
	概要	直線と角／多角形の角／三角形の合同と相似／基本の作図／作図の利用／三角形と比／三角形の重心／三角形の外心と内心／角の二等分線と線分の比 ・平行線と角の関係を理解し、これらを利用して角の大きさを求めることができる。

		・多角形の内角、外角の性質を理解し、これらを利用して角の大きさを求めることができる。 ・三角形の合同条件、相似条件を理解し、これらを利用して辺の長さや角の大きさを求めることができる。 ・垂直二等分線、垂線、角の二等分線の作図方法を理解し、その作図ができる。 ・図形の性質を利用した平行線やいろいろな大きさの角を作図する方法を理解し、目的に合った図形を作図することができる。 ・三角形と比の性質や中点連結定理を理解し、それを用いて線分の長さを求めることができる。 ・三角形の重心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 ・三角形の外心、内心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 ・三角形の角の二等分線と線分の比に関する定理を理解し、それらを用いて線分の長さを求めることができる。
第5回 提出期限 11月15日	単元名	図形の性質(2)
	概要	円の接線／円周角の定理／円に内接する四角形／接線と弦のつくる角／方べきの定理／２つの円／直線や平面の位置関係／多面体 ・円の接線の性質、接線の長さについて理解し、それらを利用して、接線の長さや三角形の辺の長さを求めることができる。 ・円周角の定理を理解し、それを利用して角の大きさを求めることができる。また、円周角の定理の逆を理解し、4点が同一円周上にあるかどうか判断することができる。 ・円に内接する四角形の性質を理解し、それを利用して角の大きさを求めることができる。また、四角形が円に内接する条件を利用して、四角形が円に内接するかどうか判断することができる。 ・接線と弦のつくる角の定理を理解し、それを利用して、角の大きさを求めることができる。 ・円と2本の直線がつくる線分の長さの関係を考察し、方べきの定理が成り立つことを理解し、長さを求めることができる。 ・2つの円の位置関係を考察できる。 ・2直線、2平面、直線と平面の位置関係を理解する。 ・多面体、正多面体を理解し、オイラーの多面体定理に触れ、空間図形に対する見方を豊かにする。
第6回 提出期限 12月15日	単元名	数学と人間の活動
	概要	数を表す／数の表し方のしくみ／2進法／位置を表す／約数と倍数／最大公約数と最小公倍数／ユークリッドの互除法／はかる／数学で遊ぶ ・古代の人々の記数法や漢数字による記数法について理解する。 ・10進法、2進法の数の表し方のしくみを調べ、法則を見つけることができる。 ・2進法と10進法の変換を行うことや2進法と10進法を対比してみることで、記数法に対する理解を深めることができる。また、2進法で表された数の計算ができる。 ・平面上の点の位置を表す座標の考え方を理解する。また、その考えを空間内の座標へ拡張し、空間内の点の位置を表すことができる。 ・約数、倍数、素数、素因数分解などの整数に関する基本的概念について理解し、約数、倍数を求めたり、素因数分解したりすることができる。 ・素因数分解を利用して最大公約数、最小公倍数を求めることができる。 ・ユークリッドの互除法を理解し、これを用いて2つの正の整数の最大公約数を求めることができる。 ・長さや面積の単位を調べることができる。 ・体積や重さの単位を調べることができる。 ・古代の人々の時計や、暦（うるう年）について理解する。 ・魔方陣のしくみや解き方を筋道立てて考えることができる。 ・これまでに学んだことを用いて図形の不思議を解明する。 ・ハノイの塔の問題を解くことで、規則性を考えることのよさを知ることができる。 ・帽子の色あてパズルを解くことで、論理的に考えることのよさを知ることができる。 ・「塵劫記」の問題を通して、数学と文化の人間との関わりについての認識を深めることができる。

面接指導計画

1．単元名
【5～6月実施】【第1回】場合の数
「ヒット＆ブロー」を通して、桁数や数字の重複など条件変化による場合の数の違いを学び、順列を理解する。
【7～8月実施】【第2回】確率⑴
モンティ・ホール問題の実験と解説を通じ、直感に反する確率の変動や条件付き確率の概念を論理的に学ぶ。
【9～10月実施】【第4回】図形の性質(1)
長さの分からないロールケーキ（線分）を等分するという活動を通して、平行線と線分の比の関係を体験させ、数学的根拠に基づいて判断することを学ぶ。
【11～12月実施】【第6回】数学と人間の活動
2進数と10進数の性質や相互変換の仕組みを知り、日常生活におけるデジタル技術等の活用例を通して、数の表現の多様性と数学的な有用性を学ぶ。
【1～3月実施】【第6回】数学と人間の活動
和算の歴史や文化、代表的な問題（俵杉算やねずみ算など）に触れることで、日常の文脈に根ざした数学的思考力や論理的な推論力を養う。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。

※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2．学習到達目標
【知識・技能】
数列の一般項や和の公式、漸化式、および統計的な推測における確率分布の概念を理解する。
数学的帰納法による証明法や数学的モデル化の過程を習得し、様々な事象を数理的に捉え、問題解決に活用できる基礎的な知識と技能を身につける。
【思考・判断・表現】
数列の規則性を探究し、公式が成り立つ根拠を論理的に考察する力を養う。
統計的な推測を通して事象を多角的に分析し、日常生活や社会の課題に対して数学的モデルを構築し、解決策を導き出す思考力と表現力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】
数学が持つ普遍的な思考方法や社会における実用性を認識し、課題解決に主体的に取り組む。
自身の考えを深め、より良い解決策を追求することで、将来に役立つ探究心と表現力を育む。

「数学Ｂ」　２学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 （2）離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 （3）数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

教科書	東京書籍「数学Ｂ Standard」（数Ｂ７０２）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	数列(1)
	概要	数列とは何か，また数列についての基本的な用語の意味を理解する。 等差数列がどのような数列であるかがわかり，一般項を求めることができる。 等差数列の和を求めることができる。 等比数列がどのような数列であるかがわかり，一般項を求めることができる。 等比数列の和を求めることができる。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	数列(2)
	概要	和の記号Σの意味と性質を理解し，ある和をΣを用いて表すことができる。 Σの性質や和の公式を用いて，いろいろな数列の和を求めることができる。 階差数列を利用して，ある数列の一般項を求めることができる。 数列の和が与えられたとき，一般項を求めることができる。 分数で表された数列の和や各項が等差数列と等比数列の積の形をした数列の和を求めることができる。 群に分けられた数列について考察することができる。
第3回 提出期限 8月15日	単元名	数列(3)
	概要	漸化式の意味がわかり，漸化式を扱うことができる。 初項と漸化式が与えられたとき，一般項を求めることができる。 数学的帰納法について理解し，等式や整数の性質などの証明に利用できる。
第4回 提出期限 10月15日	単元名	統計的な推測(1)
	概要	全数調査や標本調査について理解し，標本の抽出法や用語などを理解する。 確率変数，確率分布の意味を理解し，確率分布を求めることができる。 確率変数の平均と分散の意味を理解し，確率変数の平均（期待値）や分散，標準偏差を求めることができる。 a，bを定数とするとき，確率変数aX+bの平均や分散，標準偏差を求めることができる。 確率変数の和の平均を求めることができる。 独立な確率変数の積の平均，和の分散を求めることができる。
第5回 提出期限	単元名	統計的な推測(2)

11月15日	概要	二項分布がどのようなものかわかる。 確率変数が二項分布に従うときの確率や平均，分散及び標準偏差を求めることができる。 正規分布について理解し，確率変数が正規分布に従うときの確率を求めることができる。 標準正規分布について理解し，確率変数が標準正規分布に従うときの確率を求めることができる。 確率変数が正規分布に従うとき，標準化して，確率を求めることができる。 二項分布を正規分布で近似して確率を求めることができる。
第6回 提出期限 12月15日	単元名	統計的な推測(3)/数学と社会生活
	概要	母平均，母分散，母標準偏差や標本平均の分布，分散などを求めることができる。 標本平均の平均と分散，標本平均がある条件を満たす確率を求めることができる。 信頼度95％の信頼区間の考え方を理解し，母平均や母比率に対する信頼区間を求めることができる。 仮説検定の考えや用語について理解し，母平均の検定，母比率の検定を行うことができる。 社会生活での様々な問題を解決するために，どのように数学を利用して予測したり考察するかを理解する。

面接指導計画

1. 単元名
【5〜6月実施】【第1回】数列(1)
金融用語や等比数列の公式を復習し、積立計算の例題や演習を通して複利の効果と数学の有用性を考察する。
【7〜8月実施】【第2回】数列(2)
じゃんけんの勝率から直感と確率の違いを体験し、演習の集計結果やグラフを通して二項分布の概念を学ぶ
【9〜10月実施】【第4回】統計的な推測(1)
フェルミ推定を用いて、日本に小学生〜大学生（専門・短大含む）の人数や猫の飼育数といった数量を限られた時間や情報の中で、根拠を持って推定する考え方を学ぶ。
【11〜12月実施】【第5回】統計的な推測(2)
お菓子を教材に仮説検定を学び、情報を批判的に読み解き客観的に判断する力を育成する。統計的根拠に基づき論理的に説明し、実社会の意思決定に生かす主体的な態度を養う。
【1〜3月実施】【第6回】統計的な推測(3)/数学と社会生活
社会的事象を数学的に捉えようとする。また数学的モデルの妥当性・実用例について確認し意味づけを行う。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
数学Ⅲにおける発展的な概念、公式、定理を深く理解し習得する。
それらを用いた高度な計算や応用問題を正確に処理する技能を身につける。
多様な関数や複雑な状況に対応できる数学的な思考力と表現力を培う。
【思考・判断・表現】
数学Ⅲの各分野における抽象的かつ発展的な問題を、論理的思考力で分析し、解決策を判断する力を養う。
複雑な問題の解法や証明過程を論理的に構成し、数学的に厳密かつ明確に表現する能力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】
高度な数学的問題に対し、論理的な探究心と粘り強さを持って取り組む姿勢を培う。
数学が自然科学や工学など様々な分野に応用されることに興味を持ち、自ら進んで学習を深めようと努める。

「数学Ｃ」　３学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	数学的な見方・考え方を働かせ,数学的活動を通して,数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 （2）大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 （3）数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

教科書	東京書籍「数学Ｃ Standard」（数Ｃ７０２）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	平面上のベクトル
	概要	・平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、平行について理解する。 ・具体的な図形においてベクトルを分解してみたり，ベクトルの一意性について理解する。 ・平面上のベクトルの成分表示を理解し、成分による計算や、成分表示を利用してベクトルの大きさを求めたりする方法を学ぶ。 ・2つのベクトルのなす角や内積の概念を理解し、2つのベクトルのなす角を求めたり、ベクトルの内積の基本的な性質を用いて内積の値などを求める。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	ベクトルの応用/空間座標とベクトル
	概要	・平面上の点の位置ベクトルを理解し、ベクトルの演算や成分表示、内積の性質を用いて平面図形の性質を考察する。 ・ベクトルの演算と内積の性質、位置ベクトルを用いて平面上の直線などを表現し、与えられた条件を満たす点が描く図形について考察する。 ・空間ベクトルの定義、平行条件、ベクトルの分解と一意性を理解し、平面上のベクトルの概念を空間へ拡張する。 ・空間座標の概念を理解し、空間ベクトルを成分表示する。空間ベクトルの加減や実数倍などの演算法則を平面のベクトルから類推して統合的に考察する。 ・空間ベクトルの内積を理解し、その性質を利用して空間ベクトルのなす角や大きさを求める。 ・空間における位置ベクトルの概念を理解し、空間図形の性質を多面的に考察する。
第3回 提出期限 8月15日	単元名	2次曲線
	概要	・放物線、楕円、双曲線の定義と方程式を理解し、条件を満たす点の軌跡を用いてこれらの曲線の基本的な性質を学ぶ。 ・2次曲線を平行移動した際の曲線の方程式と、その変化について考察する。 ・2次曲線と直線の共有点は、2次方程式の実数解に帰着できることを学び、判別式を利用して共有点の個数を求めたり、2次曲線の接線の方程式を導出する。 ・放物線、楕円、双曲線を離心率の概念を用いて相互に関連付け、それらを包括的に考察する。
第4回 提出期限 10月15日	単元名	媒介変数表示と極座標
	概要	・曲線の媒介変数表示について理解し、媒介変数で表された曲線の方程式を求める方法を学んだり，曲線の方程式の媒介変数表示を学ぶ。

		・サイクロイドなどの様々な曲線の媒介変数表示についても理解する。 ・直交座標と極座標の関係を理解し、極方程式について学ぶ。また、直交座標で表された図形の方程式を極方程式に変換する方法やその逆についても理解する。
第5回 提出期限 11月15日	単元名	複素数平面
	概要	・複素数平面上の点が複素数を表すことを理解し、複素数の実数倍や和や差が複素数平面上でどのように表されるかを学ぶ。 ・複素数の極形式を理解し、a+bi の複素数を極形式で表す方法を習得する。また、複素数の積と商が複素数平面上の回転移動とどのように関連しているかを理解する。 ・ド・モアブルの定理について学び、この定理を用いてz^n=αの解を求め、その解を複素数平面上に図示する方法を習得する。 ・複素数平面上の2つの直線がなす角の大きさを求めることができる。 ・内分点や外分点、円、軌跡などを複素数を用いて表現する。
第6回 提出期限 12月15日	単元名	数学的な表現の工夫
	概要	・データの種類に応じて適切な図、表、統計グラフなどの表現方法を選択する。 ・既存の図表では読み取りにくい情報を特定し、複数の図表を組み合わせたり、新たな表現方法を検討して表現の改善点や方法を見つける。 ・日常の出来事を行列で表現する。・行列の加法・減法を計算することができる。（改行どうやってするんでしたっけ？） ・行列の積を定義し、それを用いて事象を考察し、行列の乗法の性質についての理解を深める。 ・行列の積を用いてベクトルの変化を観察し、原点を中心とする回転を表す行列について考察する。 ・具体的な事象を離散グラフで表して考察し、その意義や利点を理解する。 ・離散グラフに関して隣接行列とその演算を用いて考察し、このような表現の工夫が事象の効率的な処理や的確な伝達に役立つことを認識する。

面接指導計画

1. 単元名

【5〜6月実施】【第1回】平面上のベクトル
矢印の例からベクトルの概念や表記を学び、三平方の定理による大きさ、内積の計算、多次元への応用を考える。
【7〜8月実施】【第2回】ベクトルの応用/空間座標とベクトル
空間ベクトルの定義や活用例、3軸直交の空間座標を学び、成分計算や三平方の定理による大きさを求める。
【9〜10月実施】【第4回】媒介変数表示と極座標
媒介変数表示において、具体的な点のプロットや媒介変数の消去を通して関数や曲線の表現を理解し、身近な科学技術との関連や協働による問題解決を通して概念理解を深める。
【11〜12月実施】【第5回】複素数平面
複素数平面における点の表現や複素数の乗法がもつ回転・拡大の仕組みを知り、代数的な計算と幾何的な現象の対比を通して、数の概念の拡張と数学的な有用性を学ぶ。
【1〜3月実施】【第6回】数学的な表現の工夫
多様なグラフの特徴や身近な生活との関連を学び、問題の状況に応じて適切なグラフを選択・活用することを通して、情報を的確に表現・考察する力を育む。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標

【知識・技能】
定義、方程式、図形的意味、およびそれらの性質を理解し、基本的な問題解決に活用できる。
高等数学の概念を習得し、進路選択に必要な基礎的な数学的知識と技能を身につける。
【思考・判断・表現】
複素数平面での図形的考察や2次曲線の定義に基づく思考などを通して、抽象的な概念を多角的に捉える力を養う。
自身の数学的な考えを論理的に構成し、他者に明確に表現する能力、および問題解決に活用する判断力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】
複雑な数学的課題に対し、粘り強く探究する姿勢を持ち、自ら解決策を見出そうと努力する。
自身の学習を深化させ、卒業後の進路実現に向け主体的に学習に取り組む。

「科学と人間生活」　１学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	4コマ （前期2コマ・ 後期2コマ）

学習目標	（1） 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。 （2） 観察，実験などを行い，人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 （3） 自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。

教科書	東京書籍「科学と人間生活」（科人７０１）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	科学技術の発展
	概要	科学技術の歴史と発展／エネルギーや情報技術の発展／持続可能な未来のために ・科学技術の発展について、歴史上の事例や具体的な最新科学技術を通して知る。 ・科学技術の発展に伴う課題について知る。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	生命の科学
	概要	さまざまな微生物／私たちのくらしへの微生物の利用 ・微生物の基本的な分類、生態系や物質循環におけるはたらきについて理解する。 ・微生物の発見の歴史、発酵や医療への応用について知る。
第3回 提出期限 8月15日	単元名	物質の科学
	概要	リサイクルとは何か／金属の性質とその再利用／プラスチックの性質とその再利用 ・3Rについて知る。 ・金属の性質や製法、さびのしくみ、再生利用について知る。 ・プラスチックの種類や構造、機能性樹脂、再生利用などについて知る。
第4回 提出期限 10月15日	単元名	光や熱の科学
	概要	光の進み方とその基本的な性質／目に見える光と色の見え方／目に見えない光とその利用 ・反射、屈折、偏光、回折、干渉について知る。 ・スペクトルや色が見えるしくみについて知る。 ・電磁波の種類や応用について知る。
第5回 提出期限 11月15日	単元名	宇宙や地球の科学
	概要	太陽と月がもたらすリズム／太陽が動かす大気と水 ・太陽の動きや暦、潮位の変動と周期性について知る。 ・太陽活動や太陽の放射エネルギー、大気の循環や海流と気候との関係について理解する。
第6回 提出期限 12月15日	単元名	課題研究
	概要	課題研究 ・研究の進め方、実験結果のまとめ方、報告方法について知る。

面接指導計画

1. 単元名 【5～6月実施】【第1回】科学技術の発展

身近な科学技術の進化や環境課題、モールス信号の体験に加え、発酵や医薬品に関わる微生物の役割を学ぶ。
【7～8月実施】【第3回】物質の科学
プラスチックと金属の性質や分類、製錬、さび対策を学び、演示実験や演習を通して資源の再利用を考察する。
【9～10月実施】【第4回】光や熱の科学
光を中心とした電磁波の性質とその利用について、観察や実験を通して理解を深める。実験では「予想・結果・考察」の過程を重視し、光の性質を科学的に捉え、根拠をもって考察する力を育成する。また、グループ活動を通して互いの考えを共有し、多様な視点から課題を考える態度を養う。
【11～12月実施】【第5回】宇宙や地球の科学
太陽の放射エネルギーや核融合の仕組みを学び、アルミを用いた電波遮断実験や「宇宙天気予報」サイトでの太陽フレア観察を通し、太陽が人間生活に与える影響や対策を考える
【1～3月実施】【第6回】課題研究
身近な災害への対策方法の一つであるハザードマップについて、実際に作成する活動を通して対策の意図を理解する。
グループでの活動を通じて、一つの目的に向けて協働する姿勢を養う。

※本校または全国の各面接指導施設で前期2コマ、後期2コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で2コマ、全国の各面接指導施設で2コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
科学分野で培われてきたさまざまな知識や技術が身近な生活にどのように関与しているのかを理解する。
また、その具体例について身近な事例や自身が関心のある分野の事例を取り上げながら説明することができる。
【思考・判断・表現】
自身が生活の中で触れるさまざまな事物について、その背景にある科学的な要素を考え、読み解く力を身につける。
また、日常の現象の多くは複数の科学的事象の繋がりで形成されていることを押さえ、そこに着目しながら現象の科学的側面を探ることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
日常の生活の中にある科学的な情報や技術に対して興味や関心を抱けるようになる。
また、その興味や関心を抱いた事項について、科学的に適切なツール、文献等を用いて学術的に正しく理解を深められるようになる。

「物理基礎」　１学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	理科	科目	物理基礎	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	4コマ （前期2コマ・ 後期2コマ）

学習目標	（1） 日常生活や社会との関連を図りながら，物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 （2） 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 （3） 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

教科書	東京書籍「新編物理基礎」（物基７０２）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	直線運動の世界
	概要	運動の表し方／変位と速度／等速直線運動／合成速度と相対速度／速度が変わる運動／自由落下運動／鉛直投射／水平投射 ・物体の表し方について、直線運動を中心に運動する物体の変位や速度、加速度の表し方について知る。 ・自由落下する物体の運動や鉛直投射、水平投射された物体の運動の表し方について理解する。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	力と運動の法則
	概要	力とつり合い／力の合成と分解／垂直抗力と弾性力／慣性の法則／「運動の変化」と「力」／作用・反作用の法則／動摩擦力とその性質／静止摩擦力とその性質／空気の抵抗力／水圧と浮力 ・力の3要素と、物体に接してはたらく力や離れてはたらく力について知る。 ・力のつり合い、ニュートンの運動の3法則について理解する。
第3回 提出期限 8月15日	単元名	力学的エネルギー
	概要	仕事／仕事率／運動エネルギー／位置エネルギー／力学的エネルギーの保存／いろいろな運動でみる力学的エネルギー ・仕事、運動エネルギー、重力による位置エネルギー、弾性力による位置エネルギーの表し方を知る。 ・力学的エネルギーが保存される場合とされない場合などについて理解する。
第4回 提出期限 10月15日	単元名	熱
	概要	温度と熱／熱と物質／熱の移動と保存／熱機関と不可逆変化 ・原子や分子の熱運動と温度との関係、絶対温度、物質の三態について学習する。 ・熱容量や比熱容量、熱量の保存、内部エネルギー、熱現象の不可逆性や熱効率について理解する。
第5回 提出期限 11月15日	単元名	波
	概要	いろいろな波／波の表し方／横波と縦波／波の重ね合わせ／定在波／波の反射／音波／弦の固有振動／気柱の固有振動 ・波を表す基本的な量や性質、波の重ね合わせ、定在波、反射について学習する。 ・音波について、うなりや弦の共振、気柱の共鳴について理解する。
第6回 提出期限 12月15日	単元名	さまざまな物理現象とエネルギー
	概要	動いていない電気、動いている電気／電流と電気抵抗／直列接続と並列接続／電力と電力量／電流がつくる磁場／発電機のしくみ／直流と交流／電磁波／エネルギーの変換と保存／原子核のエネルギー／放射線の利用と安全性／エネルギーの利用と課題 ・オームの法則、物質の抵抗率の違い、交流の発生、送電、変圧について知る。 ・電磁波の種類や性質について理解する。 ・エネルギー保存の法則、エネルギー資源について理解する。

		・原子力について、核分裂や核融合、放射線の特徴や利用、その課題について知る。

面接指導計画

1. 単元名
【5～6月実施】【第1回】直線運動の世界
速度の定義や運動のグラフ表現、自由落下の思考実験を学び、球の落下実験から重力加速度の算出と考察を行う。
【7～8月実施】【第2回】力と運動の法則
抗力や弾性力の比例関係を学び、慣性の法則の解説やテーブルクロス引きの実験を通して力のはたらきを学ぶ。
【9～10月実施】【第4回】熱
温度や熱、比熱・熱容量の概念を学び、水入り紙コップの加熱デモ実験や身近な例による熱量計算を通じ、熱の移動や熱量を理解する。
【11～12月実施】【第5回】波
日常に存在する物理現象を例に、波の基本を学ぶ。 特に音に注目し、どのパラメータがどのように関係するのかを明らかにすることにより、波に対する理解を深める。
【1～3月実施】【第6回】さまざまな物理現象とエネルギー
電気についての物理学的な法則を学び、日常的に目の当たりにしている現象と密接な関わりを持っているということに気づかせる。特に、静電気の引力と斥力について、ティッシュペーパーとストローを使った実験を行い、物質ごとの帯電の違いを理解する。

※本校または全国の各面接指導施設で前期2コマ、後期2コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で2コマ、全国の各面接指導施設で2コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
力や運動、電気などの基本的な物理法則や考え方を、身近な現象を通して理解し、簡単な計算やグラフを用いた表現ができるようにする。また、観察・実験を通して得られた情報を分析し、問題解決に活用する能力を養う。
【思考・判断・表現】
観察・実験などを通して、物理現象の因果関係をとらえ、得られた情報をもとに論理的に考察しする力を養う。実験結果や考察内容を、図やグラフ、文章などを用いて効果的に表現する力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】
日常生活やニュースにある現象に関心をもち、物理現象に対する探究心や知的好奇心を深め、物理的な視点から疑問を持って学ぼうとする意欲や学びを深める態度を育てる。

「物理」　２学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	理科	科目	物理	単位	4単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	8コマ （前期4コマ・ 後期4コマ）

学習目標	（1） 物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。 （2） 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 （3） 物理的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

教科書	東京書籍「物理」（物理７０１）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年12回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	さまざまな運動(1)
	概要	・平面内の運動を表す変位，速度，加速度の表し方や合成速度と相対速度を学習します。 ・水平投射と斜方投射における変位，速度，加速度や重力のはたらきについて学習します。 ・空気の抵抗力を受ける物体の落下運動について学習します。 ・平面内で剛体にはたらく力と力のモーメントのつり合い，物体の重心について学習します。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	さまざまな運動(2)
	概要	・力積と運動量の関係，物体の衝突における運動量の保存について学習します。 ・衝突と力学的エネルギーの変化について学習します。
第3回 提出期限 7月15日	単元名	さまざまな運動(3)
	概要	・等速円運動する物体のようすの表し方やその物体にはたらく力について学習します。 ・加速度運動時における慣性力について学習します。 ・単振動する物体の変位、速度、加速度の表し方やその物体にはたらく力について学習します。 ・惑星の運動に関する法則や，万有引力の法則および万有引力による物体の運動について学習します。
第4回 提出期限 8月15日	単元名	さまざまな運動(4)
	概要	・ボイルの法則やシャルルの法則，気体の状態方程式について学習します。 ・気体分子の運動と，圧力や温度，内部エネルギーとの関係を学習します。 ・気体の状態変化におけるエネルギーの変化を学習します。 ・熱機関の熱効率や熱力学第１法則，熱力学第２法則について学習します。
第5回 提出期限 8月15日	単元名	波(1)
	概要	・波を表す式について学習します。 ・波の反射，屈折，回折，干渉やホイヘンスの原理を学習します。 ・音の屈折，干渉と回折について学習します。 ・音のドップラー効果と反射について学習します。
第6回 提出期限 9月15日	単元名	波(2)
	概要	・光の伝わり方について，光の速さ，波長，反射，屈折，分散，偏光，錯乱を学習します。 ・ヤングの実験，回折格子などを用いて，光の回折と干渉について学習します。 ・レンズや鏡を通る光について学習します。
第7回 提出期限 9月15日	単元名	電気と磁気(1)
	概要	・静電気力や電場（電界）の表し方，電気量の保存，電場の性質，電気力線を学習します。 ・静電気力による位置エネルギーと電位について学習します。 ・電場のなかの物体について考察します。

第8回 提出期限 10月15日	単元名	電気と磁気(2)
	概要	・平行板コンデンサーの充電と放電，電気容量，静電エネルギー，合成容量について学習します。 ・抵抗率の温度変化，キルヒホッフの法則，電池の起電力と内部抵抗，ホイートストンブリッジなどを学習します。 ・コンデンサーを含む回路について学習します。 ・半導体について学習します。
第9回 提出期限 10月15日	単元名	電気と磁気(3)
	概要	・磁場（磁界）の向きや強さの表し方について学習します。 ・直線状の電流がつくる磁場や，曲線上の電流がつくる磁場を学習します。 ・電流が磁場から受ける力やローレンツ力について学習します。
第10回 提出期限 11月15日	単元名	電気と磁気(4)
	概要	・誘導起電力の向きや大きさについてコイルの巻数および磁束の時間変化と関連付けて学習します。 ・電磁誘導について，自己誘導や相互誘導，交流発電機の仕組みを学習します。 ・交流回路について，コイルやコンデンサーのリアクタンスや直列接続のインピーダンスについて学習します。 ・電磁波について，その性質と利用について学習します。
第11回 提出期限 11月15日	単元名	原子(1)
	概要	・電子に関する歴史的な実験を扱い，電子の比電荷，電気素量について学習します。 ・光子とは何かを学び，光電効果について学習します。 ・X線の特徴について学習します。 ・物質波を扱い，電子や光の粒子性や波動性について学習します。
第12回 提出期限 12月15日	単元名	原子(2)
	概要	・原子の構造およびスペクトルとエネルギー準位について学習します。 ・原子核の構成や区別の仕方について学習します。 ・放射性原子核の特徴を学び，崩壊，半減期について学習します。 ・核反応について学び，エネルギーと質量の等価性について学習します。 ・素粒子の種類や性質，反応について学習します。

面接指導計画

1. 単元名
【5〜6月実施】【第1回】さまざまな運動
速さ・速度の違いや各種の落体・投射運動、力積と運動量、衝突時の運動量保存や反発係数を、演習を交え学ぶ。
【7〜8月実施】【第5回】波
凹凸レンズや平面鏡・球面鏡を通る光の進み方を学び、実像・虚像の公式や作図、演習を通じて像の仕組みを紐解く。
【9〜10月実施】【第7回】電気と磁気
磁場や電流がつくる磁場、電磁力、電磁誘導といった電磁気の法則を、手作りモーターの実験や身近な技術の考察、計算演習を交えて学ぶ。
【11〜12月実施】【第11回】原子
電子についての実験から電子の持つ性質を学び、これまでの物理学者が研究し、見出してきた法則を学びとる。素粒子について学び、現在まだ解き明かされていない部分の存在について知ることを目指す。
【1〜3月実施】【第7回】電気と磁気
エネルギーが電場として蓄えられていることを知り、電荷・電位差・静電容量の関係を理解する。また、コンデンサー（静電容量）を直感的に理解させるために、ライデン瓶を作成し、蓄電できることを確かめる。

※本校または全国の各面接指導施設で前期4コマ、後期4コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で4コマ、全国の各面接指導施設で4コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
力学、波、熱、電気、原子などの物理的な概念や法則を体系的に理解し、物理法則や原理を応用する知識と技能を習得する。また、計算や実験を通して多様な現象に応用できる力を養う。
【思考・判断・表現】
現象を定量的にとらえ、数理的に処理することで、本質を見抜く思考力・判断力を養う。また、数式やグラフを用いて論理的に考察し、根拠を明示して説明や提案を行う力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
物理の学びが社会や技術とどう関わるかに関心をもち、自ら問いを立て、学びを深めようとする姿勢を育てる。科学的な探究活動を通じて、粘り強く考察し、探求し続ける態度を涵養する。

「化学基礎」　１学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	理科	科目	化学基礎	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	4コマ （前期2コマ・ 後期2コマ）

学習目標	（1） 日常生活や社会との関連を図りながら，物質とその変化について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 （2） 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 （3） 物質とその変化に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

教科書	東京書籍「新編化学基礎」（化基７０２）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	化学と人間生活
	概要	物質の成分／物質の構成元素／物質の三態 ・日常生活や社会を支える物質の利用を通して、化学に対する興味関心を高める。 ・日常生活や社会において物質が適切に使用されてることを通して、物質とその変化について理解を深める。 ・物質の分離・精製や元素の確認について学び、単体、化合物および混合物について理解する。 ・粒子の熱運動と温度、物質の三態との関係について理解する。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	物質の構成(1)
	概要	原子の構造／電子配置と周期表／イオンとイオン結合 ・原子の構造と陽子、中性子、電子の性質について知る。 ・元素の周期律と原子の電子配置、周期表の族や周期との関係について理解する。 ・イオンの生成を電子配置と関連づけて理解する。 ・イオン結合とイオン結晶の性質・用途を理解する。
第3回 提出期限 8月15日	単元名	物質の構成(2)
	概要	分子と共有結合／金属と金属結合／化学結合と物質の分類 ・共有結合を電子配置と関連づけて理解する。 ・分子からなる物質の性質・用途を理解する。 ・金属結合と金属の性質・用途を理解する。
第4回 提出期限 10月15日	単元名	物質の変化(1)
	概要	原子量・分子量・式量／物質量／溶液の濃度／化学反応の表し方／化学反応式の表す量的関係 ・物質量と粒子数、質量、気体の体積、溶液の濃度との関係について理解する。 ・化学反応式は、化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。
第5回 提出期限 11月15日	単元名	物質の変化(2)
	概要	酸と塩基／水素イオン濃度とpH／中和反応と塩の生成／中和滴定 ・酸と塩基の性質や定義、その強弱と電離との関係を知る。 ・酸、塩基の価数と、中和反応における物質の量的関係について理解する。
第6回 提出期限 12月15日	単元名	物質の変化(3)
	概要	酸化と還元／酸化剤と還元剤／金属の酸化還元反応／酸化還元反応の応用 ・酸化と還元が、電子の授受や酸化数の増減によって定義付けられることを理解する。 ・酸化と還元が常に同時に起こることを知る。 ・酸化還元反応と日常生活とのかかわりについて知る。

面接指導計画

1. 単元名
【5〜6月実施】【第1回】化学と人間生活
純物質・混合物の分類やクロマトグラフィーによる分離を学び、原子・元素、単体・化合物、三態の変化を理解する。
【7〜8月実施】【第3回】物質の構成
イオン結合や電離の仕組みを導電性実験で学び、不対電子などの共有結合の概念を分子模型の製作で理解する。
【9〜10月実施】【第4回】物質の変化
原子量・分子量の計算や空気の平均分子量に基づく気体の捕集方法の考察後、物質量の概念を学び、単分子膜法の実験データからアボガドロ定数を論理的に導き出す。
【11〜12月実施】【第4回】物質の変化
安全な日用品（食酢や重曹など）とプラスチック容器を用いた実験を通じ、酸・塩基の性質から中和反応の仕組みまでを体験的・視覚的に学ぶ。
【1〜3月実施】【第4回】物質の変化
酸化数の変化から酸化・還元や各物質の働きを判断し、金属のイオン化傾向と結びつけて規則性を理解する。さらに金属を用いた実験を行い、金属の反応性の違いを体感する。

※本校または全国の各面接指導施設で前期2コマ、後期2コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で2コマ、全国の各面接指導施設で2コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
物質の構成や変化のしくみを学び、化学式や反応式の基本的な扱いを理解して、簡単な実験や観察を安全に行う力を身につける。また、観察・実験を通じて得られた情報を分析し、現象を科学的に説明する技能を習得する。
【思考・判断・表現】
身近な現象をもとに、化学的な視点から因果関係をとらえ、観察結果を整理し、論理的に考察しする力を養う。実験結果や考察内容を、化学式やグラフ、文章などを適切に用いて表現し、他者に明確に伝える力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】
生活の中にある化学に関心をもち、自ら調べたり体験したりすることで学びを深めようとする意欲を高める。科学的な思考に基づき、問題解決や探究活動に粘り強く挑戦する態度を育成する。

「化学」　２学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	理科	科目	化学	単位	4単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	8コマ （前期4コマ・ 後期4コマ）

学習目標	（1） 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。 （2） 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 （3） 化学的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。

教科書	東京書籍「化学Vol.1理論編」（化学７０１） 東京書籍「化学Vol.2物質編」（化学７０２）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年12回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	物質の状態(1)
	概要	・状態変化に伴うエネルギーの出入りについて学習します。 ・物質の沸点，融点を分子間力や化学結合と関連付けて学習します。 ・圧力の単位と大気圧について学習します。 ・気体の体積と圧力や温度との関係を学習します。 ・理想気体と実在気体の違いについて学習します。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	物質の状態(2)
	概要	・溶解のしくみを学習します。 ・溶解度を溶解平衡と関連付けて学習します。 ・質量パーセント濃度，モル濃度，質量モル濃度の計算方法について，単位を確認しながら学習します。 ・ファントホッフの法則を確認し，浸透圧からの分子量の求め方について学習します。 ・コロイドの定義と分類について学習します。 ・結晶格子の定義および結晶の構造を学習します。
第3回 提出期限 7月15日	単元名	化学反応とエネルギー
	概要	・化学反応における熱および光の発生や吸収は，反応の前後における物質の持つ化学エネルギーの差から生じることを学習します。 ・ヘスの法則（総熱量保存の法則）について学習します。 ・電池の仕組みを酸化還元反応と関連付けて学習します。 ・電気分解の基本的な用語を確認し，水溶液の電気分解で起こる酸化還元反応について学習します。
第4回 提出期限 8月15日	単元名	化学反応の速さと平衡(1)
	概要	・反応速度の表し方および反応速度に影響を与える要因を学習します。 ・可逆反応，化学平衡について学習します。 ・ルシャトリエの原理について学習します。
第5回 提出期限 8月15日	単元名	化学反応の速さと平衡(2)
	概要	・弱酸や弱塩基の電離平衡について学習します。 ・水のイオン積の関係式を用いたｐHの求め方について学習します。 ・緩衝液の反応について学習し，緩衝作用と滴定曲線を理解します。 ・溶解度積とは何かを学び，溶解平衡と金属イオンの分離について学習します。
第6回 提出期限 9月15日	単元名	無機物質(1)
	概要	・化学基礎での学習を元に，周期表の分類について学習します。 ・水素の単体の製法・性質と用途を学習します。 ・貴ガスの性質を学習します。

		・酸素の製法について確認し，化合物について学習します。 ・ハロゲン，硫黄，窒素，リン，炭素，ケイ素の単体とその化合物の性質について学習します。
第7回 提出期限 9月15日	単元名	無機物質(2)
	概要	・典型金属元素の性質を周期表に基づいて整理します。またその化合物について性質や用途について学習します。 ・ナトリウムの化合物の性質と製法を学習します。 ・遷移元素の特徴と錯イオンについて学習します。 ・金属イオンを検出できる反応および系統分離について学習します。
第8回 提出期限 10月15日	単元名	有機化合物(1)
	概要	・有機化合物の特徴や構造について学習します。 ・同じ化学式でも構造が異なる物質が複数存在することを学習します。 ・有機化合物の構造式決定の手順について学習します。 ・元素分析の方法を確認し，組成式の決定方法について学習します。 ・有機化合物である炭化水素について学習します。
第9回 提出期限 10月15日	単元名	有機化合物(2)
	概要	・有機化合物について，官能基をもつ化合物のことを学習します。 ・アルコールの構造と分類，また，その性質および反応について学習します。 ・カルボニル化合物の分類を学習します。 ・銀鏡反応とフェーリング液の還元反応，ヨードホルム反応について学習します。 ・エステルの構造と性質について学習します。
第10回 提出期限 11月15日	単元名	有機化合物(3)
	概要	・芳香族化合物の構造，性質および反応について学習します。 ・フェノール類と芳香族カルボン酸の性質について学習します。 ・芳香族アミンやアゾ化合物の構造や性質について学習します。 ・芳香族化合物の混合物から各化合物を分離する方法を学習します。
第11回 提出期限 11月15日	単元名	高分子化合物(1)
	概要	・高分子化合物とは何かを学習します。 ・糖類の分類について学習します。 ・デンプン，セルロース，グリコーゲンについて，それぞれの特徴を学び，その違いを学習します。 ・アミノ酸の種類や結合について学習します。 ・タンパク質の成分と形状による分類について学習します。
第12回 提出期限 12月15日	単元名	高分子化合物(2)・化学が果たす役割
	概要	・合成繊維の種類とそれぞれの構造や性質について学習します。 ・合成樹脂の種類とそれぞれの構造や性質について学習します。 ・天然ゴム（生ゴム）の特徴と構造について学習し，合成ゴムの構造と用途について学習します。 ・日常生活の中の化学について考え，様々な物質と人間生活の関連について学習します。 ・物質を通して未来を考えます。

面接指導計画

1. 単元名
【5〜6月実施】【第1回】物質の状態
物質の三態や各種気体の法則、状態図、結晶格子の構造を学び、ダイヤモンドの融解条件を多角的に考察する。
【7〜8月実施】【第4回】化学反応の速さと平衡
各種化学電池の構造と一次・二次電池の違い、電気分解の原理や法則、電解精錬やめっきの工業利用を学ぶ。
【9〜10月実施】【第6回】無機物質
周期表に基づく元素の分類（典型・遷移、金属・非金属等）をはじめ、水素・貴ガス・酸素・ハロゲン・金属元素などの性質や反応を、分子模型作成やグループワークを通じて学ぶ。
【11〜12月実施】【第10回】有機化合物
有機化合物の分類,構造式の決定の手順,エステルとセッケンの性質や芳香族化合物の性質について分子模型を組み立てる実験を通して学び、身近な有機化合物への理解を深める。
【1〜3月実施】【第11回】高分子化合物
高分子化合物であるタンパク質の構造や性質を学び、果物に含まれる酵素を用いたゼリーの分解実験を通して、酵素の働きや温度による失活を理解する。

※本校または全国の各面接指導施設で前期4コマ、後期4コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で4コマ、全国の各面接指導施設で4コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】

無機・有機・理論分野といった幅広い分野にわたる概念、原理、法則をを体系的に学び、化学反応や構造に関する知識を応用しながら、複雑な内容も理解できる力を身につける。
【思考・判断・表現】
複雑な化学現象や問題を多角的に分析し、根拠に基づいた論理的な思考と判断力を培う。観察や演習から得た情報をもとに、化学的な考え方で身近な現象を説明できる力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
化学に対する深い探究心と知的好奇心を持ち、化学の学びが生活に関わっていることを意識し、自分なりに積極的に関心を深めようとする姿勢を育てる。

「生物基礎」　２学年　通信教育実施計画（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	理科	科目	生物基礎	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	4コマ （前期2コマ・ 後期2コマ）

学習目標	（1） 日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 （2） 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 （3） 生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

教科書	東京書籍「新編生物基礎」（生基７０２）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	生物の特徴
	概要	生物の多様性／生物の共通性／細胞の特徴／生体とATP／酵素のはたらき／呼吸と光合成 ・「生物の多様性と共通性」と「生物の特徴」について理解する。 ・真核生物、原核生物の細胞の基本的な構造が同じであることを知る。 ・生命活動に必要なエネルギーと代謝について学習する。 ・すべての生物が呼吸や光合成でATPを獲得していることを理解する。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	遺伝子とそのはたらき
	概要	生物と遺伝子／DNAの構造／DNAの複製と分配／タンパク質／タンパク質と遺伝情報／細胞の分化と遺伝子 ・遺伝情報を担う物質としてのDNAの構造、ゲノムについて理解する。 ・DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解する。
第3回 提出期限 8月15日	単元名	生物の体内環境の維持(1)
	概要	体内環境／神経系による情報伝達／内分泌系による情報伝達／血糖濃度の調節 ・神経系と内分泌系によって、ヒトの恒常性が支えられていることを理解する。
第4回 提出期限 10月15日	単元名	生物の体内環境の維持(2)
	概要	免疫のしくみ／免疫の応用／免疫とさまざまな疾患 ・免疫とそれにかかわる細胞のはたらきについて理解する。
第5回 提出期限 11月15日	単元名	生物の多様性と生態系(1)
	概要	身のまわりの植生／植生の遷移／遷移とバイオーム ・陸上にはさまざまな植生がみられることを知る。 ・植生は長期的に移り変わっていくことを理解する。 ・現存するバイオームは、遷移を経て成立することを理解する。
第6回 提出期限 12月15日	単元名	生物の多様性と生態系(2)
	概要	生態系における生物の多様性／生態系における生物間の関係／生態系と人為的攪乱／生態系の保全 ・生態系における種多様性について理解する。 ・生態系のバランス、生態系の保全の重要性について知る。

面接指導計画

1．単元名 【5～6月実施】【第1回】　生物の特徴

系統樹による生物の共通祖先やウイルスの分類を学び、細胞やDNAの構造、抽出実験を通して生命の共通性を知る。
【7～8月実施】【第2回】　遺伝子とそのはたらき
ミックス犬や自己の形質から遺伝と染色体を学び、塩基配列の解説や模型製作からDNAの構造を理解する。
【9～10月実施】【第3回】　生物の体内環境の維持
運動前後の心拍数変化の実験から自律神経の協調作用を考察し、さらに内分泌系による血糖濃度調節の仕組みを学ぶことで、体内環境を維持する恒常性の重要性を理解する。
【11～12月実施】【第5回】　生物の多様性と生態系
生態系と私たちの関わりや、生態系から私たちが受けている恩恵を学んだ上で、生態系や環境を保全する意義について理解する。また、保全のために行われている具体的な取り組みやSDGsについて学ぶことで、人間社会や個人としてどのような行動が大切であるかを考える。
【1～3月実施】【第4回】　生物の体内環境の維持
生徒が実験や資料の分析を通して、生物の体内環境を維持する仕組みについて科学的に考察する。学習した内容を日常生活や健康と関連付けながら理解を深め、探究的に学ぶ姿勢を育成する。

※本校または全国の各面接指導施設で前期2コマ、後期2コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で2コマ、全国の各面接指導施設で2コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2．学習到達目標
【知識・技能】
生命現象や生物の多様性に関心をもち、細胞、遺伝、生殖、生態系、恒常性など基本的な生命の仕組みを理解し、用語や構造、はたらきを正しく覚え、生命現象を科学的に説明する技能を習得する。
【思考・判断・表現】
生命現象や問題を論理的に分析し、根拠に基づいて判断する力を養う。学習したことをもとに、生物のはたらきや自然のつながりを自分の言葉他者に明確に伝える力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】
生き物や自然に関心をもち、日常生活や社会との関連を意識しながら、生命についての学びを深めようとする姿勢を身につけ、自主的・積極的に学習に取り組む。

「生物」　２学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	理科	科目	生物	単位	4単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	8コマ （前期4コマ・ 後期4コマ）

学習目標	（1） 生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 （2） 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 （3） 生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

教科書	東京書籍「生物」（生物７０１）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年12回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	生命の起源と細胞の進化
	概要	・進化は生物に何をもたらすかを学習します。 ・原始地球において，生物の体をつくる有機物はどのように誕生したかを学びます。 ・地球の大気中の酸素濃度の上昇は，どのような生物のはたらきによるものかを学びます。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	遺伝子の変化と進化の仕組み
	概要	・突然変異と形質の関係に基づいて，遺伝子の変化が進化と関わることを学習します。 ・遺伝的変異は，どのようにして生じるのかを学びます。 ・有性生殖にはどのような特徴があるかを学びます。 ・進化が生じる条件について学習します。 ・生存や繁殖における有利性にかかわる対立遺伝子の割合は，世代を経てどのように変化するかを学びます。 ・新たな種はどのように生じるかを学びます。
第3回 提出期限 7月15日	単元名	生物の系統と進化
	概要	・塩基配列やアミノ酸配列と生物種の系統関係を扱い，人類の系統と進化についても学習します。 ・生物の進化の道筋である系統は，何を調べればわかるかを学びます。 ・生物の世界は，どのように分類されているかを学習します。 ・ヒトとそのほかの霊長類との違いを学びます。 ・人類の，現生のヒトに至るまでの変遷について学習します。
第4回 提出期限 8月15日	単元名	細胞と物質
	概要	・細胞がどのような成分で構成されているかを学びます。 ・生体膜の特徴について学習します。 ・真核細胞に含まれる構造体のはたらきについて学習します。 ・タンパク質の構造について学習します。 ・酵素の特徴について学習します。 ・生体膜での物質の輸送やホルモンによる情報伝達に，タンパク質がどのようにかかわっているかを学びます。
第5回 提出期限 8月15日	単元名	代謝とエネルギー
	概要	・代謝の反応がエネルギーをどのように蓄えたり，取り出したりするかを学習します。 ・呼吸において，どのように有機物のエネルギーを用いて，ATPがつくられるのかを学習します。 ・発酵において，どのように有機物のエネルギーを用いて，ATPがつくられるのかを学習します。 ・光合成において，どのように光エネルギーを用いて，有機物がつくられるのかを学習します。
第6回	単元名	遺伝情報とその発現

提出期限 9月15日	概要	・DNAが複製されるしくみや遺伝子発現について，セントラルドグマの流れに沿って学習します。 ・DNAの構造の特徴について学習します。 ・DNAの2本鎖がどのように複製されるのかを学びます。 ・遺伝情報に基づくタンパク質の合成の過程について学びます。 ・DNAの遺伝情報がどのようにRNAへ転写されるのかを学習します。 ・mRNAの情報がどのようにタンパク質に翻訳されるのかを学習します。 ・DNAの塩基配列が変化すると，アミノ酸配列にどのような影響があるかを学びます。
第7回 提出期限 9月15日	単元名	発生と遺伝子発現
	概要	・遺伝子の発現が調節されるしくみについて，関係する酵素のはたらきについて学習します。 ・原核生物において，遺伝子が発現するか否かが何によって決まっているかを学びます。 ・真核生物において，遺伝子発現がどのようなしくみで調節されるかを学びます。 ・動物の発生が，どのように始まり，どのように進行するかを学習します。 ・発生の早い時期の胚の各部分が成体のどの部分になるかはいつごろから、どのように決まっていくのかを学びます。 ・細胞と遺伝子発現の調節と，発生でみられる現象との関係について学習します。 ・動物の体の形を決める遺伝情報がどのようなものかを学び，また体の形がどのように決まるのかを学習します。
第8回 提出期限 10月15日	単元名	遺伝子を扱う技術
	概要	・PCR法を用いた遺伝子解析の技術や，遺伝子組換え技術について学習します。 ・遺伝子を増幅する技術について学習します。 ・遺伝子の塩基配列を解読する方法について学びます。 ・生物に遺伝子を導入する技術について学習します。 ・遺伝子や細胞を扱う技術にどのような課題があるかを考えます。
第9回 提出期限 10月15日	単元名	動物の反応と行動
	概要	・動物における刺激の受容から反応までの流れや，それぞれのメカニズムについて，神経細胞の特徴に触れながら学習します。 ・動物が受容した刺激の情報がどのような経路で効果器に伝わるのかを学びます。 ・ニューロンは受け取った刺激をどのように電気的な信号に変換しているかを学びます。 ・ニューロンの軸索における興奮の伝わり方，ニューロン間での情報の伝達のしくみについて学習します。 ・受容器の刺激に対する反応について学習します。 ・中枢神経系における情報の処理について学習します。 ・筋収縮のしくみについて学習します。 ・動物の行動について，アメフラシやカイコガの具体的な行動を題材に学習します。
第10回 提出期限 11月15日	単元名	植物の環境応答
	概要	・植物の成長や反応と植物ホルモンの関係について，植物を取り巻く環境や成長段階と関連付けて学習します。 ・被子植物がどのように形づくられていくかを学びます。 ・種子の発芽が環境要因によってどのように調節されているかを学びます。 ・茎や根の成長が環境要因によってどのように調節されているかを学びます。 ・気孔の開閉が環境要因によってどのように調節されているかを学びます。 ・花芽形成が環境要因によってどのように調節されているかを学びます。 ・果実の形成と成熟，植物の器官の老化や脱落が環境要因によってどのように調節されているかを学びます。
第11回 提出期限 11月15日	単元名	個体群と生物群集
	概要	・個体群の特徴を知るために着目すべき点について学習します。 ・個体群の大きさの変化について学習します。 ・個体間にはどのような協力・対立関係があるかを学びます。 ・種間の相互作用について学習します。 ・生物群集における多様の共存のしくみについて学習します。
第12回 提出期限 12月15日	単元名	生態系
	概要	・エネルギーの移動と物質の循環のかかわりについて学習します。 ・生産者や消費者の物質収支について学習します。 ・種。遺伝子。生態系の多様性の関係について学習します。 ・人間活動が生態系に及ぼす影響，生態系の保全・復元について学習し，生態系の保全と人間生活をどのように両立させればよいかを考えます。

面接指導計画

1. 単元名 【5～6月実施】【第1回】生命の起源と細胞の進化 原始生命の誕生からシアノバクテリアによる酸素発生、細胞内共生、多細胞化とカンブリア爆発の歴史を学ぶ。

【7〜8月実施】【第4回】細胞と物質
アミノ酸とタンパク質の立体構造を学んだ後、酵素の触媒作用や特異性を理解する。さらに牛乳にレモン汁を加える変性実験を行い、立体構造と酵素の機能や性質の関係を学ぶ。
【9〜10月実施】【第6回】遺伝情報とその発現
遺伝子の発現の仕組みを学び、塩基の置換や欠損によって作られるタンパク質がどう変化するかを演習で明らかにすることによって、塩基配列の変化が生物に与える影響を理解する。
【11〜12月実施】【第10回】植物の環境応答
植物の成長に関連するホルモンの働きとそれに伴う植物の成長の変化について、実例を見ながら理解を深める。植物ホルモンの役割について学び、環境との関連性について理解する。
【1〜3月実施】【第8回】遺伝子を扱う技術
PCRによるDNAの増幅や遺伝子組換え、遺伝子解析など、生命科学を支える遺伝子工学の基本的な仕組みを理解し、活用例を用いて学ぶ。

※本校または全国の各面接指導施設で前期4コマ、後期4コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で4コマ、全国の各面接指導施設で4コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
生命現象を分子レベルから生態系までより発展的な内容を多角的に探究し、細胞、遺伝子、生体機能、生物の多様性、進化、生態系といった生物学の専門的な概念や原理・法則を体系的に理解する。
【思考・判断・表現】
生命現象や科学的課題を論理的に分析し、根拠に基づいた多面的な思考と判断力を培う。考察内容を的確かつ論理的に表現し、生物学的な知見をわかりやすく伝える力を育てる。
【学びに向かう力、人間性等】
自然や生命のあり方に興味をもち、自ら課題を設定し、粘り強く学習に取り組もうとする態度を養う。生命倫理や持続可能な社会の実現といった現代社会の課題解決に、生物学の視点から貢献しようとする態度を涵養する。

「地学基礎」 3学年 通信教育実施計画（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	理科	科目	地学基礎	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	4コマ （前期2コマ・ 後期2コマ）

学習目標	(1) 日常生活や社会との関連を図りながら，地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。 (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，自然環境の保全に寄与する態度を養う。

教科書	東京書籍「地学基礎」（地基701）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	私たちの大地(1)
	概要	地球の形と大きさ／地球の構造／地球内部の動きとプレート／大地形の形成と地質構造／変成岩と変成作用 ・地球の形と大きさをその解明の歴史を交えて、地球の形が真の球ではないことを知る。 ・地球の層構造やマントルの対流とプレートの動きについて、プレートの3種類の境界について理解する。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	私たちの大地(2)
	概要	火山噴火の多様性／火成岩／地震の発生／地震が起こる場所 ・地球上で起こっている火山活動や地震がどのような場所で起こっているのかを知る。 ・火山活動によって作られる岩石について理解する。
第3回 提出期限 8月15日	単元名	私たちの空と海
	概要	地球大気の構造／地球の大気で起こる現象／地球の熱収支／大気や海水の運動の原因／大気の大循環／海水とその運動／大気と海洋の相互作用 ・地球大気が層構造となっていることを理解する。 ・地球大気で起こっている現象、太陽放射と地球放射がつりあっていることを理解する。 ・大気や海水の運動の原因について、地球の熱収支と関連付けて理解する。 ・大気と海洋の運動が相互に作用しあっていることを知る。
第4回 提出期限 10月15日	単元名	私たちの宇宙の誕生
	概要	宇宙の誕生と宇宙の姿／太陽系の誕生／太陽系の構成／太陽の特徴／地球の特徴 ・ビックバンによって宇宙が誕生し、太陽系が形成されたことを知る。 ・太陽系を構成する惑星の特徴と分類、太陽の特徴について理解する。 ・地球がハビタブルゾーンに位置し、生物が生存できる条件について知る。
第5回 提出期限 11月15日	単元名	私たちの地球の歴史
	概要	地層の形成／地層からわかる情報／地球史の最初期／先カンブリア時代／古生代／中生代／新生代／人類の進化／地球環境の変化による生物の変遷 ・地層の堆積のしかた、堆積岩、地層からわかる情報について知る。 ・示準化石や示相化石から、その生物が生息した時代や環境がわかる。 ・地球の変遷について、古生物の変遷と地球環境のことを理解する。
第6回 提出期限 12月15日	単元名	地球に生きる私たち
	概要	日本の自然環境の特徴／日本の自然の恵み／気象災害と防災／地震による災害と防災／火山による災害と防災／地球環境の考え方／自然環境の変化／人間活動がもたらす自然環境の変化／世界の取り組み／代替エネルギー／持続可能な発展へ ・日本の自然の多様性、自然の与える様々な恩恵について、気象災害と防災、地震による災害と防災、火山による災害と防災について知る。 ・地球システムの考え方について理解する。

		・自然環境の変動について人間活動もかかわっていることを知る。 ・環境問題に対応するための全世界的な取り組みについて知る。

面接指導計画

1. 単元名
【5～6月実施】【第1回】私たちの大地
地震の発生メカニズムやP波・S波の性質、大森公式を学び、データを用いた作図ワークで震源を特定する。
【7～8月実施】【第3回】私たちの空と海
気圧や大気の層構造、雲の発生を実験で学ぶとともに、日本の四季の気候特徴や台風の災害対策を考察する。
【9～10月実施】【第4回】私たちの宇宙の誕生
風船を用いたモデル実験を通して宇宙空間の膨張を可視化し、宇宙誕生の仕組みや空間の広がりについて理解を深める。
【11～12月実施】【第5回】私たちの地球の歴史
火山による生成や堆積の過程、各種岩石の特徴を学び、標本観察やスケッチ、クイズ演習を通して、堆積岩や火成岩を見極める力を養う。
【1～3月実施】【第6回】地球に生きる私たち
地球がもたらす自然の恵みと災害の仕組みを理解し、環境問題や防災・減災についての考察を通して、人間と地球環境の持続可能な共生を考える。

※本校または全国の各面接指導施設で前期2コマ、後期2コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で2コマ、全国の各面接指導施設で2コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
地球や宇宙、大気、海洋に関心をもち、地学の基本的な概念や原理・法則を理解する。また、観察・実験やデータ分析を通して、地球や宇宙の現象を科学的に説明する技能を習得する。
【思考・判断・表現】
自然現象の特徴やしくみをとらえ、論理的に分析し、根拠に基づいて判断する力を養う。観測データや考察内容を、図やグラフ、文章などを適切に用いて表現し、自分なりに他者に明確に伝える力を高める。
【学びに向かう力、人間性等】
地球や宇宙に対する探究心や知的好奇心を深め、日常生活と関わる自然現象に関心をもち、自主的・積極的に学習に取り組む。問題解決や探究活動に粘り強く挑戦する態度を養う。

「体育Ⅰ」 1学年　通信教育実施計画（桐生本校を含む全面接指導施設共通）

教科	保健体育	科目	体育Ⅰ	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	6コマ （前期3コマ・ 後期3コマ）

学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに,技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し,合理的,計画的な解決に向けて思考し判断するとともに,他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し,明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

教科書	第一学習社「保健体育 Activity」（保体 703）
副教材	第一学習社「高等学校 保健体育 Textbook」（保体 704） 自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年2回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 8月15日	単元名	スポーツの発祥と発展／陸上競技
	概要	スポーツの始まりと変遷／文化としてのスポーツ／日本生まれのスポーツ／オリンピックとパラリンピックの意義／オリンピック・パラリンピックの課題／スポーツが経済に及ぼす効果／スポーツの高潔さとドーピング／陸上競技
第2回 提出期限 12月15日	単元名	水泳競技／水泳／器械運動
	概要	水泳競技／器械運動／マット運動 ／鉄棒運動／平均台運動／跳び箱運動

面接指導計画

1. 単元名
【5月～6月実施】
以下のいずれかの運動に関する内容を取り扱う
・体つくり運動
・球技
・ニュースポーツ

【7月～8月実施】
以下のいずれかの運動に関する内容を取り扱う
・体づくり運動
・球技
・ニュースポーツ

【9～10月実施】
以下のいずれかの運動に関する内容を取り扱う
・体づくり運動
・球技
・ニュースポーツ

【11～12月実施】
以下のいずれかの運動に関する内容を取り扱う
・体つくり運動
・球技

・ニュースポーツ

【1～3月実施】
以下のいずれかの運動に関する内容を取り扱う
・体つくり運動
・球技
・ニュースポーツ

※実技については、生徒の状況に応じ運動強度を選択できるよう、本校体育館・体育室（ところざわサクラタウンキャンパス）・近隣の体育施設（その他の面接指導施設）・教室での実施とする。
※近隣の体育施設についての詳細はN Lobby上の時間割を参照してください。

実施する競技については以下より種目を選択して実施する。
【本校体育館・体育室・近隣の体育施設での実施】
体つくり運動
カンジャム
シッティングバレー
ボッチャ
モルック
バレーボール
フライングディスク
ポートポール
バスケットボール
バドミントン
大縄跳び
ドッヂビー
卓球
サッカー
スポーツスタッキング

【教室での実施】
体つくり運動
カンジャム
ボッチャ
モルック
ビアポン
スポーツスタッキング
卓球
けん玉

※本校または全国の各面接指導施設で前期3コマ、後期3コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で3コマ、全国の各面接指導施設で3コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
運動や日常生活に必要な栄養についての理解を深め、適切な摂取量や摂取のタイミングについて、グラフや表などの資料を活用して説明できる力を養う。
また、ゲームのルールなどの基本的な知識を身につけ、段階的な練習を通して個人の技能だけでなく、仲間と協力する集団としての技能も向上させることを目指す。
【思考・判断・表現】
運動や日常生活に必要な栄養についての理解を深め、適切な摂取量やタイミングについて自ら考え判断し、それを他者にわかりやすく伝える力を身につける。
また、自分やチームの状況に応じた課題を見つけ出し、それを解決するための方法を工夫しながら、練習や試合に主体的に取り組む力を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】
運動や日常生活に必要な栄養について、適切な摂取量やタイミングをテーマに、仲間と話し合いながら主体的に学ぶ態度や協働する力を育む。
また、さまざまな運動に興味を持ち、課題の発見や解決に向けて周囲と協力しながら意欲的に活動に取り組む力を養う。

「体育Ⅱ」 2学年　　通信教育実施計画（桐生本校を除く全面接指導施設共通）

教科	保健体育	科目	体育Ⅱ	単位	3単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	8コマ （前期4コマ・ 後期4コマ）

学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに,技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し,合理的,計画的な解決に向けて思考し判断するとともに,他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し,明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

教科書	第一学習社「保健体育 Activity」（保体 703）
副教材	第一学習社「高等学校 保健体育 Textbook」（保体 704） 自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年3回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 8月15日	単元名	単元：運動・スポーツの学び方／バスケットボール
	概要	概要：スポーツにおける技能と体力／スポーツにおける技術と戦術／スポーツルールはなぜ変わるのか考えてみよう／スポーツとメディアの関係性／技能の上達過程と練習／球技における戦術の特徴を比較してみよう／ゲームにおける戦術的判断／効果的な動きのメカニズム／運動・スポーツと脳／動きと力／体力トレーニング／運動やスポーツでの安全の確保／スポーツによるさまざまなリスクを考えてみよう／スポーツ外傷・障害とその原因／健康づくりのために運動を実践してみよう／バスケットボール
第2回 提出期限 10月15日	単元名	単元：ハンドボール／サッカー／ラグビー
	概要	概要：ハンドボール／サッカー／ラグビー
第3回 提出期限 12月15日	単元名	単元：バレーボール／テニス／ソフトテニス
	概要	概要：バレーボール／テニス／ソフトテニス

面接指導計画

1. 単元名
【5月～6月実施】
以下のいずれかの運動に関する内容を取り扱う
・体つくり運動
・球技
・ニュースポーツ

【7月～8月実施】
以下のいずれかの運動に関する内容を取り扱う
・体づくり運動
・球技
・ニュースポーツ

【9～10月実施】
以下のいずれかの運動に関する内容を取り扱う
・体づくり運動
・球技

・ニュースポーツ

【11～12月実施】
以下のいずれかの運動に関する内容を取り扱う
・体つくり運動
・球技
・ニュースポーツ

【1～3月実施】
以下のいずれかの運動に関する内容を取り扱う
・体つくり運動
・球技
・ニュースポーツ

※実技については、生徒の状況に応じ運動強度を選択できるよう、体育室（ところざわサクラタウンキャンパス）・近隣の体育施設（その他の面接指導施設）・教室での実施とする。
※近隣の体育施設についての詳細はN Lobby上の時間割を参照してください。

実施する競技については以下より種目を選択して実施する。
【体育室・近隣の体育施設での実施】
体つくり運動
卓球
スポーツスタッキング
バレーボール
フライングディスク
バスケットボール
バドミントン
ボッチャ
カンジャム
大縄跳び
ドッヂビー
モルック
サッカー

【教室での実施】
体つくり運動
ビアポン
ボッチャ
カンジャム
モルック
卓球
スポーツスタッキング
けん玉

※本校または全国の各面接指導施設で前期4コマ、後期4コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で4コマ、全国の各面接指導施設で4コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
ゲームのルールや基本的な知識を理解し、段階的な練習を通して個人の技術とチームでの連携力の向上を目指す力を育てる。
また、運動やスポーツをより効果的に学ぶ方法について、表やグラフを活用して分かりやすく伝える力を身につける。
【思考・判断・表現】
自分やチームの状況に応じて目標や課題を設定し、その解決に向けて工夫しながら練習や試合に主体的に取り組む力を育む。
また、運動やスポーツを効果的に学ぶために必要な課題を見つけ出し、解決策を考え、適切に判断するとともに、他者に分かりやすく伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
さまざまな運動種目に対して興味をもち、課題の解決に向けて仲間と協力しながら積極的に活動に取り組む力を育てる。
また、運動やスポーツをよりよく学ぶ方法について、話し合いや意見の共有を通して主体的に学習に参加する態度を養う。

「体育Ⅲ」 3学年　通信教育実施計画（桐生本校を除く全面接指導施設共通）

教科	保健体育	科目	体育Ⅲ	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	6コマ （前期3コマ・ 後期3コマ）

学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに,技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し,合理的,計画的な解決に向けて思考し判断するとともに,他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し,明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

教科書	第一学習社「保健体育 Activity」（保体 703）
副教材	第一学習社「高等学校 保健体育 Textbook」（保体 704） 自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年2回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 8月15日	単元名	豊かなスポーツライフの設計／卓球／バドミントン／ソフトボール
	概要	生涯スポーツの見方・考え方／スポーツ科学のすすめ／スポーツにかかわる職業／ライフスタイルに応じたスポーツ／身のまわりの人のスポーツライフを調べてみよう／自分でスポーツライフを設計してみよう／スポーツを推進する取り組み／諸外国のスポーツを推進する取り組みを調べてみよう／豊かなスポーツライフの創造／卓球／バドミントン／ソフトボール
第2回 提出期限 12月15日	単元名	運動生理学／柔道／剣道
	概要	運動生理学／柔道／剣道

面接指導計画

1. 単元名
【5月～6月実施】
以下のいずれかの運動に関する内容を取り扱う
・体つくり運動
・球技
・ニュースポーツ

【7月～8月実施】
以下のいずれかの運動に関する内容を取り扱う
・体づくり運動
・球技
・ニュースポーツ

【9～10月実施】
以下のいずれかの運動に関する内容を取り扱う
・体づくり運動
・球技
・ニュースポーツ

【11～12月実施】
以下のいずれかの運動に関する内容を取り扱う
・体つくり運動

・球技
・ニュースポーツ

【1～3月実施】
以下のいずれかの運動に関する内容を取り扱う
・体つくり運動
・球技
・ニュースポーツ

※実技については、生徒の状況に応じ運動強度を選択できるよう、体育室（ところざわサクラタウンキャンパス）・近隣の体育施設（その他の面接指導施設）・教室での実施とする。
※近隣の体育施設についての詳細はN Lobby上の時間割を参照してください。

実施する競技については以下より種目を選択して実施する。
【体育室・近隣の体育施設での実施】
体つくり運動
ドッヂボール
パターゴルフ
ドッヂビー
バレーボール
フライングディスク
バスケットボール
バドミントン
ボッチャ
カンジャム
大縄跳び
モルック
スポーツスタッキング
卓球
サッカー

【教室での実施】
体つくり運動
モルック
スポーツスタッキング
卓球
ビアポン
ボッチャ
カンジャム
けん玉

※本校または全国の各面接指導施設で前期3コマ、後期3コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で3コマ、全国の各面接指導施設で3コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
日々の習慣を振り返って課題を把握し、より良い健康状態を目指して具体的な行動計画を立てられる。
基礎的な知識やルールを身につけ、段階的な練習を重ねることで、個人の技術力とチームでの連携力を高めることができる。
【思考・判断・表現】
健康的な生活習慣の形成について主体的に考え、妥当な判断をもとに、その考えを他者に分かりやすく伝えることができる。
自分やチームの力に見合った課題を見極め、解決のために工夫を重ねながら、積極的に練習や試合に取り組んでいる。
【学びに向かう力、人間性等】
健康的な生活習慣を築く方法について、話し合いや意見の共有といった学習の場に前向きに関わろうとしている。
さまざまな運動に関心をもち、仲間と協力して課題の解決を図りながら意欲的に活動に取り組んでいる。

「保健」 2学年　通信教育実施計画（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	保健体育	科目	保健	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。 (1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

教科書	第一学習社「保健体育 Activity」（保体 703）
副教材	第一学習社「高等学校 保健体育 Textbook」（保体 704） 自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	現代社会と健康(1)
	概要	健康の考え方と成り立ち／私たちの健康のすがた／生活習慣病の予防と回復／がんの原因と予防／がんの治療と回復／運動と健康／食事と健康／休養・睡眠と健康／喫煙と健康／飲酒と健康
第2回 提出期限 7月15日	単元名	現代社会と健康(2)
	概要	薬物乱用と健康／精神疾患の特徴／精神疾患の予防／精神疾患からの回復／現代の感染症／感染症の予防／性感染症・エイズとその予防／健康に関する意思決定・行動選択／健康に関する環境づくり
第3回 提出期限 8月15日	単元名	安全な社会生活
	概要	事故の現状と発生要因／安全な社会の形成／交通における安全／応急手当の意義とその基本／日常的な応急手当／心肺蘇生法
第4回 提出期限 10月15日	単元名	生涯を通じる健康(1)
	概要	ライフステージと健康／思春期と健康／性意識と性行動の選択／妊娠・出産と健康／避妊法と人工妊娠中絶
第5回 提出期限 11月15日	単元名	生涯を通じる健康(2)
	概要	結婚生活と健康／中高年期と健康／働くことと健康／労働災害と健康／健康的な職業生活
第6回 提出期限 12月15日	単元名	健康を支える環境づくり
	概要	大気汚染と健康／水質汚濁，土壌汚染と健康／環境と健康にかかわる対策／ごみの処理と上下水道の整備／食品の安全性／食品衛生にかかわる活動／保健サービスとその活用／医療サービスとその活用／医薬品の制度とその活用／さまざまな保健活動や社会的対策／健康に関する環境づくりと社会参加

面接指導計画

1. 単元名
【5～6月実施】【第1回】現代社会と健康
生涯の「仕事と健康」の課題を調べ整理し、自分に合う職業生活を考え、メンタルケアを模索する。
【7～8月実施】【第2回】現代社会と健康
飲酒・喫煙の体に及ぼす影響を理解し利害を考え、将来の向き合い方を主体的に探究していく。
【9～10月実施】【第3回】安全な社会生活
自転車事故・自動車事故の発生原因について考え、事故が発生した際に起こる運転者への責任について理解する。交通事故の未然防止の一環として危険予知トレーニングを行う。
【11～12月実施】【第4回】生涯を通じる健康

「生活」「身体」「精神」の側面から大人に移行するに伴って起こる変化について考え、変化によって生じるトラブルやその対策について理解する。心身の変化によって自身に生じる責任についても理解する。
【1～3月実施】【第5回】健康を支える環境づくり
食品の安全性を保持するために食品関連事業者がわが行なっている対策について知り、消費者側が行える対策について考える。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
授業で得た知識を基に、健康を維持するために、適切な睡眠、栄養バランスの取れた食事、ストレス管理の重要性を養う。日々の生活に小さな工夫を加えることで、より健康的な生活が送れる知識を養う。
【思考・判断・表現】
グラフや表を読み取って、得られた情報を自分なりに整理し、簡潔で分かりやすい言葉で表現する力を養う。これにより、データの意味を正確に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
学習した内容を自分自身の経験と結びつけ、これまでの体験を生かして主体的に活動している。また、課題の発見や解決に向けて周囲と協力しながら意欲的に活動に取り組む力を養う。

「美術Ⅰ」 2学年　通信教育実施計画（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	4コマ （前期2コマ・ 後期2コマ）

学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 （2）造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 （3）主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

教科書	光村図書「美術1」（美Ⅰ701）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回	単元名	絵画・彫刻1「西洋美術について」
提出期限 6月15日	概要	風景を描く／比べて鑑賞する・桝や点で描く／比べて鑑賞する・組み合わせる／鉛筆で描く／水彩絵の具で描く
第2回	単元名	絵画・彫刻2「日本美術について」
提出期限 7月15日	概要	絵巻物を楽しむ・鳥獣人物戯画／墨で描く／比べて鑑賞する・桝や点で描く／作家の生涯と作品・葛飾北斎
第3回	単元名	絵画・彫刻3「自画像について」
提出期限 8月15日	概要	自己をあらわす／油絵の具で描く
第4回	単元名	色「色の特徴について」
提出期限 10月15日	概要	色の特徴を知ろう・色の性質／色の特徴を知ろう・色の効果／色の特徴を知ろう・配色のヒント
第5回	単元名	デザイン「デザインについて」
提出期限 11月15日	概要	メッセージを広く伝える／文様で飾る／作家の生涯と作品ル・コルビュジエ／アクリル絵の具で描く
第6回	単元名	映像メディア表現「写真表現について」
提出期限 12月15日	概要	人物を撮影する／比べて鑑賞する・人を撮る／テーマを決めて撮影する

面接指導計画

1. 単元名
【5～6月実施】【第1回】絵画・彫刻1「西洋美術について」
近代絵画の多様な表現を学び、関心を持った作品の魅力を伝えるパンフレットの制作とグループ鑑賞を行う。
【7～8月実施】【第3回】絵画・彫刻3「自画像について」
紙の特性を生かした立体表現を学び、自分の内面を投影したお面を制作することで、造形技能や表現力、自己理解を深める。
【9～10月実施】【第4回】色「色の特徴について」

身近なロゴデザインを題材に、発想を支援しながら自己表現や自己理解を深め、視認性や伝達性などデザインの基本的な考え方を学ぶ。
【11～12月実施】【第5回】デザイン「デザインについて」
ポテトチップスのパッケージデザイン制作を通して、表現方法を工夫し、目的に応じたデザイン力や鑑賞を通した多様な見方・感じ方を育む。
【1～3月実施】【第5回】デザイン「デザインについて」
CDジャケット制作を通して、伝えたい思いを効果的に表現する力を養い、鑑賞活動を通じて多様な表現や感じ方への理解を深める。

※本校または全国の各面接指導施設で前期2コマ、後期2コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で2コマ、全国の各面接指導施設で2コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
制作をするために必要な知識を身につけ、技能について理解を深める。
表現の目的や作品の意図を踏まえた上で、適切な表現方法や技法を主体的に選択し、効果的な表現となるよう創意工夫を行う力を養う。
【思考・判断・表現】
表現のねらいを理解し、目的の実現に向けて感性や想像力を十分に働かせながら、効果的な表現となるよう主体的に工夫する力を養う。作品の造形的な特徴や表現上の工夫について理解を深め、そのよさや美しさを味わう。
【学びに向かう力、人間性等】
デザインや美術の多様な表現方法に関心を持ち、積極的に表現活動と鑑賞活動に取り組むことで、自己の創造性を高めるとともに、表現がもたらす喜びや他者の作品から受ける感動を深く味わう姿勢を育てる。

「英語コミュニケーションⅠ」　1学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ	単位	3単位	面接指導実施コマ数（6割減免後）	6コマ（前期3コマ・後期3コマ）

学習目標	（1）外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 （2）コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 （3）外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

教科書	東京書籍「All Aboard!English Communication Ⅰ」（英コミⅠ）701
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年9回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	Warm-Up／【Pre-Lesson 1】My name is Ito Neko／【Pre-Lesson 2】I Like Junk Food!
	概要	アルファベット／教室で使う表現／辞書の使い方・疑問詞 ・英語のアルファベットを使って単語を正確に書き、発音する。 ・授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を学習する。 ・辞書の使い方と役に立つ用法について学習する。また、疑問詞のある疑問文と答え方を学習する。 ・be動詞 ／ 一般動詞／自己紹介 ／主語＋動詞、主語＋動詞＋補語、主語＋動詞＋目的語について学習する。 ・英語で自己紹介をする。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	【Lesson1】Breakfast around the World／【Lesson2】Australia's Cute Quokkas
	概要	【Lesson1】世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や違いを学習する。／文法テーマ：過去形 ・好きな食べ物について、英語で述べることができる。 ・「過去にしたこと」について、英語で述べることができる。 【Lesson2】オーストラリアのめずらしい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。／文法テーマ：進行形 ・好きな動物について、英語で述べることができる。 ・「今していること」について説明する。
第3回 提出期限 8月15日	単元名	【Lesson 3】Life with Spade／【Lesson 4】A Miracle Mirror
	概要	【Lesson3】 ・出かける予定の場所について、英語で伝えることができる。 ・自分ができることについて伝える。 【Let's Listen 1】 ・電話で友達をスポーツ観戦に誘う。 【Lesson4】 ・日本のおすすめの場所について、英語で伝えることができる。 ・今週末にやりたいことについて伝える。 ・英語でEメールを書いてみる。
第4回 提出期限 8月15日	単元名	【Lesson 5】A Dream Engine／【Reading 1】Short Stories in English
	概要	【Lesson 5】 ・将来の夢について，英語で伝えることができる。

		・先週末に楽しんだことについて伝える。 【Let's Listen 2】 ・車内アナウンスを聞いて，近くの人に内容について尋ねる。 【Reading 1】 ・3つのショートストーリーを読み，それぞれの場面や心情を読み取る。
第5回 提出期限 9月15日	単元名	【Lesson 6】A Funny Picture from the Edo Period／【Lesson 7】A Diary of Hope
	概要	【Lesson 6】江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して、浮世絵と現代マンガの関連性について考える。／文法テーマ：受け身 ・好きな絵について、英語で述べることができる。 ・人や物に焦点をあてて、「○○は…される」と説明する。 【Lesson 7】アンネ・フランクの生活と日記について紹介する授業を通して、生きることの意味について考える。／文法テーマ：比較表現 ・関心のある人物について、英語で説明することができる。 ・2つ以上のものを比べて説明する。
第6回 提出期限 10月15日	単元名	【Lesson 8】A Door to a New Life
	概要	【Lesson 8】ロボットカフェを紹介する実況中継を通して、ロボットの可能性について考える。／文法テーマ：現在完了形 ・人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案することができる。 ・「…したことがある」という経験を伝える。 【Communication 3】電車の乗り換え案内の場面においてよく使われる表現を用いて、英語で尋ねたり案内したりする。
第7回 提出期限 11月15日	単元名	【Lesson 9】Goasts in the Oceans
	概要	【Lesson 9】 ・地域の環境問題に対する取り組みについて，英語で伝えることができる。 ・人や物に「…している」「…された」という説明を加える。
第8回 提出期限 11月15日	単元名	【Lesson 10】Pigs from across the Sea
	概要	【Lesson 10】第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの援助や、両地域の現在の交流について学習する。／文法テーマ：関係代名詞 ・海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べることができる。 ・人や物について説明を加える。
第9回 提出期限 12月15日	単元名	【Reading 2】Mujina
	概要	【Reading 2】 ・物語を読み、場面について想像したり、感情をこめて読み上げる。 ・「もし私が○○なら…、…するのに。」と、現実にはありえないことについて表現する。

面接指導計画

1. 単元名

【5～6月実施】【Pre-Lesson 2】I Like Junk Food!
英語の文構造や動詞の過去形、異文化の動物を学び、ペアワークの自己紹介や推理クイズで表現力を養う。
【7～8月実施】【Lesson 5】A Dream Engine
動名詞の用法やto不定詞との違いを学び、クイズや職業提案、旅行計画作りの活動を通して理解を深める。
【9～10月実施】【Lesson 7】A Diary of Hope
コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、関係副詞や原級、比較級/最上級などを用いて、外国語で適切に表現する方法および伝え合う方法を学ぶ。
【11～12月実施】【Lesson 9】Goasts in the Oceans
名詞を後ろから修飾する分詞（現在分詞・過去分詞）の役割や意味を理解し、その構文を用いて自らの考えや状況を英文で表現する。
【1～3月実施】【Reading 2】Mujina
日本や世界の怪談への理解を深め、『Mujina』の登場人物に自身を重ねて心情や情景を想像し、個人やペアワークを通じ、物語の要点を把握し主体的に読み解く力を養う。

※本校または全国の各面接指導施設で前期3コマ、後期3コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で3コマ、全国の各面接指導施設で3コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標

【知識・技能】
基本的な語彙や文法、音声表現を着実に習得し、身近な話題について英語で「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく伸ばすことで、自分の考えを相手に自信を持って伝えるコミュニケーション力を育成する。
【思考・判断・表現】
日常的な出来事や身近な話題に対して、自分の考えや気持ちを英語で論理的に整理し、状況に応じて的確な語彙や表現を用いて、相手にわかりやすく明確かつ効果的に伝えるコミュニケーション能力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】
英語学習に対して常に意欲的かつ主体的に取り組む姿勢を育み、授業などで得た知識や表現を、日常生活や実社会のさまざまな場面で積極的かつ能動的に活用しようとする意識を高める。

「英語コミュニケーションⅡ」　２学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位	4単位	面接指導実施コマ数（6割減免後）	8コマ（前期4コマ・後期4コマ）

学習目標	（1）外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 （2）コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 （3）外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

教科書	東京書籍「All Aboard! English Communication Ⅱ」（英コミⅡ）701
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年12回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	【Pre-Lesson】 My Plans for This Year／【Lesson 1】 A Colorful Island
	概要	第1回【Pre-Lesson】 My Plans for This Year／【Lesson 1】 A Colorful Island ・今年やってみたいことについて英語で考える。 ・海外で行ってみたい場所について、英語で述べることができる。 ・子供のころなりたかったものについて伝える。 ・関係代名詞（what）について学ぶ。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	【Lesson 2】 With the Beatles
	概要	第2回【Lesson 2】 With the Beatles ・世代を超えて人気のある人物について、英語で述べることができる。 ・2つ以上のものを比べて説明する。 ・比較表現について学ぶ。
第3回 提出期限 7月15日	単元名	【Lesson 3】 Wild Men
	概要	第3回【Lesson 3】 Wild Men ・身近な行事について、英語で紹介することができる。 ・ある行動に対する意見や感想を述べる。 ・itの用法について学ぶ。
第4回 提出期限 8月15日	単元名	【Lesson 4】 Little Hero
	概要	第4回【Lesson 4】 Little Hero ・自分の好きな物語を英語で紹介することができる。 ・間接的に自分の疑問を伝える。 ・間接疑問文について学ぶ。
第5回 提出期限 8月15日	単元名	【Lesson 5】 Special Makeup in Kabuki
	概要	第5回【Lesson 5】 Special Makeup in Kabuki ・日本の伝統文化について、英語で説明することができる。 ・人にしてもらいたいことについて伝える。 ・to不定詞を含む表現について学ぶ。
第6回 提出期限 9月15日	単元名	【Reading 1】 Mujina
	概要	第6回【Reading 1】 Mujina ・物語を読み、場面について想像したり、感情をこめて読み上げる。

第7回 提出期限 9月15日	単元名	【Lesson 6】Seeds for Future Generations
	概要	第7回【Lesson 6】Seeds for Future Generations ・地元で有名な場所やものについて、英語で説明することができる。 ・気になることについて「…かどうかと思う」と伝える。 ・動詞の目的語になるif節について学ぶ。
第8回 提出期限 10月15日	単元名	【Lesson 7】Over the Wall
	概要	第8回【Lesson 7】Over the Wall ・世界の人々と交流する方法について、英語で述べることができる。 ・場所や時について説明を加える。 ・関係副詞のwhere、whenについて学ぶ。
第9回 提出期限 10月15日	単元名	【Lesson 8】Inspiration from Nature
	概要	第9回【Lesson 8】Inspiration from Nature ・自然界のデザインをヒントにした製品について、英語で発表できる。 ・見たり聞いたりしたことについて、その様子を伝える。 ・知覚動詞について学ぶ。
第10回 提出期限 11月15日	単元名	【Lesson 9】The Bitter Truth behind Chocolate
	概要	第10回【Lesson 9】The Bitter Truth behind Chocolate ・社会的な問題について、英語で意見を述べることができる。 ・「…させてください」と許可を求める。 ・使役動詞について学ぶ。
第11回 提出期限 11月15日	単元名	【Lesson 10】Fighting Angel
	概要	第11回【Lesson 10】Fighting Angel ・人を助ける職業について、英語で説明することができる。 ・「…しながら」と文に情報を加える。 ・分詞構文について学ぶ。
第12回 提出期限 12月15日	単元名	【Reading 2】Bear's Pie
	概要	第12回【Reading 2】Bear's Pie ・物語を読み、エンディングを予想し英語で書いてみたり、感情をこめて読み上げる。

面接指導計画

1. 単元名
【5〜6月実施】【Lesson 1】A Colorful Island
イタリア・ブラーノ島の読解や関係代名詞whatを学び、旅をテーマにした情報収集とミニ発表を行う。
【7〜8月実施】【Lesson 5】Special Makeup in Kabuki
間接疑問文やto不定詞、歌舞伎、名詞節のif・whetherを学び、クイズや表現活動を通して発信力を養う。
【9〜10月実施】【Lesson 7】Over the Wall
現在完了進行形や関係副詞などの文法について学び、学習した表現を活用しながら英語で質問したり案内したりするコミュニケーション活動を行う。
【11〜12月実施】【Lesson 9】The Bitter Truth behind Chocolate
チョコレートをめぐる社会問題に関する文章を題材に読解活動を行い、内容に関する自分の考えを英語で表現する。あわせて、使役動詞を用いた表現について理解し、コミュニケーションの中で活用する。
【1〜3月実施】【Lesson 6】Seeds for Future Generations
地元で有名な場所やものについて英語で説明する。動詞の目的語になるif節を理解して、コミュニケーション活動を行う。

※本校または全国の各面接指導施設で前期4コマ、後期4コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で4コマ、全国の各面接指導施設で4コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
語彙や複雑な文構造を段階的かつ発展的に習得し、環境・国際問題・多文化理解など幅広い社会的テーマについて英語で深く理解した上で、それらを論理的かつ的確に表現できる高度なコミュニケーション能力を向上させる。
【思考・判断・表現】
複雑かつ多岐にわたる内容について、多様な視点から深く考察を重ね、得られた知見を基に思慮深く分析し、それらを論理的な構成と説得力のある表現で英語によって的確に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
英語をコミュニケーション手段や学びのツールとして積極的に活用し、世界で起こる様々な出来事や社会課題に強い関心を持ちながら、多角的な視点から自らの知識や理解を深めようとする主体的な学習姿勢を育む。

「英語コミュニケーションⅢ」　３学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ	単位	4単位	面接指導実施コマ数（6割減免後）	8コマ（前期4コマ・後期4コマ）

学習目標	（1）外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 （2）コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 （3）外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

教科書	東京書籍「All Aboard!English Communication Ⅰ」（英コミⅢ）701
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年12回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	【Lesson 1】Gifts to Barcelona
	概要	・建築物について、英語で紹介することができる。 ・to不定詞／動名詞について学ぶ。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	【Lesson 2】Akkamui
	概要	・生き物の特徴について、英語で説明することができる。 ・現在完了形について学ぶ。
第3回 提出期限 7月15日	単元名	【Lesson 3】Your True Colors
	概要	・ファッションについて、英語でインタビューをすることができる。 ・使役動詞について学ぶ。
第4回 提出期限 8月15日	単元名	【Lesson 4】Our Future Food?
	概要	・食糧問題について、英語でミニディベートをすることができる。 ・受け身について学ぶ。
第5回 提出期限 8月15日	単元名	【Lesson 5】Madagascar
	概要	・地域の自然について、英語でプレゼンテーションをすることができる。 ・関係代名詞について学ぶ。
第6回 提出期限 9月15日	単元名	【Lesson 6】The Mystery of the Terracotta Warriors
	概要	・訪れてみたい史跡について、英語でまとまりのある文章を書くことができる。 ・関係代名詞について学ぶ。
第7回 提出期限 9月15日	単元名	【Lesson 7】Green Challenges
	概要	・再生エネルギーについて、国や地域を比較して英語でプレゼンテーションをすることができる。 ・比較表現について学ぶ。
第8回 提出期限 10月15日	単元名	【Lesson 8】Witnesses of War
	概要	・経験したことや考えたことについて、英語でまとまりのある文章を書くことができる。 ・名詞を後ろから説明する分詞について学ぶ。

第9回 提出期限 10月15日	単元名	【Lesson 9】The Wonders of Lightning
	概要	・電気の有効活用について、英語でミニディベートをすることができる。 ・仮定法過去について学ぶ。
第10回 提出期限 11月15日	単元名	【Lesson 9】The Wonders of Lightning
	概要	・電気の有効活用について、英語でミニディベートをすることができる。 ・仮定法過去について学ぶ。
第11回 提出期限 11月15日	単元名	【Lesson 10】Katherine's Long Journey
	概要	・社会に影響を与えた人物について、英語でエッセイを書くことができる。 ・関係代名詞whoseについて学ぶ。
第12回 提出期限 12月15日	単元名	【Reading 2】Table for Two
	概要	・英語の物語を読むことができる

面接指導計画

1. 単元名
【5〜6月実施】【Lesson 1】Gifts to Barcelona
興味のある建造物についての情報を収集・整理し、既存の知識や本単元で学習した語彙や表現を用いてその魅力を伝達する。
【7〜8月実施】【Lesson 3】Your True Colors
使役動詞や世界の民族衣装、衣服を着用する意義を学び、本文要約や自身の意見を表現する活動を行う。
【9〜10月実施】Reading 1】The Fun They Had
本文に登場する語彙や表現を学び、物語に描かれている「未来の学校」と「現在の学校」を比較し、自分の考えを持ち英語で表現することができる。
【11〜12月実施】【Lesson 9】The Wonders of Lightning
落雷のメカニズムを切り口に、地球温暖化や野火などの自然災害について考える学習を通して、環境保全に関する考えを英語で表現する方法を身につける。
【1〜3月実施】【Reading 2】Table for Two
登場人物の感情や運命の展開を読み取りながら物語を理解し、登場人物の気持ちを想像し自分自身の考えを英語で表現する。

※本校または全国の各面接指導施設で前期4コマ、後期4コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で4コマ、全国の各面接指導施設で4コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
幅広い分野にわたる英文資料や文章から必要な情報を的確かつ効率よく読み取る力を養い、それらの内容を通じて現代社会が直面する多様な課題や文化的背景への理解を深め、柔軟で深い洞察力を高める。
【思考・判断・表現】
物事を多様な視点から深く考察し、自らの分析結果を信頼できる根拠とともに筋道立てて体系的に整理することで、自身の意見や主張を英語で的確かつ論理的に伝えるための表現力を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】
国際社会で起こっている政治・経済・環境などの様々な出来事に深い関心を持ち、その興味を学びの原動力として、自らの考えや収集した情報を英語で主体的かつ積極的に発信しようとする姿勢を養う。

「論理・表現Ⅰ」 2学年　通信教育実施計画（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅰ	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	4コマ （前期2コマ・ 後期2コマ）

学習目標	(1)外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2)コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

教科書	東京書籍「NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅰ」（論Ⅰ701）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	英語で表現するには／【Unit 1 Lesson 1】初めての食事～【Lesson 4】体調が悪い
	概要	【第1回】英語で表現するには／【Unit 1 Lesson 1】初めての食事／【Lesson 2】道に迷う／【Lesson 3】人物紹介／【Lesson 4】体調が悪い ・これまでに学んできた英語を振り返る。 ・褒める／勧める／断ることができる。 ・提案する／依頼する／道順を説明することができる。 ・身近な人を紹介する／注意を引くことができる。 ・体調を伝える／体調を尋ねる／指示・アドバイスをすることができる。
第2回 提出期限 7月15日	単元名	【Unit 1 Lesson 5】買い物～【Lesson 8】スクールカウンセラーに相談
	概要	【Unit 1 Lesson 5】買い物／【Lesson 6】行ってみたい場所／【Lesson 7】イベントに誘われる／【Lesson 8】スクールカウンセラーに相談 ・描写する／相づちを打つことができる。 ・希望を述べる／理由を述べることができる。 ・誘う／誘いを受ける／誘いを断ることができる。 ・状況を説明する／手助けを申し出る／助言・提案する／お礼や感謝を伝えることができる。
第3回 提出期限 8月15日	単元名	【Unit 1 Lesson 9】お気に入りを紹介～【Lesson 12】英字新聞に投稿
	概要	【Unit 1 Lesson 9】お気に入りを紹介／【Lesson 10】待ち合わせに遅刻／【Lesson 11】家庭でのディスカッション／【Lesson 12】英字新聞に投稿 ・映画や本のあらすじを要約したり、登場人物などを紹介したりする／感想や批評を述べることができる。 ・相手に謝る／相手を許す／相手を励ますことができる。 ・共感を述べる／残念な気持ちを述べる／解決策を提案することができる。 ・要望や主張を述べる／理由を述べることができる。
第4回 提出期限 10月15日	単元名	【Unit 2 Lesson 1】クラスでディベート①～【Lesson 3】経験談のスピーチ
	概要	【Unit 2 Lesson 1】クラスでディベート①／【Lesson 2】クラスでディベート②／【Lesson 3】経験談のスピーチ ・理由を述べる／例を挙げることができる。 ・相手の意見に反駁する／相手の意見を引用することができる。 ・できごとを生き生きと描写すること／経験からアドバイスをすることができる。
第5回 提出期限 11月15日	単元名	【Unit 2 Lesson 4】遊びやスポーツを紹介～【Lesson 6】物事の両面を伝える
	概要	【Unit 2 Lesson 4】遊びやスポーツを紹介／【Lesson 5】日本をPR／【Lesson 6】物事の両面を伝える ・ルールや手順を順序立てて説明する／聞き手の知識に合わせて説明することができる。 ・事実と意見を区別して述べる／文化や習慣を説明することができる。

		・利点と欠点を述べる／話題を発展させる／話題を変えることができる。
第6回 提出期限 12月15日	単元名	【Unit 2 Lesson 7】読み手を納得させる～【Lesson 8】読み手を説得する
	概要	【Unit 2 Lesson 7】読み手を納得させる／【Lesson 8】読み手を説得する ・自分の主張について理由を説明する／理由を要約してまとめることができる。 ・人の発言を直接引用する／条件を出して意見を述べる／説得することができる。

面接指導計画

1. 単元名
【5～6月実施】【Unit 1 Lesson 1】初めての食事
食べ物クイズやリサーチ、ゲームを通し、食事場面で使える基本表現や世界の食文化をペアで紹介し合う。
【7～8月実施】【Unit 1 Lesson 9】お気に入りを紹介
ジェスチャーの違いや自己紹介・発表の表現を学び、ワークやポスター制作を通して発信力を養う。
【9～10月実施】【Lesson 3】経験談のスピーチ
スピーチに役立つ表現を学びつつ、自身の経験を基にどのようなアドバイスをすることができるのかをグループで考える。考えた内容は、最終的に英語に直してみて、表現方法を学習する。
【11～12月実施】【Lesson 5】日本をPR
日本と海外の文化の違いを学び、クイズや紹介文作成などの活動を通して日本独自の文化への理解を深め、学んだ英語表現を用いて世界にPRしたい日本の文化や習慣についての原稿を作成する。
【1～3月実施】【Unit 2 Lesson 4】遊びやスポーツを紹介
現在完了形や過去形を効果的に用いて、聞き手の知識に合わせながら遊びやスポーツのルールを論理的に説明する方法を学ぶ。

※本校または全国の各面接指導施設で前期2コマ、後期2コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で2コマ、全国の各面接指導施設で2コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
英語の基礎的な構文や多様で実用的な表現を段階的に習得し、自身の考えや自己紹介、日常生活に関する出来事など、身近な内容を正確かつ自然な英語で発信できるコミュニケーション能力を育成する。
【思考・判断・表現】
自身の意見や主張に対して、相手を納得させるための説得力ある理由や具体的な根拠を明確に示しながら、それらを英語で筋道立てて整理し、論理的かつ的確に伝える表現力と構成力を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】
スピーチやディスカッション、作文など多様な英語表現活動に意欲的に取り組む中で、自身の課題や弱点を明確に把握し、改善のために試行錯誤を重ねながら、自ら進んで学習を深めていく積極的な姿勢を養う。

「論理・表現Ⅱ」 3学年　通信教育実施計画（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅱ	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	4コマ （前期2コマ・ 後期2コマ）

学習目標	(1)外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 (2)コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 (3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

教科書	東京書籍「NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅱ」（論Ⅱ701）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	【Unit 1 Lesson 1】友達に報告する～【Lesson 4】ファンレター
	概要	【第1回】【Unit 1 Lesson 1】友達に報告する／【Lesson 2】日本での初登校／【Lesson 3】経験についてのスピーチ／【Lesson 4】ファンレター ・訂正する／心配する／感謝する ・驚く／繰り返す／言い換える ・注意を引く／同意を求める ・望む／褒める
第2回 提出期限 7月15日	単元名	【Unit 1 Lesson 5】イベントに誘う～【Lesson 8】通信販売で返品依頼
	概要	【第2回】【Unit 1 Lesson 5】イベントに誘う／【Lesson 6】図書館で資料さがし／【Lesson 7】翻訳についてのスピーチ／【Lesson 8】通信販売で返品依頼 ・誘う／説明する ・聞き直す／依頼する ・要約する／言い換える ・困った事を伝える・説明する／控えめに依頼する
第3回 提出期限 8月15日	単元名	【Unit 1 Lesson 9】タクシーに乗る～【Lesson 12】就きたい職業
	概要	【第3回】【Unit 1 Lesson 9】タクシーに乗る／【Lesson 10】友達とディスカッション／【Lesson 11】比較結果のプレゼンテーション／【Lesson 12】就きたい職業 ・依頼する／提案する ・仮定する／反対する ・報告する／比較して説明する ・説明する／理由を述べる／仮定する
第4回 提出期限 10月15日	単元名	【Unit 2 Lesson 1】クラスでディベート1～【Lesson 3】クラスでディベート3
	概要	【第4回】【Unit 2 Lesson 1】クラスでディベート1／【Lesson 2】クラスでディベート2／【Lesson 3】クラスでディベート3 ・推論する／賛成・反対する ・主張する／推論する／賛成・反対する ・推論する／説得する
第5回 提出期限 11月15日	単元名	【Unit 2 Lesson 4】調査結果のプレゼンテーション～【Lesson 5】社会問題についてのスピーチ
	概要	【第5回】【Unit 2 Lesson 4】調査結果のプレゼンテーション／【Lesson 5】社会問題についてのスピーチ ・報告する／望む ・説明する／主張する／提案する

第6回 提出期限 12月15日	単元名	【Unit 2 Lesson 6】仮定して推論する～【Lesson 8】読み手を説得する
	概要	【第6回】【Unit 2 Lesson 6】仮定して推論する／【Lesson 7】比較して説明する／【Lesson 8】読み手を説得する ・仮定する／推論する ・比較する／類似点と相違点を説明する ・主張する／説得する

面接指導計画

1. 単元名
【5～6月実施】【Lesson 2】日本での初登校
国内外の学校の違いや婉曲表現、比喩を学び、クイズや推測ワークを通して聞き返しや言い換えを実践する。
【7～8月実施】【Lesson 8】通信販売で返品依頼
手紙の構成を学び推しへのファンレターを書く活動と、通販の返品表現を学び依頼メールを書く活動を行う。
【9～10月実施】【Unit 2 Lesson 1】クラスでディベート1
ディベートの基礎や活用できる英語表現を学び、両立場の意見を考える。グループでディベートを実践し、意見を述べたり相手に反応したりしてコミュニケーションを図る。
【11～12月実施】【Lesson 8】読み手を説得する
読み手を説得させることができる論理的な文章を英語で作成するため、エッセイを読み解き、論理的な文章を作成するのに役立つ英語表現や単語を学び、英語の文章を作成する。
【1～3月実施】【Lesson 5】社会問題についてのスピーチ
スピーチの基本構成を学び、理由や具体例を加えながら原稿を作成する。最後にグループで発表と相互評価を行い、英語で意見を発信する力とプレゼンテーション能力を育成する。

※本校または全国の各面接指導施設で前期2コマ、後期2コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で2コマ、全国の各面接指導施設で2コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
高度な語彙や洗練された表現を意識的に習得し、それらを効果的に活用することで、環境・格差・多文化共生などの複雑な社会的テーマや抽象的な概念についても、英語で正確かつ説得力ある形で発信する能力を育成する。
【思考・判断・表現】
新聞記事やデータ、他者の意見など多様な情報を論理的に整理・分析する力を養い、その分析から得られた深い洞察に基づいて、自身の意見や主張を説得力のある根拠と共に英語で明確に発信する力を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】
自分の英語が相手にどのように伝わるかを常に意識しながら、より効果的で的確な英語表現を追求し続ける姿勢を身につける。あわせて、自身の学習課題を主体的に発見し、その課題の克服に向けて粘り強く努力する態度を養う。

「論理・表現Ⅲ」　３学年　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅲ	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	4コマ （前期2コマ・ 後期2コマ）

学習目標	（1）外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。 （2）コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 （3）外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

教科書	東京書籍「NEW FAVORITE English Logic and Expression Ⅲ」（論Ⅲ７０１）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年6回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	【Lesson 1】食糧問題についてディスカッションする
	概要	【第1回】英語でよりよく表現するには／【Lesson 1】食糧問題についてディスカッションする ・議論する／提案する
第2回 提出期限 7月15日	単元名	【Lesson 2】メールで近況を伝える・【Lesson 3】学校新聞でアドバイスする
	概要	【第2回】【Lesson 2】メールで近況を伝える／【Lesson 3】学校新聞でアドバイスする ・個人的なことについて書く／気持ちを伝える ・助言する／行動を促す
第3回 提出期限 8月15日	単元名	【Lesson 4】宇宙についてスピーチする・【Lesson 5】イベントなどを説明する
	概要	【第3回】【Lesson 4】宇宙についてスピーチする／【Lesson 5】イベントなどを説明する ・主張する／仮定する ・基本情報を伝える／詳細を伝える
第4回 提出期限 10月15日	単元名	【Lesson 6】理想の場所や時間を描写する・【Lesson 7】日本の観光をプレゼンテーションする
	概要	【第4回】【Lesson 6】理想の場所や時間を描写する／【Lesson 7】日本の観光をプレゼンテーションする ・見た目を描写する／イメージを伝える ・特徴を説明する／説得する
第5回 提出期限 11月15日	単元名	【Lesson 8】趣味について書く・【Lesson 9】物事を分析して評論する
	概要	【第5回】【Lesson 8】趣味について書く／【Lesson 9】物事を分析して評論する ・できごとについて物語る／読み手をひきつける ・分析する／評論する
第6回 提出期限 12月15日	単元名	【Lesson 10】学習環境についてディベートする
	概要	【第6回】【Lesson 10】学習環境についてディベートする ・立論する／反駁する／意見をまとめて再主張する

面接指導計画

1. 単元名 【5～6月実施】【Lesson 1】食糧問題についてディスカッションする 賞味期限の違いや時事用語から食料問題を考え、役立つ表現を学びディディスカッションを行う。

【7〜8月実施】【Lesson 3】学校新聞でアドバイスする
名言クイズやリスニングで後悔・助言の表現を学び、自身の経験をもとに説得力のあるアドバイスを共有する。
【9〜10月実施】【Lesson 6】理想の場所や時間を描写する
前置詞の持つイメージや用法を学び、理想の家や理想の１日の過ごし方を考える活動を通して、日本語にはない言語特有の概念への理解を深め、それらを用いて自分で表現する。
【11〜12月実施】【Lesson 9】物事を分析して評論する
評論文でよく使われる表現について理解し、エッセイを読み自分の考えを英語で表現する。
【1〜3月実施】【Lesson 10】学習環境についてディベートする
学習環境について自身の意見をまとめ、英語のディベートで使うフレーズを学び、実践する。

※本校または全国の各面接指導施設で前期2コマ、後期2コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で2コマ、全国の各面接指導施設で2コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
専門的かつ高度な語彙と複雑な構文を状況に応じて自在に使いこなす力を養い、学術的な議論やビジネスシーン、国際的な対話など多様な目的や場面において、自身の考えや意図を的確かつ正確に英語で表現する能力を習得する。
【思考・判断・表現】
社会問題や身近なテーマについて多様な視点から物事を深く分析し、信頼性のあるデータや事例など確かな根拠を組み合わせながら、自身の考えや主張を論理的かつ説得力のある英語で明確に展開する能力を育成する。
【学びに向かう力、人間性等】
スピーチやプレゼンテーションなどの発信活動を行った後、その成果と課題を主体的に振り返って分析し、得られた気づきを次の学びに活かすことで、自身の英語による表現力を着実に向上させていく継続的な学習姿勢を養う。

「家庭基礎」　１学年　　通信教育実施計画（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 （2）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 （3）様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

教科書	株式会社第一学習社「高等学校　家庭基礎　持続可能な未来をつくる」（家基７１０）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年4回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	これからの生き方と家族／次世代をはぐくむ／充実した生涯へ
	概要	生涯発達する自分ー人と人とのつながりのなかで／青年期を生きる／キャリアの形成／ワーク・ライフ・バランスを求めて／家族・家庭・世帯／家族・家庭の働き／パートナーと出会う／結婚と変化する家族／家族に関する法律／次世代をはぐくむ／命のはじまり／乳幼児の体の発達／乳幼児の心の発達／親と子のかかわり／乳幼児の生活と安全／子どもの成長と遊び／地域社会と子育て支援／未来を担う子どもの権利／超高齢社会を生きる／人生のなかで高齢期をとらえる／高齢期の生活／高齢社会を支える／充実した高齢期へ
第2回 提出期限 8月15日	単元名	ともに生きる／食生活をつくる
	概要	社会保障制度と社会的連帯／人の多様性と社会参加／私たちと食事／健康に配慮した食生活／食生活の変化／持続可能な食生活／人体と栄養／炭水化物／脂質／たんぱく質／無機質（ミネラル）／ビタミン／し好食品と健康増進のための食品／食品の選択と保存／食品の安全と衛生／栄養バランスのよい食事／食品群と摂取量のめやす／ライフステージと食事／献立作成の手順／調理の基本
第3回 提出期限 10月15日	単元名	食生活をつくる／調理実習
	概要	和風献立_魚の鍋照り焼き／和風献立_かぶの甘酢漬け／和風献立_青菜のおひたし／和風献立_豆腐とわかめのすまし汁／パスタ_スパゲッティ・ナポリタン／パスタ_ポテトサラダ／炒飯_ちりめんじゃことレタスの炒飯／炒飯_涼拌茄子／丼物_タコライス丼／丼物_ヨーグルトサラダ／お弁当_野菜の豚肉巻き／お弁当_チンゲン菜の塩こんぶあえ／お弁当_かぼちゃの茶きんサラダ／おやつ_ロールスポンジケーキ／おやつ_米粉のブラウニー／おやつ_フルーツ大福／おやつ_ナイ豆腐／おやつ_チョコパンナコッタ
第4回 提出期限 12月15日	単元名	衣生活をつくる／住生活をつくる／経済生活をつくる
	概要	私たちと衣生活／被服の機能-保健衛生上の機能／被服の機能-社会生活上の機能／被服の選び方／被服の素材／洗濯方法と表示／洗濯のしくみ／被服の手入れと保管／衣文化の継承と創造／持続可能な衣生活／私たちと住まい／平面図の活用／長く住み続けるために／生涯を見通した住まいの工夫／快適で健康な住まい／安全で安心な住まい／持続可能な住まい／住まいと地域社会のかかわり／人生とお金／収入と支出のバランス／将来の経済生活を考える／契約とは／消費者問題はなぜ起こるのか／多様化する支払い方法とリスク防止／消費者の自立と行政の支援／消費生活と持続可能な社会／消費者市民社会をめざして

面接指導計画

1.　単元名

【5〜6月実施】これからの生き方と家族／充実した生涯へ
日本の少子高齢化や老化の現状を学び、擬似体験やその振り返りを通して高齢者への支援の重要性を考える。
【7〜8月実施】食生活をつくる
高校生の食と健康の関係や５大栄養素を学び、カードゲームのプレイと共有を通じて必要な栄養素を考える。
【9〜10月実施】食生活をつくる
高校生が摂取すべき適切なエネルギーや栄養が健康に及ぼす影響を学び、カードゲームのプレイと共有を通じて食物の持つエネルギーを学ぶ。
【11〜12月実施】住生活をつくる
住まいの役割や物件を選ぶ際の着眼点や注意点について学び、住みたい物件情報を調べることを通して、自身の理想の住生活を考える。
【1〜3月実施】経済生活をつくる
収入と支出の内訳や給与明細の読み方について学び、1ヶ月の家計シミュレーションを通して、黒字で家計を運用する方法を考える。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
生涯を見通して、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考・判断・表現】
自己の生活設計について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について，課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

「家庭総合」 2学年　　通信教育実施計画 （本校を除く全面接指導施設共通）

教科	家庭	科目	家庭総合	単位	4単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	4コマ （前期2コマ・ 後期2コマ）

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。 (2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 (3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

教科書	株式会社第一学習社「高等学校　家庭総合　持続可能な未来をつくる」(家総706)
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年8回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	これからの生き方と家族／次世代をはぐくむ
	概要	生涯発達する自分－人と人とのつながりのなかで／青年期を生きる／キャリアの形成／ワーク・ライフ・バランスを求めて／家族・家庭・世帯／家族・家庭の働き／パートナーと出会う／結婚と変化する家族／家族に関する法律／次世代をはぐくむ／命のはじまり／乳幼児の体の発達／乳幼児の心の発達／親と子のかかわり／乳幼児の生活と安全
第2回 提出期限 7月15日	単元名	次世代をはぐくむ／充実した生涯へ／ともに生きる
	概要	子どもの成長と遊び／地域社会と子育て支援／未来を担う子どもの権利／高齢社会を生きる／人生のなかで高齢期をとらえる／高齢期の生活／高齢社会を支える／充実した高齢期へ／社会保障制度と社会的連帯／人の多様性と社会参加
第3回 提出期限 8月15日	単元名	食生活をつくる
	概要	私たちと食事／健康に配慮した食生活／食生活の変化／持続可能な食生活／食生活の文化／人体と栄養／炭水化物／脂質／たんぱく質／無機質（ミネラル）／ビタミン／し好食品と健康増進のための食品／食品の選択と保存／食品の安全と衛生／栄養バランスのよい食事／食品群と摂取量のめやす／ライフステージと食事
第4回 提出期限 8月15日	単元名	食生活をつくる／調理実習
	概要	献立作成の手順／調理の基本／洋風献立_とり肉ときのこのクリーム煮／洋風献立_スープジュリエンヌ／中国風献立_麻婆豆腐／中国風献立_玉米羹／副菜・汁物_ひじきの煮つけ／副菜・汁物_きゅうりとわかめの酢の物／副菜・汁物_きのこのホイル焼き／副菜・汁物_さつまいもとさやいんげんのきんぴら／副菜・汁物_けんちん汁／副菜・汁物_ミネストローネ／パーティー料理_ピザ／パーティー料理_チキンのガランティーヌ／ーティー料理_ちらし寿司／パーティー料理_焼きぎょうざ／正月料理_栗きんとん／正月料理_紅白なます／正月料理_いりどり
第5回 提出期限 9月15日	単元名	衣生活をつくる
	概要	私たちと衣生活／被服の機能-保健衛生上の機能／被服の機能-社会生活上の機能／被服の選び方／被服の素材／洗濯方法と表示／洗濯のしくみ／被服の手入れと保管／衣文化の継承と創造／持続可能な衣生活／私たちの被服ができるまで／体型と採寸
第6回 提出期限 10月15日	単元名	衣生活をつくる／被服製作実習
	概要	被服製作の基本／実習1_はっぴ／実習2_ハーフパンツ／実習3_Vネックシャツ1／実習4_Vネックシャツ2
第7回 提出期限 11月15日	単元名	住生活をつくる

	概要	私たちと住まい／平面図の活用／住まいのインテリア／長く住み続けるために／生涯を見通した住まいの工夫／快適で健康な住まい／安全で安心な住まい／持続可能な住まい／住まいと地域社会のかかわり
第8回 提出期限 12月15日	単元名	経済生活をつくる
	概要	人生とお金／収入と支出のバランス／将来の経済生活を考える／契約とは／消費者問題はなぜ起こるのか／多様化する支払い方法とリスク防止／消費者の自立と行政の支援／消費生活と持続可能な社会／消費者市民社会をめざして

面接指導計画

1. 単元名
【5～6月実施】生涯を見通す
ゲームのプレイを通して人生のリスクを学び、ライフステージに応じた生活設計や多様な生き方を考える。
【7～8月実施】衣生活をつくる
織物や三原組織の知識を学び、平織りのコースター製作を体験してリサイクルや工夫の意義、糸の選び方を知る。
【9～10月実施】衣生活をつくる
編み物や繊維の知識を学び、指編みのコースター製作体験を通して、糸の編み方や持続可能な衣生活の送り方を知る。
【11～12月実施】住生活をつくる
動線や家族の形に応じた住まいのあり方について学び、間取りや家具の配置を検討するワークを通して、将来の住生活について考える。
【1～3月実施】衣生活をつくる
織物や三原組織の知識を学び、平織りのコースター製作を体験してリサイクルや工夫の意義、糸の選び方を知る。

※本校または全国の各面接指導施設で前期2コマ、後期2コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で2コマ、全国の各面接指導施設で2コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
乳幼児期の心身の発達と生活や子供を取り巻く社会環境について、必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
【思考・判断・表現】
子供を取り巻く社会環境について課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供を取り巻く社会環境について，課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

「情報Ⅰ」　１学年　通信教育実施計画　（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 （2）様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 （3）情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

教科書	東京書籍「新編情報Ⅰ」（情Ⅰ７０１）
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年4回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	情報で問題を解決する
	概要	・コンピュータの使い方 ・情報とは何かを知ろう ・発想法などを実践しよう ・問題解決のツールを知ろう ・情報モラルについて知ろう ・著作権について知ろう ・情報技術、情報社会について知ろう
第2回 提出期限 8月15日	単元名	情報を伝える
	概要	・ネットコミュニケーションについて知ろう ・デジタル化について知ろう ・デジタルデータについて知ろう ・Googleドキュメントを操作してみよう ・色彩・文字の基礎知識 ・情報を表現・整理しよう ・情報伝達のためのデザインを知ろう
第3回 提出期限 10月15日	単元名	コンピュータを活用する
	概要	・コンピュータの仕組みを知ろう ・プログラムの基本構造について知ろう ・さまざまなプログラミング言語 ・プログラムを作ろう ・発展的なプログラムについて知ろう ・モデル化とシミュレーションについて知ろう ・Googleスプレッドシートを操作してみよう
第4回 提出期限 12月15日	単元名	データを活用する
	概要	・インターネットの仕組みを知ろう ・インターネット上のサービスや情報セキュリティについて知ろう ・データの特徴や活用方法を知ろう ・ファイル形式の種類やWebページの構造を知ろう ・データ分析について知ろう ・データを収集・分析しよう

面接指導計画

1. 単元名
【5～6月実施】【第1回】個人情報の流出
個人情報の定義や漏洩リスク、ＳＮＳ投稿による特定の危険性を学び、グループワークでその対策を考える。
【7～8月実施】【第2回】音と画像のデジタル表現、目的に応じたデジタル化
画像デジタル化の工程を体験し、デジタル化の利点やデータの可逆・非可逆圧縮、ランレングス法を学ぶ。
【9～10月実施】【第3回】モデル化とシミュレーション
モデル化とその種類、モデル化の手順及びシミュレーションについて学び、モデル化とシミュレーションの必要性について理解を深める。
【11～12月実施】【第4回】ネットワークとインターネット
インターネットについて学び、ワークを通して自身の身の回りで目に見えない情報のやり取りはどのように行われているのか理解し、情報社会で生き抜く力を身につける。
【1～3月実施】【第3回】アルゴリズムの表現
日常の物事を例にアルゴリズムを理解し、問題解決のツールとしてフローチャートを理解し、作成する。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 単元目標
【知識・技能】
情報と情報技術を活用して問題を発見し解決する方法を身につけるとともに、情報に関する法規や制度、情報社会における個人の責任および情報モラルについて理解し、さらに、情報技術が人や社会に果たす役割や及ぼす影響についても理解すること。
【思考・判断・表現】
目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えること。情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察すること。
【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する学習活動を通して、問題を発見・解決する方法を身に付けるとともに、情報技術が人や社会に果たす役割と影響、情報モラルなどについて理解するようにする。

「情報Ⅱ」 3学年　通信教育実施計画（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	情報	科目	情報Ⅱ	単位	2単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的，創造的に活用し，情報社会に主体的に参画し，その発展に寄与するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。(1) 多様なコミュニケーションの実現，情報システムや多様なデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報技術の発展と社会の変化について理解を深めるようにする。(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的，創造的に活用する力を養う。(3)情報と情報技術を適切に活用するとともに，新たな価値の創造を目指し，情報社会に主体的に参画し，その発展に寄与する態度を養う。

教科書	東京書籍「情報Ⅱ」(情Ⅱ701)
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年4回）、試験（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、当該科目の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。 ※試験は期末に本校または全国の各面接指導施設で実施します。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 6月15日	単元名	情報社会
	概要	・情報社会の進展と情報技術 ・コミュニケーションの多様化 ・人間の知的活動への影響
第2回 提出期限 8月15日	単元名	コンテンツ
	概要	・メディアの特性と利用 ・コンテンツの制作 ・コンテンツの発信
第3回 提出期限 10月15日	単元名	データサイエンス
	概要	・メディアの特性と利用 ・コンテンツの制作 ・コンテンツの発信
第4回 提出期限 12月15日	単元名	情報システム
	概要	・情報社会の進展と情報技術 ・コミュニケーションの多様化 ・人間の知的活動への影響

面接指導計画

1. 単元名
【5～6月実施】【第1回】情報社会の進展と情報技術
身近な情報システムの歴史や活用例を学び、レジ打ち体験や最新システムの紹介を通してその利便性を知る。
【7～8月実施】【第2回】 コンテンツの制作
コンテンツの分類や社会的影響、拡散時の危険性を学び、テーマに沿ったプロトタイプの作成を体験する。
【9～10月実施】【第3回】データの分析と分類
相関関係と因果関係の違いについて身近な例を用いて学び、身の回りにあるデータはどちらの関係なのかを考える。
【11～12月実施】【第4回】情報システムの設計
情報システム設計の各プロセスについて理解し、システム制作を通して制作側ならびに依頼側の目線を学ぶ。
【1～3月実施】【第4回】情報セキュリティ技術
情報セキュリティについて学び、身の回りに潜む脅威を理解して情報を守るために必要なこと/重要となることを理解する。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。

※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 単元目標
【知識・技能】
情報と情報技術を効果的に活用するための知識や技術を身につけるとともに、情報に関する科学的な見方・考え方を働かせながら、情報システムなどを活用して問題の発見や解決に取り組む中で、試行錯誤や振り返り、改善を重ね、情報と情報技術を創造的に活用する力を養うことを目標とする。
【思考・判断・表現】
情報及び情報技術に関して、批判的検討や創造的に思考する力を養うことを目標とする。情報の信頼性や関連性を客観的に判断し、正確な分析に基づいて意思決定を行い、自らの考えや解決策を明確かつ説得力を持って表現する能力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
新しい情報技術やその応用に関する学びへの意欲を持ち、自ら学習に積極的に取り組む姿勢を養う。またグループワークを通じてそれぞれのリーダーシップを発揮し、チームで協力することや、自己の学習に対する責任を自身で持つ態度を養う。

「総合的な探究の時間Ⅰ」　1学年　　通信教育実施計画　（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	総合的な探究の時間	科目	総合的な探究の時間Ⅰ	単位	1単位	面接指導実施コマ数（6割減免後）	2コマ（前期1コマ・後期1コマ）

学習目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 （2）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 （3）探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

教科書	
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、総合的な探究の時間の視聴すべ全ての映像授業を視聴していること。

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 12月15日	単元名	自己認知と他者理解について
	概要	総合的な探究の時間Ⅰでは「自己認知」と「他者理解」の内容について学習していきます。 充実した高校生活を送るために、自ら時間を管理し、計画を立て、それを実行することが大切です。 さらに他者と関係をつくり、社会とつながっていくことが必要になります。 これらの内容を踏まえつつ、「N/S高等学校で何をするか」について考えてもらいたいと思います。 高校生活を送る時期は、青年期にあたります。この時期は、さまざまな人と関係を結び、多様な知識や価値観・刺激を受けながら、自分探しをする時期です。いろいろなことに挑戦し、試行錯誤を繰り返す中で、自分を見つめなおし、「自分とは何か」という問いに対する答えを見つけてください。

面接指導計画

1. 単元名

【5～6月実施】自身の興味関心を広げ、関心を広げる方法を学ぶ
ワークや対話を通して興味関心を言語化し、情報収集の方法を学びながら、自分の関心領域を主体的に広げる。
【7～8月実施】強みについて考え、やりたいことについて理解を深める。他人との違いを知る
自己分析と他者との共有を通して自分の強みに気づき、他者との違いを踏まえた進路や関心を考える。
【9～10月実施】目標設定、スキルについて学びスキルを身につける方法を模索する。また他者の目標などを聞き参考にできることを考える
「人間関係形成」を軸に自己理解と対人スキルの基礎を養う。個人ワークや他者との交流を通じて多角的な視点を取り入れながら、高校生活の過ごし方をデザインし、将来の進路や将来像について具体的なイメージを描く。
【11～12月実施】スキルについて知り育てたいスキルについて思考を深める
正解のない「VUCA」の時代を生き抜くため、座学と実践を通じた「スキル習得」を学ぶ。年度内に取り組む自身の好きなことを起点に「ミニプロジェクト」を設定し、スキルリストから伸ばしたい能力（リーダーシップや表現力など）を3つ選定して具体的な育成プランを考える。
【1～3月実施】コミュニケーションタイプを知り、自身と他者の違いを知る
コミュニケーションの4つのタイプ（コントローラー、プロモーター、サポーター、アナライザー）を通じて自己や他者の傾向を理解する。ワークや対話を通して行動のクセや得意分野を整理し、今後の高校生活や協働活動、挑戦したいことへ具体的に活かす力を養う。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標

【知識・技能】
多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
【思考・判断・表現】

集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に学習に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

「総合的な探究の時間Ⅱ」 2学年　通信教育実施計画（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	総合的な探究の時間	科目	総合的な探究の時間Ⅱ	単位	1単位	面接指導実施コマ数（6割減免後）	2コマ（前期1コマ・後期1コマ）

学習目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (2)実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3)探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

教科書	
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、総合的な探究の時間の視聴すべき全ての映像授業を視聴していること。

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 12月15日	単元名	課題発見と計画力について
	概要	総合的な探究の時間Ⅱでは「課題発見」と「計画力」の内容について学習していきます。 充実した高校生活を送るために、自ら時間を管理し、計画を立て、それを実行することが大切です。 さらに他者と関係をつくり、社会とつながっていくことが必要になります。 これらの内容を踏まえつつ、やりたいことを行動プランに落とし込んでもらいたいと思います。 いろいろなことに挑戦し、試行錯誤を繰り返す中で、自分を見つめなおし、自身の生き方について計画を立ててましょう。

面接指導計画

1. 単元名
【5～6月実施】合意形成の方法を学び、他者との付き合い方について学ぶ
グループワークを通して合意形成の基本的な流れを学び、他者の意見を尊重しながら関係を築く姿勢を身につける。
【7～8月実施】合意形成について理解を進め、他者の意見についても学ぶ
合意形成の手順を実践的に確認し、他者の考えを整理・比較しながら納得解を導く力を養う。
【9～10月実施】課題解決のためのアイデア出しを行い行動プランに落とし込む方法を知る
やりたいことを実現するための「目標設定/達成スキル」を学ぶ。個人ワークやグループでの共有を通じて多角的な視点を得ながらプロセスを具体化し、主体的な社会参画や希望進路の実現に向けた実践力を養う。
【11～12月実施】合意形成の方法を学び、その後の行動プランを組み立てる練習を行う
合意形成の4つのレベルと、「共有・整理・統合・合意」の4ステップを踏まえる重要性を理解する。「どこでも楽しめる学園祭」をテーマに個人でアイデアを発想し、グループワークを通じて互いの意見を組み合わせた全員が納得する案を作成することで、他者と協力して課題解決を図る実践力を養う。
【1～3月実施】行動プランの目的地を定める練習を行い、自身の今後の行動について考える
やりたいことを実現するための「目標設定/達成スキル」を学び、時系列順や目標からの逆算といったアプローチで過程を細分化し、4W1Hを意識した具体的な行動プランを作成する。個人ワークやグループでの共有を通じて多角的な視点を得ながらプロセスを具体化し、主体的な社会参画や希望進路の実現に向けた実践力を養う。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
思考方法について理解を深め、様々な問題や課題に対し解決のアイデアを出す方法を身につけることができる。
集団の中で自身の意見を他者に正しく伝える方法を身につけることができる。
【思考・判断・表現】
提示された問題や課題に対して、解決に向けてアイデアを提案することができる。
自身の考えや意見を正しく伝えるために伝え方を工夫することができる。

【学びに向かう力、人間性等】
積極的に他者とコミュニケーションを図りながらワークに取り組むことができる。

「総合的な探究の時間Ⅲ」 3学年　通信教育実施計画（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	総合的な 探究の時間	科目	総合的な探究の 時間Ⅲ	単位	1単位	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	2コマ （前期1コマ・ 後期1コマ）

学習目標	探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 （2）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 （3）探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

教科書	
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、総合的な探究の時間の視聴すべき全ての映像授業を視聴していること。

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 12月15日	単元名	課題解決とこれからの社会で生き抜く方法について
	概要	総合的な探究の時間Ⅲでは「課題解決」と「これからの社会で生き抜く方法」について学習していきます。 充実した高校生活を送るために、自ら時間を管理し、計画を立て、それを実行することが大切です。 ・あらゆる人々がSNSを使い情報が過多 ・感染症の流行後、生活スタイルの変化 ・目まぐるしく変わる世界情勢 これらの内容を踏まえつつ、自分の強みを見つけ、自分らしく生きる方法を考えていきましょう。

面接指導計画

1. 単元名
【5～6月実施】自己実現のやってみたいことを考える活動を通じて、PERMAの感情を想起する練習を行う
ワークを通して「やってみたいこと」を整理し、PERMA理論を用いて自分の良い状態や感情への気づきを深める。
【7～8月実施】自身のやりたいことの実現方法を身につけけ、社会で求められるものから自身の将来像を考える。
自身の強みや資源を整理し、社会で求められる力と結び付けながら、将来の姿を具体的に描く。
【9～10月実施】自身のやってみたいことにどんな価値観が表れているか考えて自己理解を深める
自身の「価値観」を軸に希望進路や将来像を具体化する。変化の激しい時代においてもブレない自己理解を深め、希望する進路の実現に向けた主体的な課題解決と具体的な行動プランへの落とし込む。
【11～12月実施】自身のやりたいことの実現方法を身につけ、社会で求められるものから自身の将来像を考える。
変化の激しい時代を自分らしく生きるため、好きなことを軸に「学びたい知識」を発掘します。好きなことやその理由を整理し、学園内外の機会やWebで学び方をリサーチし、肯定的なフィードバックを掛け合い多角的な視点を得ることで、やってみたいことの具体化と主体的・意欲的な進路実現に向けた実践力を養う。
【1～3月実施】日常生活でやってみたいことを見つけて将来に活かせる材料を増やす方法を考える。
ストレングスカード等を活用して日常での強みの使い方を考え、4W1Hを意識した具体的なアクションプランを作成する。自分の強みを理解し、将来に活かす行動力を養う。

※本校または全国の各面接指導施設で前期1コマ、後期1コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で1コマ、全国の各面接指導施設で1コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
他者の考えを知り、自己分析の仕方を理解した上でワークに取り組むことができる。グループワークから他者との協働の方法を知ることができる。
【思考・判断・表現】
自己分析の結果から高校生活や社会の場でどのように活躍するか考えることができる。
【学びに向かう力、人間性等】

積極的に他者とコミュニケーションを図りながらワークに取り組むことができる。

「特別活動Ⅰ」　1学年　　通信教育実施計画　（本校を含む全面接指導施設共通）

教科	特別活動	科目	特別活動Ⅰ	単位	ー	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	6コマ （前期3コマ・ 後期3コマ）

学習目標	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

教科書	
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、特別活動の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 12月15日	単元名	キャリアガイダンス
	概要	特別活動は必修の活動です。 「特別活動Ⅰ キャリアガイダンス」は、１）学校生活について、２）社会を知る、３）進路・自己分析、４）ライフスキルの４つのポイントで授業が構成されています。 『学園内の仕組み・コンテンツ』と『自己分析』を通して、自分の未来を想像しながら授業を受け、進路選択につなげてください。

面接指導計画

1. 単元名
【5～6月実施】
オリエンテーション/アイスブレイク
観る、話す、アサーションとメッセージの伝え方について学ぶ
自分の感情の動きに目を向ける、自分なりのモノの見方
心理的安全性や対話の技術、好みの分析を通し、良好な人間関係の築き方や自身の価値観への理解を深める。
【7月～8月実施】
オリエンテーション/アイスブレイク
コーチングについて知り他者の価値観を知るためオープンクエスチョン（OQ）、クローズドクエスチョン（CQ）について知る
自分のコミュニケーションタイプの行動傾向を考え、 他者との違いや自分の特性の活用場面を考える
ゲームやオープンクエスチョン、タイプ診断を通じて心理的安全性を高め、他者理解と自己理解を深める。
【9～10月実施】
オリエンテーション/アイスブレイク　心理的安全性について知る
バーバルコミュニケーション、ノンバーバルコミュニケーションについて理解を深め、他者理解を深める
ジャーナリングについて知る　自身の考えを言語化し他者からの捉えられ方について知る
【11～12月実施】
オリエンテーション/アイスブレイク
感情や経験をのせて話す方法を知り、表現の練習を行う
ウェルビーイングについて知りポジティブな感情について言語化を行う
【1～3月実施】
オリエンテーション/アイスブレイク
メッセージやYOUメッセージについて知りコミュニケーションの取り方について学ぶ
対話を通して人によって異なる「モノの見方」について理解を深める

※本校または全国の各面接指導施設で前期3コマ、後期3コマを受講します。

※2年次では、原則として本校で3コマ、全国の各面接指導施設で3コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
探究の過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究の意義や価値を理解するようにする。
【思考・判断・表現】
実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
探究に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

「特別活動Ⅱ」 2学年　通信教育実施計画（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	特別活動	科目	特別活動Ⅱ	単位	ー	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	6コマ （前期3コマ・ 後期3コマ）

学習目標	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

教科書	
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、特別活動の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 12月15日	単元名	キャリアガイダンス　共通＋大学・留学 キャリアガイダンス_共通＋専門・就職
	概要	特別活動は必修の活動です。 「特別活動Ⅱ キャリアガイダンス_共通＋大学・留学」は、1）学校生活について、2）進路・自己分析、3）資格・奨学金について　の3つのポイントで授業が構成されています。 学園の仕組み/コンテンツを知り、高校卒業後の近い将来の自分を具体的に想像しながら進路について考えてみましょう。また、2年次生のうちにできることを学び、自己分析をしたり課外活動に参加したりするなど何かしらの行動につなげましょう。 ※特別活動は教科書を使用せず学習する科目です。 ※2年次生を過ごすうえで重要な内容を多く含みますので、進級/転編入後3ヶ月以内の受講を心掛けてください。 ※特別活動Ⅱは、『キャリアガイダンス_共通＋大学・留学』と『キャリアガイダンス共通＋専門・就職』の2コースがあり、現時点の進路選択に近い方どちらか1つを受講してください。 ※視聴しているコースを途中で変更することは可能ですが、変更した場合は新たに選択したコースを最初から視聴することになりますのでご注意ください。

面接指導計画

1. 単元名
【5～6月実施】
　オリエンテーション/アイスブレイク
　デザイン思考を用い、他者の感情に理解を示す
　ブレインストーミングを用い課題解決の方法を学ぶ
　自己紹介や共通点探しで緊張をほぐし、他者の観察・洞察から課題を設定して大量のアイデア創出を体験する。
【7～8月実施】
　オリエンテーション/アイスブレイク
　デザイン思考とは何か・ステップを知り他者の課題を探る
　批判的思考を用い、課題解決の方法を学ぶ
　心理的安全性のもとで他者を観察・洞察して課題を設定し、批判的思考を用いて新たな解決策を共有する。
【9～10月実施】
　オリエンテーション/アイスブレイク

デザイン思考の概要、共感、ニーズ、問題定義義について学び造形的思考を用い、課題解決の方法を学ぶ
【11～12月実施】
オリエンテーション/アイスブレイク
デザイン思考とは何かを知り観察」と「洞察」を用い解決すべき課題を見つける
類推的思考を学びアイデア出しのコツを学ぶ
【1～3月実施】
オリエンテーション/アイスブレイク
社会や自身の未来について考察し、自身の価値観に気づき得る
アイデア出しのコツや手段について知る

※本校または全国の各面接指導施設で前期3コマ、後期3コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で3コマ、全国の各面接指導施設で3コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
探究の過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究の意義や価値を理解するようにする。
【思考・判断・表現】
実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
探究に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

「特別活動Ⅲ」 3学年　通信教育実施計画（本校を除く全面接指導施設共通）

教科	特別活動	科目	特別活動Ⅲ	単位	ー	面接指導実施 コマ数 （6割減免後）	6コマ （前期3コマ・ 後期3コマ）

学習目標	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

教科書	
副教材	自主作成教材

学習方法	インターネットを活用した本校オリジナルの学習システムにより、生徒は自宅等において、 パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末で学習し、面接指導や添削指導でより理解を深める。
評価方法	添削指導（年間1回）、面接指導での評価 ※当校が提供する学習システム上、特別活動の視聴すべき全ての映像授業を視聴し、かつ出題される全ての確認テストに合格していること。

添削課題	単元名および概要	
第1回 提出期限 12月15日	単元名	特別活動Ⅲ:キャリアガイダンス_共通＋大学
	概要	特別活動は必修の活動です。 「特別活動Ⅲ キャリアガイダンス_共通＋大学」は、高校卒業後の各進路に合わせ、1）自己分析・身だしなみ、2）各進路に進むための基礎知識、3）各進路の具体的対策、4）資格・検定の4つのポイントで授業が構成されています。 高校卒業後の進路を決め、選択した進路に進むための計画的かつ的を射た準備・対策をしていく際の参考にしてください。 ※特別活動は教科書を使用せず学習する科目です。 ※3年次生を過ごすうえで、また受験対策を進めていくにあたり、知っておくべき・意識するべき内容などがあるため、なるべく早めに受講するように心掛けてください。 ※特別活動Ⅲは、『キャリアガイダンス_共通＋大学』と『キャリアガイダンス_共通＋留学』『キャリアガイダンス_共通＋専門』と『キャリアガイダンス_共通＋就職』の4コースがありますので、ご自身の進路選択に応じて4つのうち1つを受講してください。 ※視聴しているコースを途中で変更することは可能ですが、変更した場合新たに選択したコースを最初から視聴することになりますのでご注意ください。

面接指導計画

1. 単元名
【5～6月実施】
オリエンテーション/アイスブレイク
健康とウェルビーイングから自身の良い状態について考える
自分の感情の動きに目を向ける、自分なりのモノの見方を考える
【7～8月実施】
オリエンテーション/アイスブレイク
自身や他者の強みについて知る
上手な質問の活用方法を学び、強みのイメージを膨らまし自身や他者へどのような影響を与えるか考える
【9～10月実施】
グランドルール、心理的安全性
価値観について知る、自分の価値観を知るまた現状の状態を知る
上手な質問の活用方法を学び、自身や他者の価値観について考えを深める
【11～12月実施】

グランドルール、心理的安全性
現在/過去/未来の観点から自分の好きなことを考え自身の感情について整理をする
好きなことについての質問を深掘りし自身や他者の考え方、価値観に触れる
【1～3月実施】
グランドルール、心理的安全性
答えのない問いについて知り、自身のフレームを再形成し価値観の理解を深める
自身の強みを再認識、強みについての理解を深める

※本校または全国の各面接指導施設で前期3コマ、後期3コマを受講します。
※2年次では、原則として本校で3コマ、全国の各面接指導施設で3コマ受講します。
※詳細な日程は各自参加を希望するスクーリングによって異なります。詳細な日程はN Lobby上の時間割を参照してください。

2. 学習到達目標
【知識・技能】
探究の過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究の意義や価値を理解するようにする。
【思考・判断・表現】
実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現することができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
探究に主体的・協働的に取り組むとともに，互いのよさを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。